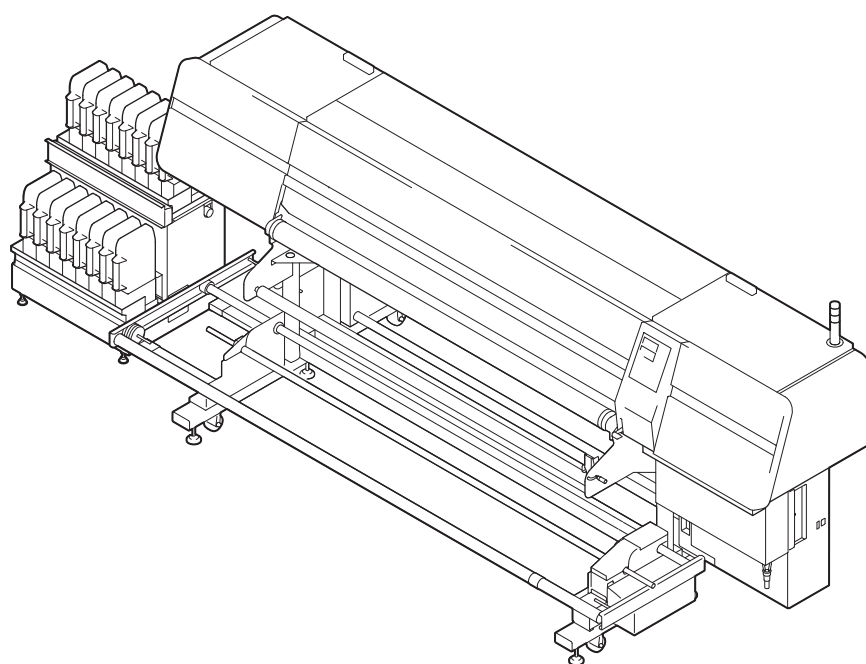


Textile **JET**

**Tx400-1800D**

**取扱説明書**



# 目次

ご注意 .....	v
ご注意 .....	v
おねがい .....	v
電波障害自主規制 .....	v
テレビ/ラジオの受信障害について .....	v
はじめに .....	vi
取扱説明書について .....	vi
安全にお使いいただくために .....	vii
マーク表示について .....	vii
警告ラベルについて .....	x
本書の読み方について .....	xi

## 第1章 ご使用の前に

本装置を設置する .....	1-2
設置場所について .....	1-2
本装置の移動 .....	1-2
各部の名称とはたらきについて .....	1-3
装置前面 / 側面 .....	1-3
背面 .....	1-4
操作パネル .....	1-5
インク供給ユニット .....	1-6
カバー内部の名称とはたらきについて .....	1-7
キャリッジ .....	1-7
キャッピングステーション .....	1-8
ヘッド高さ調整棒と高さ調整ネジ .....	1-8
ピンチローラー .....	1-9
センサー .....	1-9
布押さえ .....	1-10
布押さえフレーム .....	1-10
その他のセッティング .....	1-11
廃インクタンクについて .....	1-11
USB 出カドライバをインストールする .....	1-11
カバーの開閉について .....	1-12
カバーの開閉について .....	1-12
電源ケーブルについて .....	1-13
メディアについて .....	1-14
使用可能なメディアについて .....	1-14
プリント布の取り扱いについて .....	1-14
使用制限のあるメディアについて .....	1-14
インクについて .....	1-16
インクの種類 .....	1-16
インクの取り扱いについて .....	1-16
インク供給ユニットについて .....	1-17
インクをセットする .....	1-18
インクをセットする .....	1-18
インクパックを交換する .....	1-19
ディスプレイの言語表示を切り替える .....	1-20
メニューモードについて .....	1-21

## 第2章 基本的な使い方

ユーザタイプについて .....	2-2
ユーザタイプに登録できる設定内容 .....	2-2
登録したユーザタイプを使用する .....	2-2
作業の流れ .....	2-3
電源を入れる/切る .....	2-4
電源を入れる .....	2-4
電源を切る .....	2-5
メディアをセットする .....	2-6
最大プリントエリアについて .....	2-6
メディアセットに関する注意事項 .....	2-6
メディアセットの概要 .....	2-7
スペーサ/従動ローラを確認する .....	2-8
巻取ユニットの準備をする .....	2-14
布押さえの調節方法 .....	2-16
ロールメディアをセットする .....	2-17
リーフメディアをセットする .....	2-27
ヘッド高さを調整する .....	2-28
メディアを検出する .....	2-30
原点を変更する場合は .....	2-32
テストプリントをする .....	2-33
テストプリントを行う .....	2-33
ヘッドクリーニングを実行する .....	2-34
データをプリントする .....	2-35
プリントを開始する .....	2-35
プリントを中断する .....	2-36
受信したデータを消去する(データクリア) .....	2-36
プリント中に布の送り量を補正する .....	2-36
メディアをカットする .....	2-37

## 第3章 応用機能

ユーザタイプについて .....	3-2
プリント条件をまとめて登録する(タイプ登録) .....	3-2
タイプ登録のしかた .....	3-2
メディア補正の設定をする .....	3-4
メディア送りの設定をする .....	3-6
送り速度の設定 .....	3-6
ジョグ速度の設定 .....	3-7
ソフトネスの設定 .....	3-8
プリント品質の設定をする .....	3-9
優先順位の設定をする .....	3-11
マージンの設定をする .....	3-12
オートクリーニングの設定をする .....	3-13
プリント前クリーニングの設定 .....	3-13
プリント中クリーニングの設定 .....	3-14
プリント終了後クリーニングの設定 .....	3-16
パワーオンクリーニングの設定 .....	3-18
カラーパターンの設定をする .....	3-19
乾燥時間の設定をする .....	3-20

プリント中にモアレ縞が発生するときは .....	3-21
その他の設定 .....	3-22
マシン設定 .....	3-23
使用するヘッドを切り替える .....	3-24
マシン名称を設定する .....	3-25
スタンプの設定をする .....	3-26
繰出装置の設定をする .....	3-27
巻取装置の設定をする .....	3-28
ワーニングに関する設定をする .....	3-29
スパーサの設定をする .....	3-33
ブランクデータの設定 .....	3-34
外部乾燥用ヒータの設定 .....	3-35
設定リストをプリントする .....	3-39
装置情報を確認する .....	3-40
装置の状態を確認する .....	3-41

## 第4章 お手入れ

日常のお手入れ .....	4-2
お手入れ上のご注意 .....	4-2
メンテナンス洗浄液について .....	4-2
外装のお手入れ .....	4-2
布押さえのお手入れ .....	4-3
センサーの清掃 .....	4-3
折り返しバー（巻取側）の清掃 .....	4-3
布押さえフレームのお手入れ .....	4-4
スパイクローラのお手入れ .....	4-5
キャッピングステーションのメンテナンス .....	4-7
インクキャップの清掃 .....	4-8
ワイパの清掃 .....	4-9
[ワイパコウカン] を表示したら .....	4-10
ヘッドノズルの洗浄 .....	4-12
ヘッドノズル面のメンテナンス .....	4-14
インク排出路の洗浄（ハイロセンジョウ） .....	4-21
長期間使用しない場合（ホカンセンジョウ） .....	4-23
インクヘッド周辺の清掃 .....	4-25
ドットの位置がずれたら .....	4-26
ノズル詰まりが復旧しない場合（インク充填） .....	4-28
インクポート排出治具について .....	4-28
定期制御を設定する .....	4-39
フラッシング動作を設定する .....	4-39
クリーニング動作を設定する .....	4-40
ノズル抜けが直らないとき .....	4-41
ノズルリカバリ機能の設定 / 削除を登録をする .....	4-41
ノズルリカバリ機能を列単位で設定する .....	4-44
ノズルリカバリ機能の有効 / 無効を確認する .....	4-45
ノズルリカバリの設定リストをプリントする .....	4-46
廃インクタンクがいっぱいになったら .....	4-47
ミストファンフィルタのクリーニング .....	4-48
負圧異常が発生したら .....	4-49

## 第5章 困ったときは

故障?と思う前に .....	5-2
画質不良が発生したときは .....	5-3
2L インクパックやインク IC に異常が発生したら .....	5-4
メッセージを表示するトラブル .....	5-6
ワーニングメッセージ .....	5-6
エラーメッセージ .....	5-8

## 第6章 付録

本体仕様 .....	6-2
インク仕様 .....	6-4
お問い合わせシート .....	6-5
機能フローチャート .....	6-6

## 索引

## ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## 電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI -A

## テレビ/ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本機がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われましたら、本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせるをお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

この度は「Tx400-1800D」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。  
「Tx400-1800D」は、布と転写紙を対象とした「ダイレクトプリント用カラーインクジェットプリンタ」です。  
本取扱説明書は、「Tx400-1800D」の、操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明しています。本書をよくお読みにになり、お客様のニーズに合わせたプリントにお役立てください。

## 取扱説明書について

- 「Tx400-1800D」（以後本装置と称します）は、高速ヘッド移動など危険を伴う場合があります。本装置の取扱いは、怪我や破損を防止するため、必ず本取扱説明書をよくご理解いただきから操作してください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 株式会社ミマキエンジニアリング









All Rights Reserved. Copyright

# 安全にお使いいただくために

## マーク表示について








本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本機を安全に正しくお使いください。




### マーク表示の例

	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



## 使用上の警告と注意

 警告	
<b>分解・改造はしない</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>本機やインクカートリッジの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。</li> </ul>	<b>電源・電圧について</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>本機には高電圧が発生している部分があります。電気工事は、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。</li> </ul>
<b>湿気の多い場所では使用しない</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>湿気の多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>メンテナンス時は必ず主電源ブレーカーをオフにしてから行ってください。オンのままメンテナンスを行うと、感電する恐れがあります。また、装置によってはコンデンサの電荷放電時間に1分間必要な場合があります。主電源ブレーカーをオフしてから3分後に作業をするようにしてください。</li> </ul>
<b>異常事態の発生</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本装置の主電源ブレーカーの投入作業は、本装置を熟知した人以外には行わないでください。</li> <li>感電事故防止のため、必ず、接地工事を行ってください。</li> <li>表示された電源仕様で使用してください。電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したコンセントに差し込んでください。接続しないと火災・感電の原因になります。</li> </ul>
<b>インクの取り扱いについて</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。</li> </ul>	

 注意	
<b>メディアの取り扱い</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ロールメディアは重いので、落とさないよう注意してください。足などの上に落とすと、ケガをする恐れがあります。</li> </ul>	
<b>インクの取り扱い</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>インクには毒性はありませんが、インクに直接ふれないようにしてください。誤ってインクが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師の治療を受けてください。</li> </ul>	

## ご注意とお願い

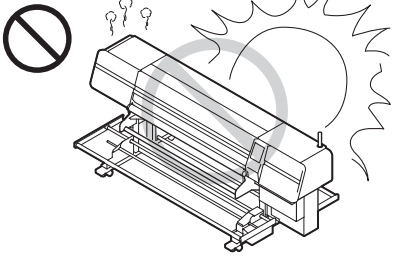
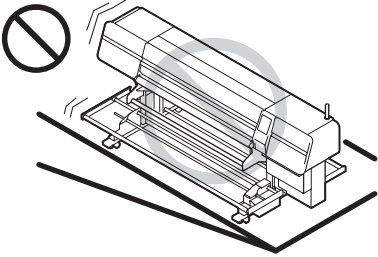

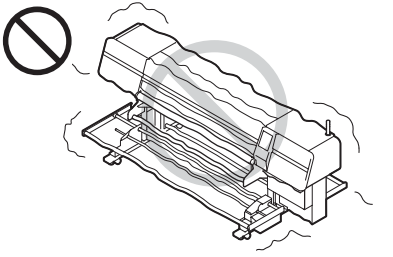
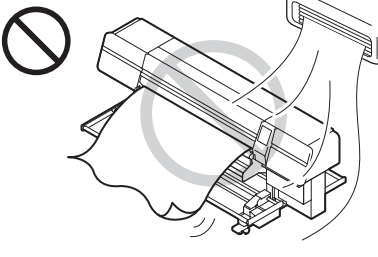
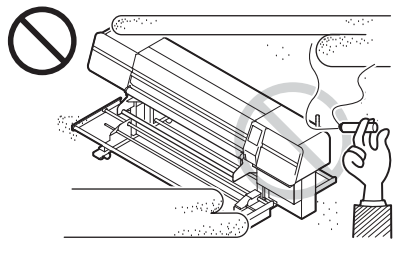
### ⚠ 注意

#### 乾燥ヒーターをご利用ください

- 本機は高速でプリントを行うプリンタです。乾燥ヒーターをご利用にならないでそのままプリントすると、巻き取った布が裏移りで汚れてしまいます。

## 設置上のご注意

### ⚠ 注意

直射日光が当たる場所	水平でない場所	温度や湿度の変化が激しい場所
		 <ul style="list-style-type: none"><li>• 次の環境下でお使いください。</li><li>• 使用環境： 15 ~ 30° C (59 ~ 86°F) 35 ~ 65 % (Rh) *1</li></ul>
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所	火を使う場所
		

\*1.TP インク使用時は、40 ~ 60%(Rh)



# 本書の読み方について

事前に知っておいて  
いただきたい内容です。

ページのタイトルです。

機能の概要を説明します。

## テストプリントをする

テストプリントを行い、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

### テストプリントを行う

- 重要!**
- ・リーフメディアを使用する場合、A3サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。
  - ・ロールメディアを使用する場合、メディアにたわみがないか確認してください。

テストプリントの前に確認してください

・メディアをセットしているか (P.2-6)	・原点位置をセットしているか
・ヘッドギャップを調整しているか (P.2-28)	

**1** ローカルで **TEST DRAW** キーを押す

テスト プリント  
<ENT>

**2** **ENTER** キーを押す

- ・テストプリントを開始します。
- ・プリントが終わると、ローカルに戻ります。

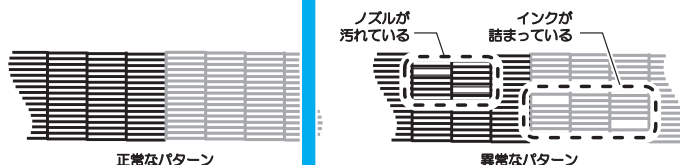
\*\* テスト プリント \*\*  
\*\* プリント チュウ \*\*  
<ローカル, 1> [#\*\*]  
/V\` \*\*\*mm

**3** テストプリントの結果を確認する

- ・正常な場合は、操作を終了します。
- ・異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。 (P.2-34)

ディスプレイ表示  
を表します。

操作手順の  
番号です。



正常なパターン

異常なパターン

な  
使  
い  
方

2-33

文章中のボタンを  
○ 囲みで表しています。

ページ番号です。  
(2章の-33ページ)

# 第1章 ご使用前に



## この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明します。

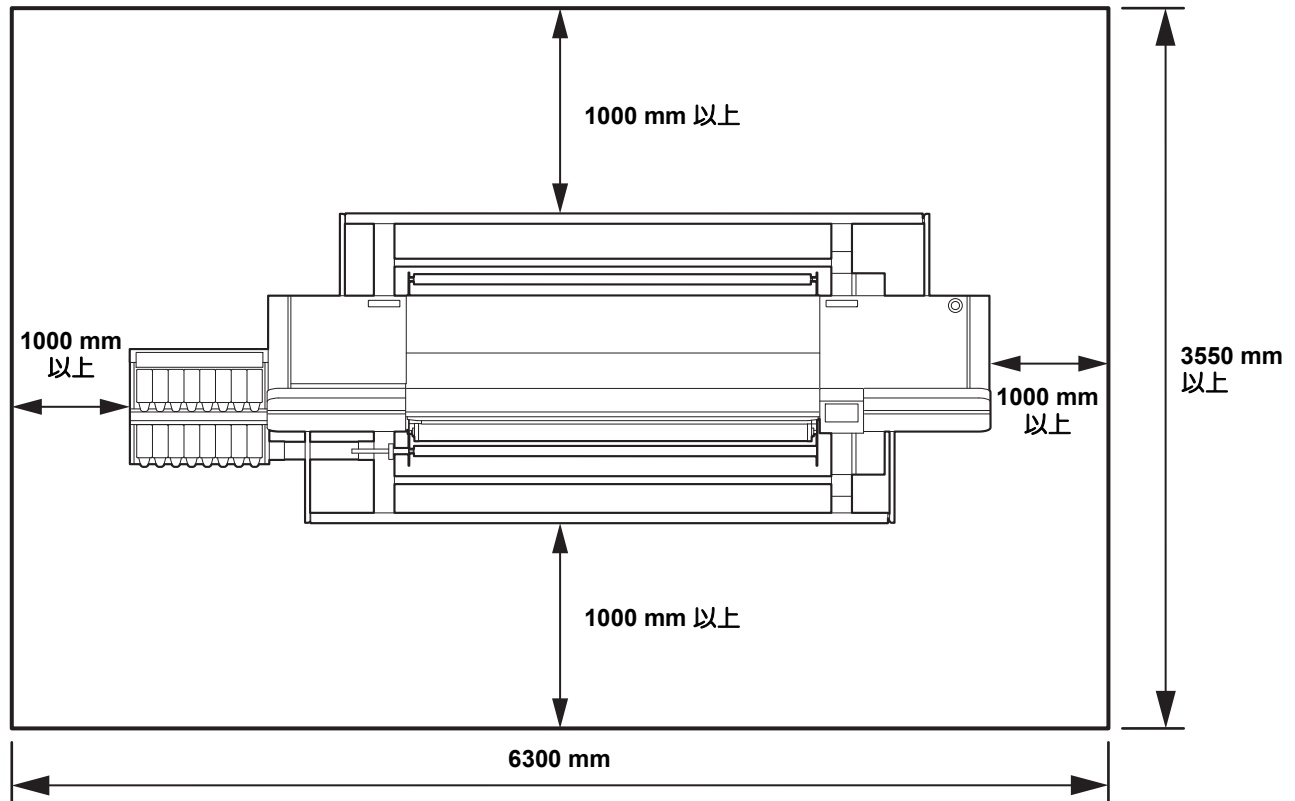
本装置を設置する .....	1-2	カバーの開閉について .....	1-12
設置場所について .....	1-2	カバーの開閉について .....	1-12
本装置の移動 .....	1-2	電源ケーブルについて .....	1-13
各部の名称とはたらきについて .....	1-3	メディアについて .....	1-14
装置前面 / 側面 .....	1-3	使用可能なメディアについて .....	1-14
背面 .....	1-4	プリント布の取り扱いについて .....	1-14
操作パネル .....	1-5	使用制限のあるメディアについて .....	1-14
インク供給ユニット .....	1-6	インクについて .....	1-16
カバー内部の名称とはたらきについて .....	1-7	インクの種類 .....	1-16
キャリッジ .....	1-7	インクの取り扱いについて .....	1-16
キャッピングステーション .....	1-8	インク供給ユニットについて .....	1-17
ヘッド高さ調整棒と高さ調整ネジ .....	1-8	インクをセットする .....	1-18
ピンチローラー .....	1-9	インクをセットする .....	1-18
センサー .....	1-9	インクパックを交換する .....	1-19
布押さえ .....	1-10	ディスプレイの言語表示を切り替える .....	1-20
布押さえフレーム .....	1-10	メニューモードについて .....	1-21
その他のセッティング .....	1-11		
廃インクタンクについて .....	1-11		
USB 出カドライバーをインストールする .....	1-11		

# 本装置を設置する

## 設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。  
本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

横 幅	奥行き	高 さ	全体重量
4300 mm	1550 mm	1600 mm	500 kg 以下



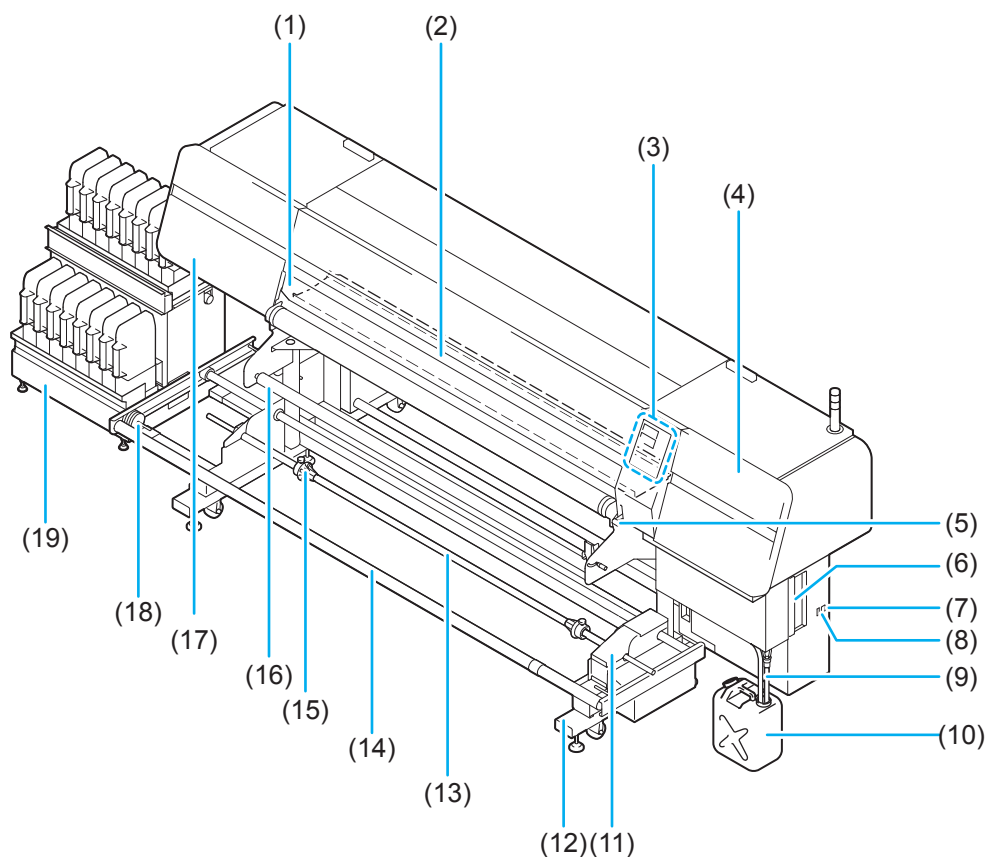
## 本装置の移動

**重要!**

- 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。  
お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になります。  
本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

# 各部の名称とはたらきについて

## 装置前面 / 側面

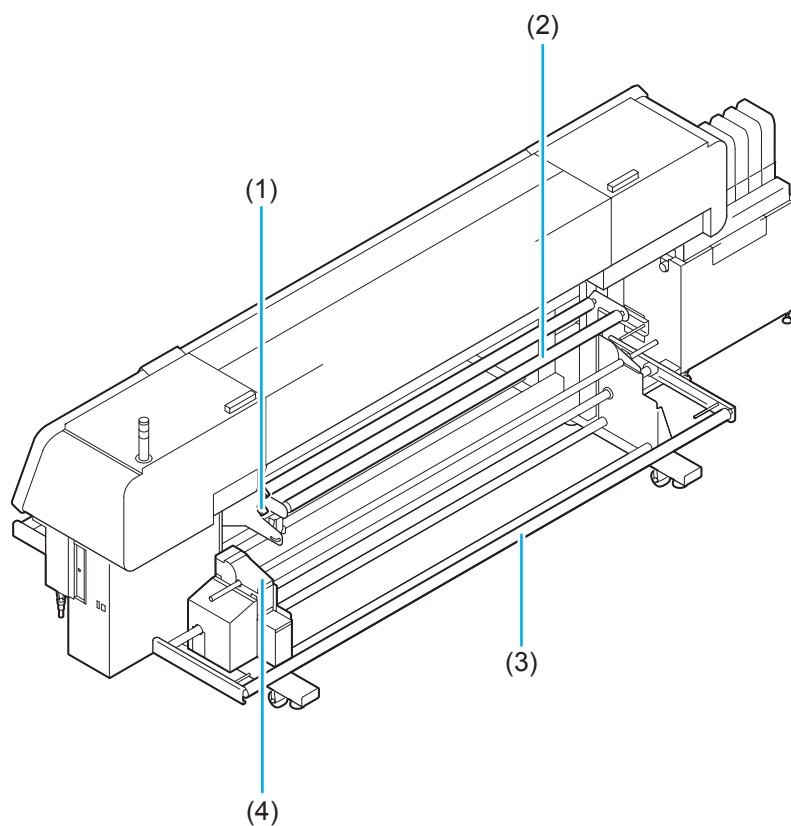


1

1 使用の前に

名称	はたらき
(1) フロントカバー	布のセット、布詰まりの処置およびメンテナンス時に開けます。
(2) 布押さえフレーム	布押さえフレームに沿って、布を出力します。
(3) 操作パネル	本装置に必要な設定を行う操作キーや操作項目を表示するディスプレイがあります。
(4) メンテナンスカバー R	ステーションメンテナンスの際に、ネジを緩めて開きます。
(5) クランプレバー (前)	ピンチローラを上下して、プリント布を保持/解放します。
(6) USB2.0 コネクタ	USB2.0 インターフェースコネクタです。
(7) AC インレット	電源ケーブルを接続します。
(8) 電源スイッチ	本装置の電源をオン/オフします。
(9) 廃インクホース	廃インクを排出するホースです。
(10) 廃インクタンク	廃インクを溜めるタンクです。
(11) 巻取ユニット	プリントした布を巻き取る装置です。
(12) 脚	本体を支える部分です。本装置を移動するためのキャスタが付いています。
(13) ロールシャフト	布紙管を通して巻取 / 繰出ユニットにセットします。
(14) 巻取テンションバー	巻き取る布のテンションを調節します。
(15) ロールホルダ	布紙管を固定します。
(16) 折り返しバー	メディアとして布をお使いになる場合に使用します。
(17) メンテナンスカバー L	左側にあるステーションのカバーです。キャリッジメンテナンスの際に、ネジを緩めて開きます。
(18) カウンターウェイト	テンションバーの自重を調整します。
(19) インク供給ユニット	インクパックやインク IC をセットするスロットや、インクパックの状態を表すランプがあります。

# 背面



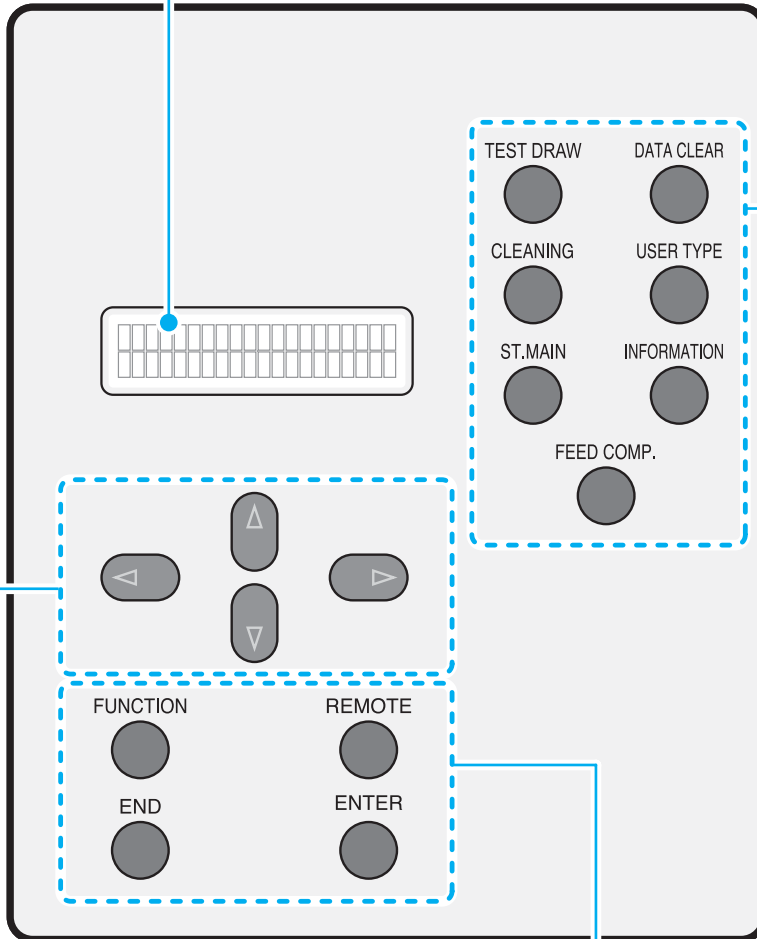
	名 称	はたらき
(1)	クランプレバー（後）	本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。
(2)	折り返しバー	布メディアをお使いのとき、ロール繰出し側のメディアテンションを安定させたい場合に使用します。
(3)	繰出テンションバー	繰り出す布のテンションを調節します。
(4)	繰出ユニット	使用する布を繰り出す装置です。



## 操作パネル

### ディスプレイ

装置の状態や設定項目、エラー情報などを表示します。



### ジョグキー

各種設定をするときや、カーソルを移動するときを使用します。

### FUNCTION キー

各種設定をするときに使用します。

### END キー

設定を終了するときや、動作を中断するときに押します。

### REMOTE キー

<ローカル>と<リモート>を切り替えるときに押します。

### ENTER キー

設定や動作を確定するときに押します。

### TEST DRAW キー

テストプリントをするときに使用します。

### DATA CLEAR キー

受信したデータを消去をするときに使用します。

### CLEANING キー

ヘッドのクリーニングをするときに押します。

### USER TYPE キー

ユーザタイプを変更するときに押します。

### ST.MAIN キー

キャッピングステーションのメンテナンスを実行します。  
メンテナンス機能の「ステーションメンテナンス」をダイレクトに起動することができます。

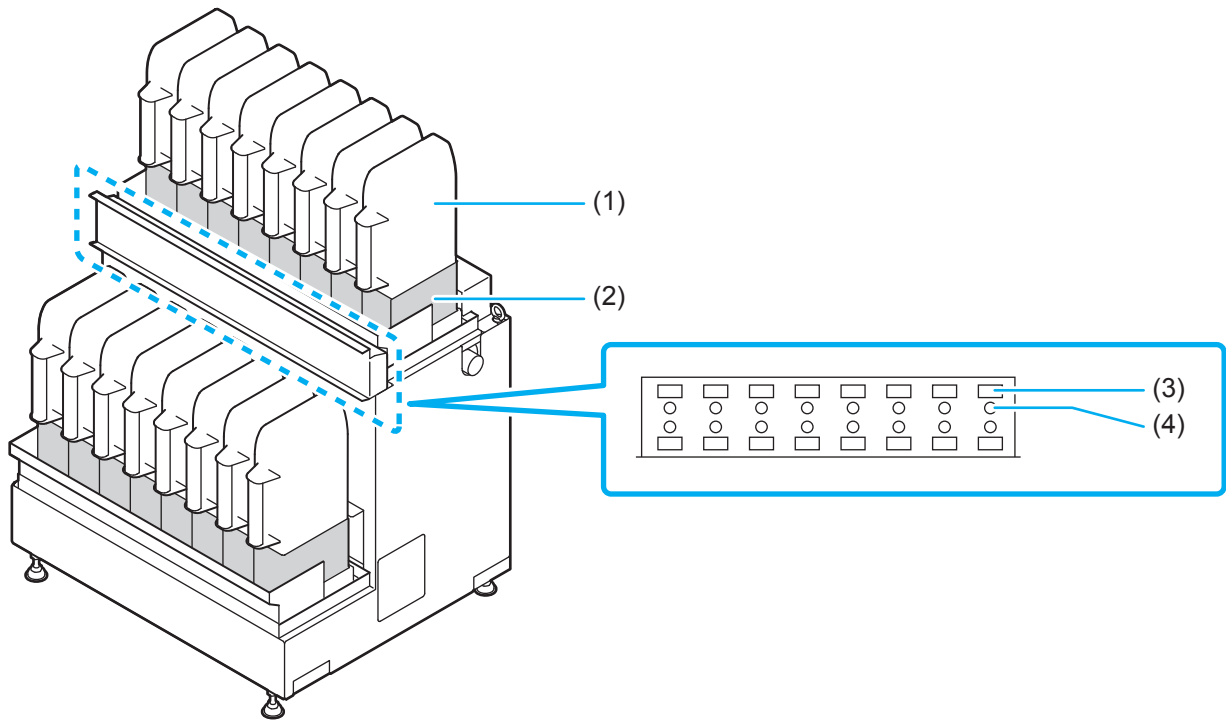
### INFORMATION キー

メンテナンス機能の「マシンジョウホウ」をダイレクトに起動することができます。

### FEED COMP. キー

現在選択中のユーザタイプに対して、メディア補正を行うときに押します。  
メディアをセットする際には、補助メニューを表示します。

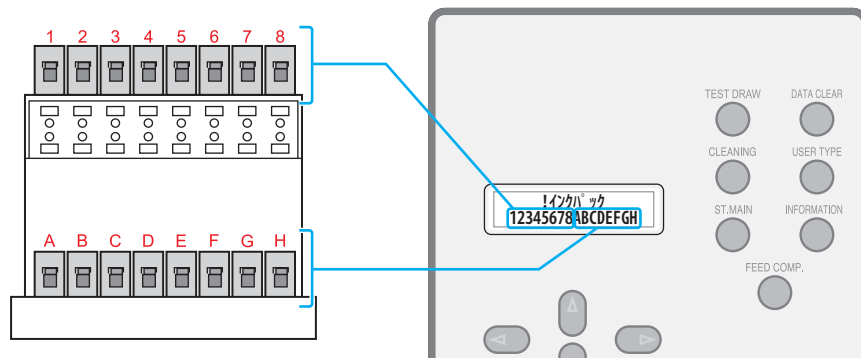
# インク供給ユニット



	名称	はたらき
(1)	2L エコケース	専用のインクパックをセットします。
(2)	インクパックスロット	各色のインクパックの入ったエコケースをセットします。
(3)	インク IC スロット	インクパックに付属しているインク IC をセットします。
(4)	インクスロットランプ	インクパックの状態を表します。



・ディスプレイに表示されるスロット番号は、下図のスロットに対応しています。



# カバー内部の名称とはたらきについて

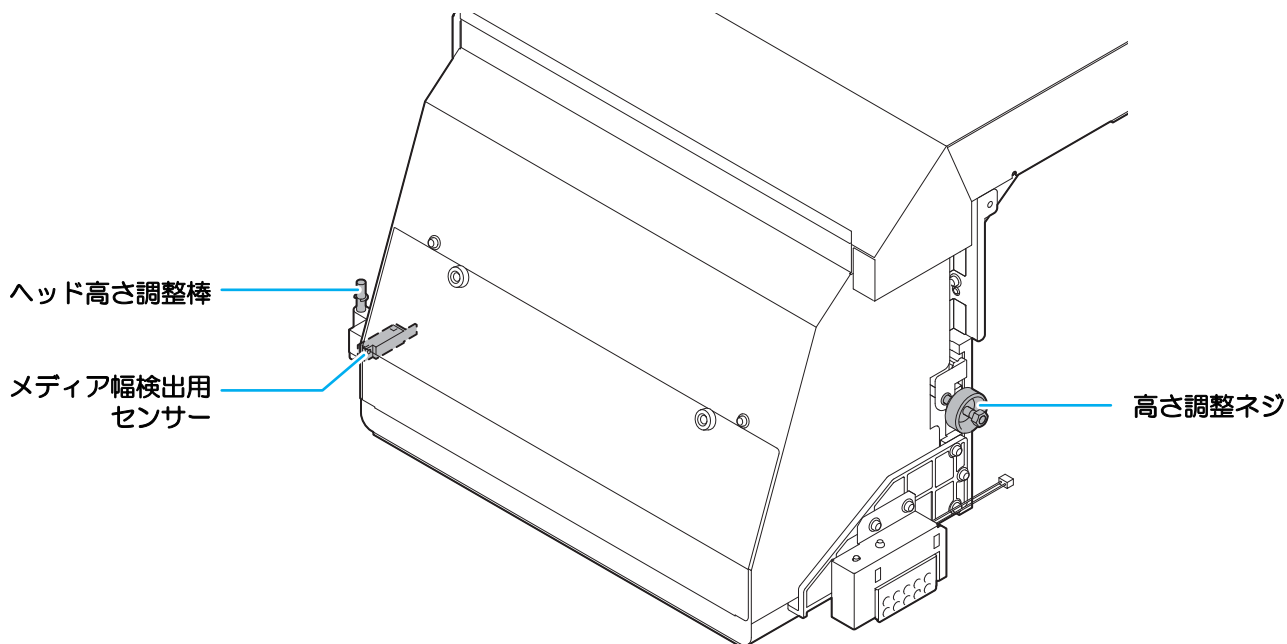
フロントカバーやメンテナンスカバーRの内部には、プリント時に使用するキャリッジやキャッピングステーションなどがあります。カバーの内側の機構について説明します。

## キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドや、メディア幅検出用のセンサーなどがあります。また、多様なメディア厚に合わせてヘッドの高さを調整するための高さ調整ネジが付いています。

キャリッジはプリントやメディア検出時に動きます。

キャッピングステーション内部のメンテナンス作業をする場合は、ステーションメンテを実行してキャリッジを移動します。(P.4-7)



- 高さ調整をせずにプリントを開始すると、メディアの破損のみならず本装置まで破損する恐れがあります。



- メディアをセットしプリントを開始する際は、ヘッドの高さ調整を必ず行ってください。(P.2-28)

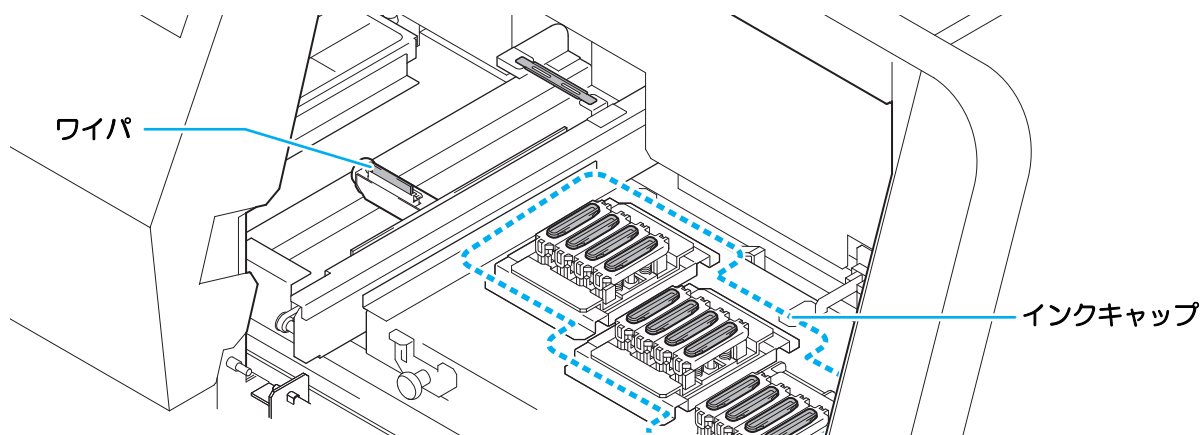
## キャッピングステーション

キャッピングステーションはインクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成しています。

インクキャップ : インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。

ワイパ : ヘッドのクリーニングに使用します。

- 重要!**
- ・キャッピングステーションの拭き掃除（ホコリ、繊維クズ）はこまめに行ってください。
  - ・インクキャップは定期的にクリーニングし、付着したインクを取り除いてください。インクが付着したまま長期間放置すると、凝固したインクにより吐出不良が発生します。



## ヘッド高さ調整棒と高さ調整ネジ

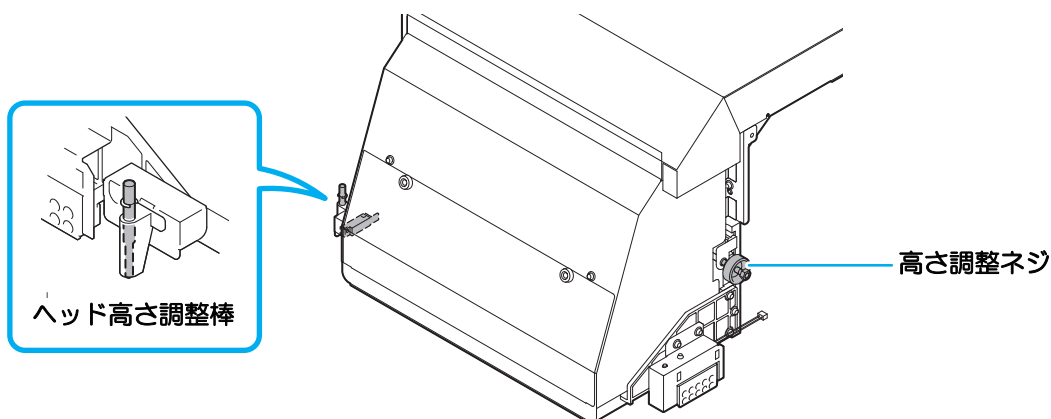
布をセットした後、布の厚みに合わせてヘッドの高さを調整します。(☞ P.2-28)



- ・布をセットした後は、必ずヘッドの高さ調整を行ってください。高さ調整をしないでプリントなどの動作をすると、ヘッドが布にぶつかり、ヘッド破損の原因となります。

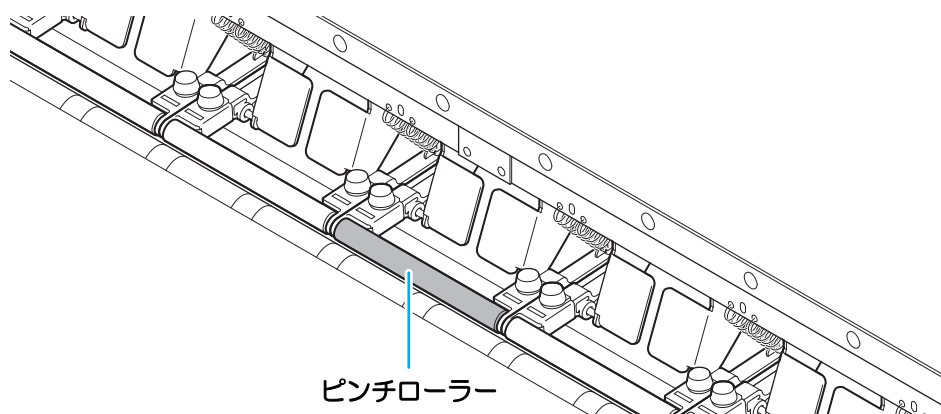
**重要!**

- ・ヘッド高さは 3mm 以下にしてお使いになることをおすすめします。3mm 以上にして使用した場合、プリント画像のボヤケやプリント経過での色味の変化・インクミストによるノズル抜けなどが起こる可能性があります。
- ・ヘッド高さを 3mm 以上で使用したことによるプリント品質について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



## ピンチローラー

本装置ではピンチローラーで布を保持し、プリント時に布を前側に送り出します。



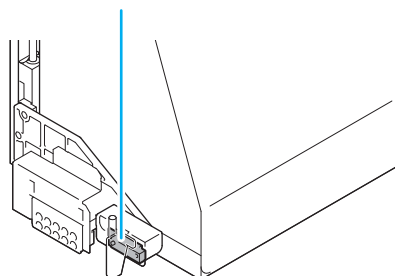
### 重要!

- 本装置を使わない時は、ピンチローラーを上げた状態にしてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラーが変形し、布を確実に保持できなくなる場合があります。

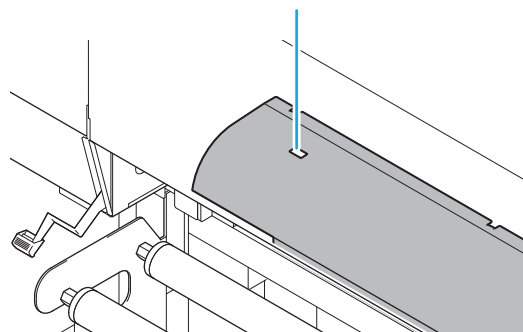
## センサー

本機には、メディアの幅を検出するための「メディア幅検出センサー」と、メディアの有無を検出する「メディアセンサー」があります。

メディア幅検出センサー



メディアセンサー



### 重要!

- ロール状の布をセットする場合、プラテン後部のメディアセンサーを覆う必要はありません。
- リーフ状のメディアをセットする場合は、必ず、プラテン後部のメディアセンサーを覆うようにしてセットしてください。プラテン後部のセンサー上にメディアがないと、メディア検出をできません。
- 透明または裏面が黒いリーフ状の布をセットした場合、布の検出ができない場合があります。(ディスプレイに“ERROR50”を表示)

## 布押さえ

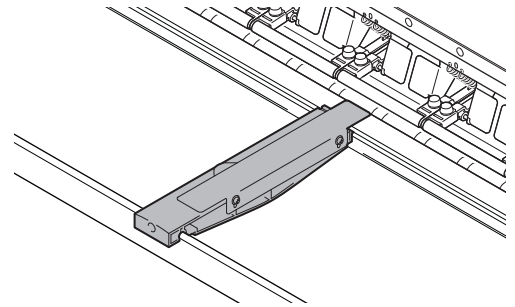
布の端がカールしていたり毛羽立っていると、次のような不具合を起こすことがあります。

- プリント時にヘッドが布を引っかけるなどして布がズれる
- 布が一箇所に集まってしまったために布詰まりを起こす
- インクの吐出不良が発生する

このようなことが起こらないように、布押さえをお使いください。

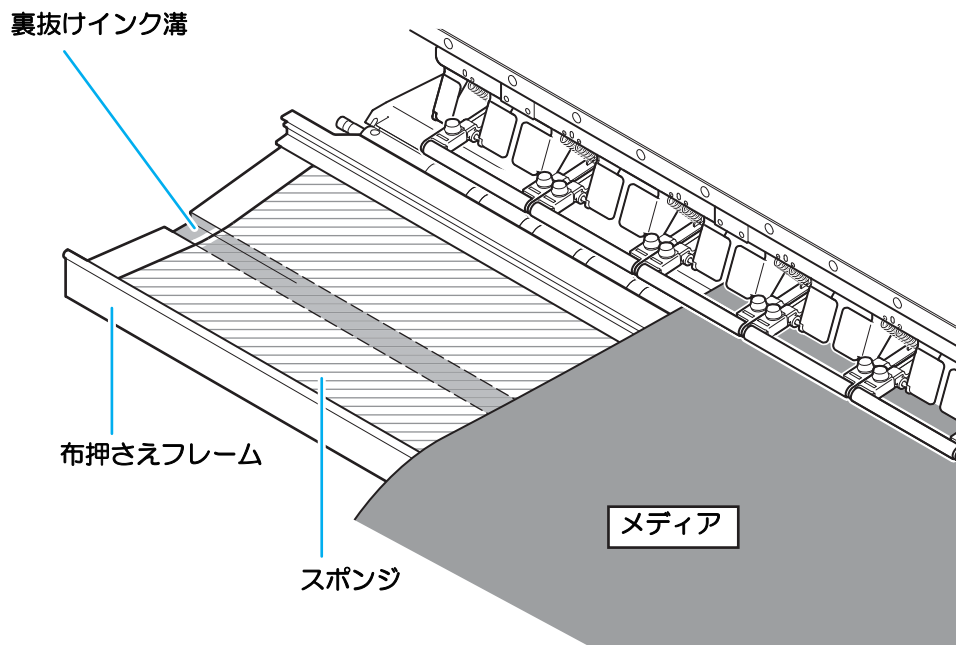


- 布押さえはプリント幅を検出するための検出板の機能も兼ね備えています。布押さえを布端から離れた位置にセットすると、布地の幅いっぱいにはプリントすることもできます。
- 布押さえをメディアから離しすぎると、ミスト発生の原因となります。メディアに隣接させた状態でご使用ください。



## 布押さえフレーム

目の粗い布にプリントすると、インクの一部が布を通過します。通過したインクは、布押さえフレームのスポンジに吸収され裏抜けインク溝に溜まります。

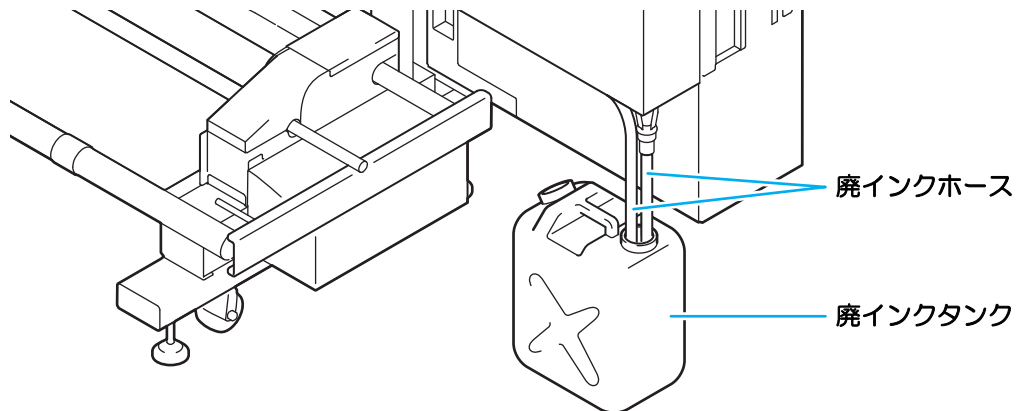


## 廃インクタンクについて

ヘッドクリーニングなどで使用したインクや洗浄液などまた、布押さえフレームに溜まったインクは廃インクタンクにたまりまます。

廃インクタンクに廃インクホースの先端を差し込んでください。

- 重要!**
- ・ 廃インクが漏れないようにお気を付けください。
  - ・ 廃インクタンクが倒れないようにお気を付けください。



## USB 出力ドライバーをインストールする

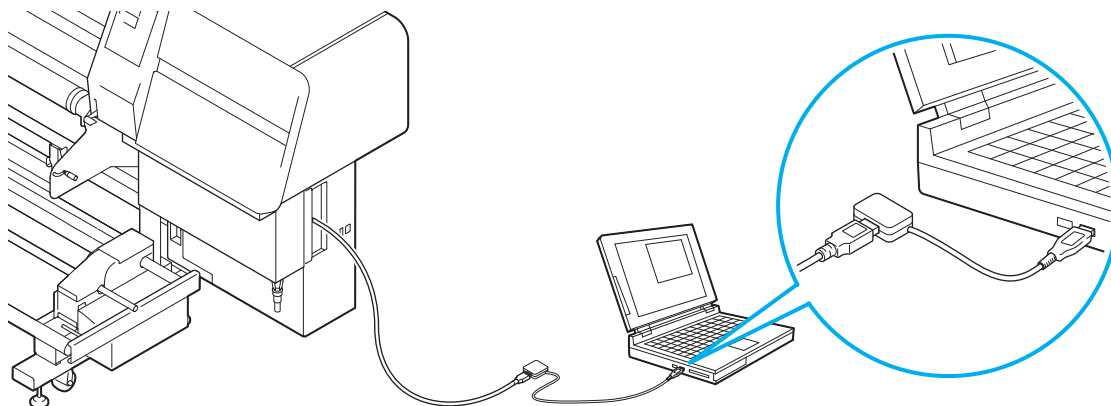
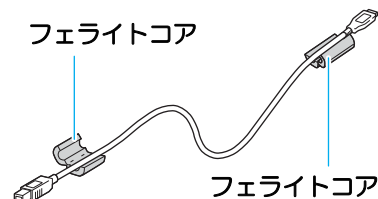
本装置とホストコンピュータをUSB2.0インターフェイスで接続する場合、ホストコンピュータにUSB2.0出力ドライバーをインストールする必要があります。



- ・ インストールの方法について、添付の CD-ROM の内容に従ってください。



- ・ あらかじめ USB インターフェイスケーブルに付属のフェライトコアを取り付けてください。(右図参照)
- ・ USB2.0 インターフェイスケーブルを接続するときは、本機の電源スイッチをオフにしてください。
- ・ ご使用のアプリケーションが USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- ・ USB2.0 インターフェイスがホストコンピュータについていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。



# カバーの開閉について

## カバーの開閉について

**重要!**

- プリント中はフロントカバーやメンテナンスカバー L/R を開けないでください。プリント中にフロントカバーまたはメンテナンスカバー L/R を開けると、安全のためキャリッジを停止し、本装置のプリント動作が止まります。この場合、次の操作手順で本装置およびコンピュータを再起動してください。
- プリントしないときも必ずフロントカバーとメンテナンスカバー L/R は閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。
- メンテナンスカバー L/R はステーションメンテの際以外は、開けないでください。

## プリント中にフロントカバーやメンテナンスカバー L/R を開けると

プリント中にフロントカバーやメンテナンスカバー L/R を開けると、ディスプレイにエラーを表示し、プリントができなくなります。以下の手順に従って、エラーを解除してください。

!メンテカバー  
カバー ヲ シメテクダサイ

1

### コンピュータからのデータ送信を停止する

- コンピュータから画像データの送信を中止できない場合は、コンピュータの電源を入れ直して、再起動してください。

2

### カバーを閉め、**ENTER** キーを押す

シハラク オマチクダサイ  
\*\*\*\*\*-----



# 電源ケーブルについて

以下の仕様のコンセントに、電源ケーブルを接続してください。

電 圧	AC200 - AC240V ± 10%
周波数	50/60Hz ± 1Hz
容 量	7.5A 以上

**重要!** • 100V 系の電源コンセントは、使用できません。

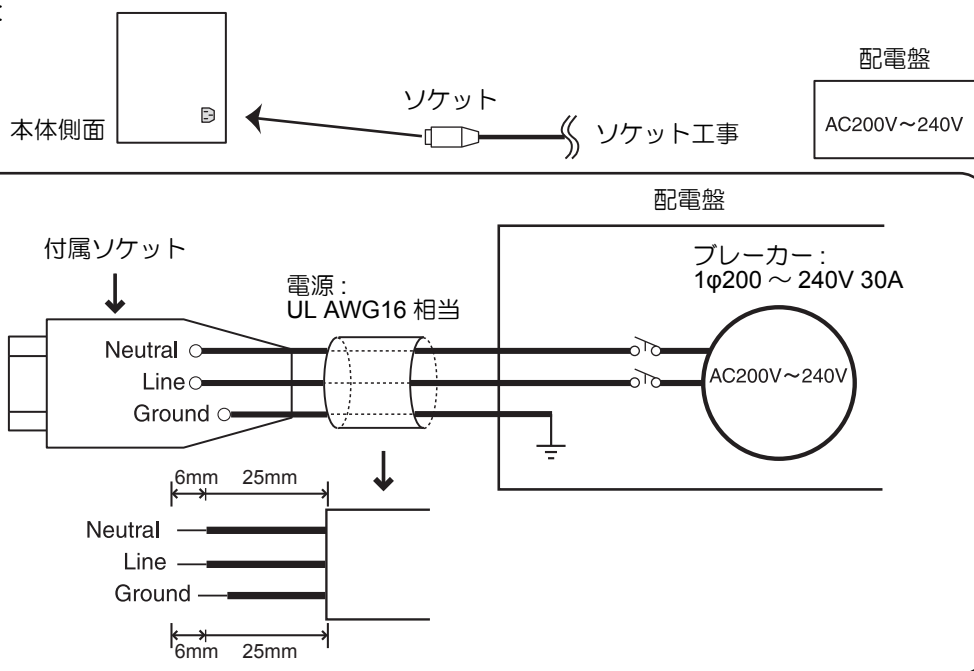


- 本装置の設置は、お客様が行うことはできません。電気工事業者にお任せください。
- 本体への電源供給は、以下の電気工事が必要となります。工事は電気工事業者に依頼してください。  
ブレーカーへのソケット工事  
C 種接地工事 (特別第 3 種接地工事)
- コンセントは必ず本装置の近くにあるようにしてください。また、容易に取り外しが可能な場所に置いてください。
- 本装置の電気工事は、感電防止のため電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。
- 誤配線をしないようにご注意ください。火災や感電の恐れがあります。
- 電源ケーブルは、アース処理されたコンセントに接続してください。
- 感電および本装置が破損する恐れがあります。
- 電源ブレーカーが、突入電流 50A・0.01 秒以上に対応したコンセントをお使いください。



- 本装置の電源接続は、「プラグ差し込み式タイプ A」の規定に基づき、IEC60320 規格のプラグを使用しています。
- 本装置の電源ケーブルのプラグに合うソケット工事が必要な場合は、添付のソケットをご利用の上、配電盤とソケットの間の工事を行ってください。

## ソケット工事



## 使用可能なメディアについて

本装置で使用可能なメディアには、「ロール」と「リーフ」があります。

	ロールメディア	リーフメディア
最大幅	1860 mm	
最小幅	210 mm	
最大プリント幅	1850 mm	
厚さ	7 mm 以下	
ロール外径	φ270mm 以下	
ロール重量	38 kg 以下	
紙管内径	1.5 ~ 3 inch	
プリント面	内巻き／外巻き不問	
巻き取り方向	内巻き／外巻き不問	
巻終わり処理	弱固定	
セット位置	センター基準	右基準

## プリント布の取り扱いについて



- 布の前後処理は弊社推奨レシピをお使いください。それ以外の処理で発生したトラブルについては、責任を負いかねます。



- 布をセットする場合、必ず布の厚さに合わせてヘッドの高さ調整をしてください。プリント布やヘッドを破損する恐れがあります。
- 布の厚さに対して左右端のガミング処理（布端ほつれ防止処理）やテナタ跡が厚くなっている場合は、布の左右端の厚さに合わせてヘッド高さや布押さえステンレス板の高さを調整してください。
- 布の左右端が厚くなっている布を使用すると、巻き取り時にロール左右端が盛り上がるために巻きズレを起こしやすくなります。巻きズレをすると布が斜行しやすくなり、ヘッドノズル面との接触などのトラブルの原因となります。
- インク付着によるぬれ伸縮率の高い布地や、弾力性の高い布地は、使用しないでください。ヘッドノズル面との接触や、プリントがずれるなどのトラブルを発生する原因になります。
- カールのきつい布は、カールを取り除いてから使用してください。カールがきついと、プリント品質に影響を及ぼしたり、ヘッドノズル面と接触し吐出不良の原因となります。
- 使用する布を保管する場合は、袋に入れて保管してください。布に付着したホコリ、紙くず、および繊維くずを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。

## 使用制限のあるメディアについて

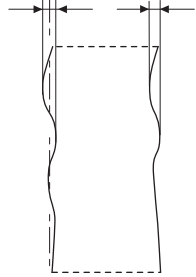
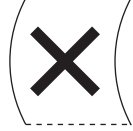
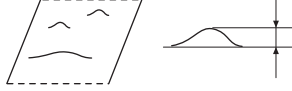
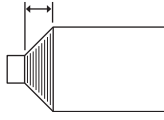
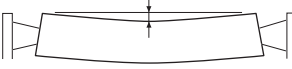
下記のようなメディアは、プリンタ側での補正が困難な素材です。  
使用する場合は、任意のテストデータによるプリントを行い、使用可能かどうかを判断してください。

- 伸縮性の大きい素材（ストレッチ材、縦方向に伸縮するニット等）
- 印字によって濡れると、伸び縮みの度合いが大きい素材
- 幅のバラツキが大きい素材
- 平坦面に広げた時、部分的にシワ、タルミが発生している素材、全体に曲がっている素材
- ロール状態でのメディア幅端面の巻きズレが大きい素材
- 使用している紙管の強度が不足し、繰出し装置に取り付けた時、たわんでいるもの



- 上記以外のメディアを使用する場合も、必ず任意のテストデータによるプリントを行ってください。プリント結果を確認してから、使用が可能か判断してください。

## プリントできる布の条件

項目	条件	備考
幅バラツキ	片側側面で $\pm 5\text{mm}$ 以下	
広げた時の湾曲	一方向曲がり不可	
平坦面に広げたときのシワ(弛み)高さ	2mm 以下	
ロールエッジのズレ	$\pm 15\text{mm}$ 、 反物(幅 500mm 以下)は $\pm 2\text{mm}$	
ロール内径	1.5 ~ 3 インチ	
紙管強度	セット時のロール曲がり 5mm 以下 (紙管肉厚 5mm 以上)	
布端からの紙管露出長	20mm 以上	
紙管との固定	テープ 3 点以下または弱接着	
ロール外径	$\phi 270\text{mm}$ 以下	
ロール重量	38kg 以下	
プリント面	外巻き / 内巻き不問	
巻きシワ	不可	

## インクの種類

本装置では以下の4種類の捺染用インクが使用可能です。

酸性染料インク	羊毛・絹などの動物系繊維やナイロンなどに適しています。(予定)
反応染料インク	綿・レーヨンなどの他に、羊毛・絹などの繊維にも適しています。
昇華染料インク	ポリエステル・アクリルなどの繊維に適しています。
分散染料インク	ポリエステル・アクリルなどの繊維に適しています。(予定)
捺染顔料インク	綿にご使用ください。後処理は熱プレスで定着できます。

### 重要!

- いずれのインクを使用する場合も、プリントする布には弊社推奨の前処理・後処理を行ってください。
- 捺染顔料インクは、湿度40～60%の環境でご使用ください。

## インクの取り扱いについて



- インクは、ミマキエンジニアリング純正品をご使用ください。ミマキ純正のインク以外を使用して発生したトラブルについては、保証期間内であっても有償修理となります。
- 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- インクパックのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- インク IC の基板接点部分を、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障原因となります。
- 使用済みのインクパックは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

### 重要!

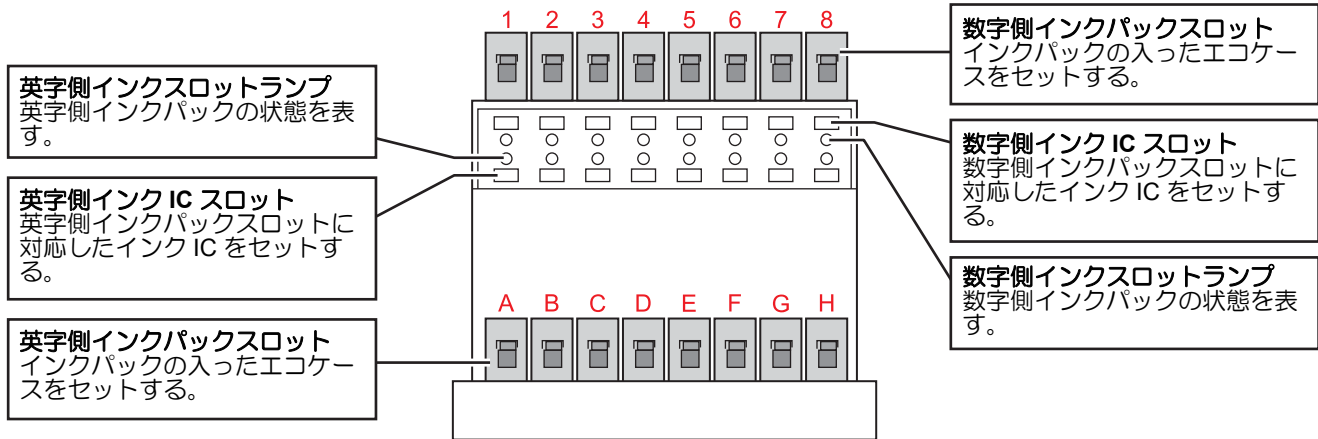
- インクパックを強く振らないでください。強く振ったり、たたいたり、振り回したりすると、インクパックからインクがもれることがあります。
- インクパックは、取付直前に開封してください。また、インクパックを開封してから6カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものはプリント品質が低下します。
- インクは冷暗所で保存してください。
- 空になったインクパックは、使用している地域の条例に従って処分してください。
- インクパックに記載してある有効期限を過ぎた場合、そのインクを使用しないでください。
- 捺染顔料インクは、乾きやすいので、乾燥していると、ノズル抜け、曲がりが発生しやすくなります。低湿の状態でご使用の場合は、「プリント前クリーニングの設定」(P.3-13)をONにし、「プリント中クリーニングの設定」(P.3-14)で、長さを3m以下に設定することをお勧めします。



- 各インクステーションにセットしたエコケースの色配置を間違えないように付属のタックタイトルを相対するインクステーションのカバー部に貼ってください。

## インク供給ユニットについて

上段のスロットを「数字側スロット」と呼び、下段のスロットを「英字側スロット」と呼びます。



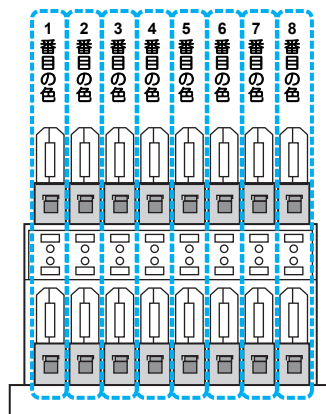
1

1 使用前の

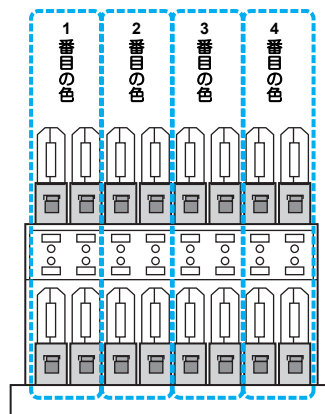
### 8色14色でのインクパックのセット

下表で示すスロットの組み合わせには、必ず同じ色のインクパックをセットしてください。

同じ色をセットするスロット		
8色		4色
1、A	5、E	1、2、A、B
2、B	6、F	3、4、C、D
3、C	7、G	5、6、E、F
4、D	8、H	7、8、G、H



8色の場合



4色の場合

### インクスロットランプについて

ランプの状態	内 容
消灯	正常な状態
点灯	該当スロットでエラーが発生しているため、インク供給が出来ない状態

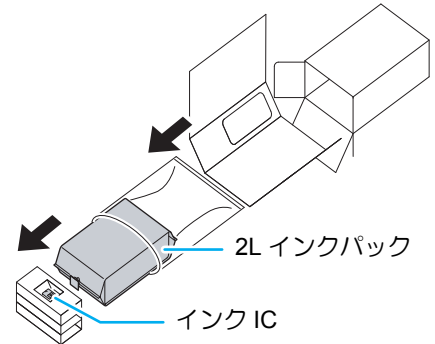
# インクをセットする

## インクをセットする

1

### 2L インクパックを用意する

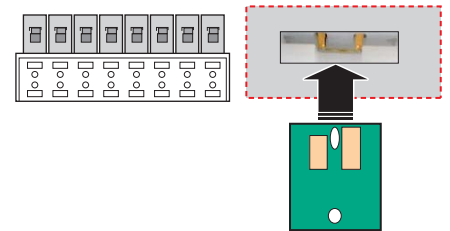
- 2L インクパックとインク IC を梱包箱から取り出します。



2

### インク IC をインクスロットへセットする

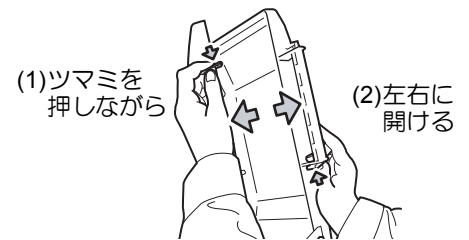
- インク IC は金属が付いている方を上にして差し込んでください。間違えて差し込むと、故障やインク IC 破損の原因となります。
- インク IC の金属部分には触れないでください。静電気によるインク IC 破損や、汚れ・傷による IC 読み取り不良の原因となります。



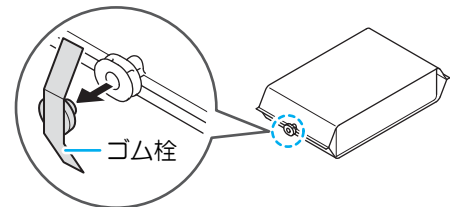
3

### 2L インクパックを 2L エコケースに入れる

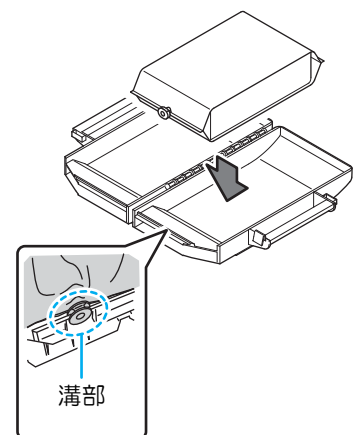
- (1) 図のようにして、2L エコケースを開ける



- (2) 2L インクパックのコネクタ部に着いているシールを剥がす



- (3) コネクタ部を下にして 2L インクパックを入れ、2L エコケースを閉じる

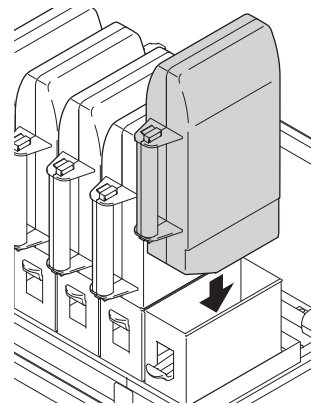


- (4) エコケースに付属の銘板を貼り付ける

## 4 2L エコケースを台座に取り付ける

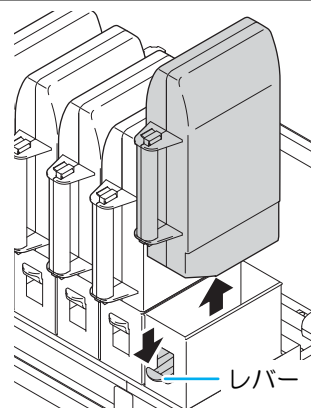
**重要!**

- 同じ梱包箱から取り出したインクパックとインク IC は、必ず同じスロットへセットしてください。異なるスロットにセットすると、インクが使用できない場合があります。
- エコケースは垂直にセットしてください。  
(傾いた状態でセットすると、コネクタが破損し、インク漏れの原因となる)

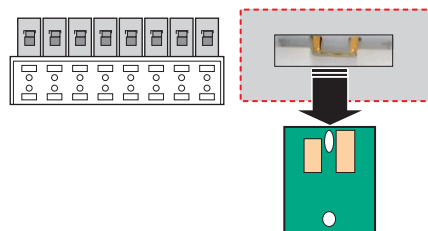


## インクパックを交換する

### 1 レバーを押し下げ、2L エコケースを取り外す



### 2 2L エコケースを取り出したスロットのインク IC を取り外す



### 3 2L エコケースを開け、インクパックを交換する

- 使用済みのインクパックは、手順 2 で取り外したインク IC と一緒にしておいてください。(新しいインクパックのインク IC と混同させないため)

### 4 新しいインク IC をインクスロットにセットし、手順 3 で交換した 2L エコケースを台座に取り付ける

**重要!**

- 使用済みのインクパックは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
  - 使いかけのインクパックを交換するときは、次のようにしてください。  
インク残量の管理ができなくなります。
- (1) 2L エコケースから使いかけのインクパックを取り出す
  - (2) エコケースを取り出したスロットのインク IC を取り外す
  - (3) 使いかけのインクパックと一緒にインク IC を保管する
  - (4) 再度使用するときは、インクパックをセットし、一緒に保管したインク IC をスロットに差し込む

# ディスプレイの言語表示を切り替える

お買い上げ時のディスプレイ表示言語は英語になっています。  
各種キー操作の前に、必要に応じて次の手順で日本語に切り替えてご使用ください。

- 1 ローカルモードで、**FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
SETUP <ENT>
- 2 **▲** **▼** を押して、**[DISPLAY]** を選択する  
FUNCTION  
DISPLAY <ENT>
- 3 **ENTER** キーを押す  
DISPLAY  
ENGLISH <ENT>
- 4 **▲** **▼** を押して、**[JAPANESE]** を選択する  
DISPLAY  
JAPANESE <ENT>  
・設定値 : [ENGLISH], [JAPANESE], [PORTUGUESE],[ITALIANO],  
[ESPANOL], [FRANCAIS],[DEUTSCH],[TURKCE]
- 5 **ENTER** キーを押す
- 6 終了するとき、**END** キーを数回押す



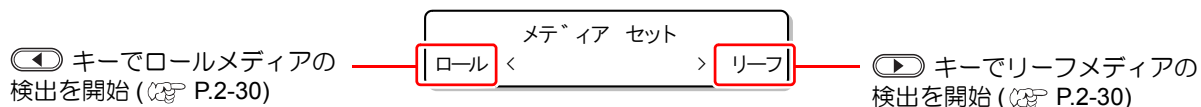
# メニューモードについて

本装置には4つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

## メディア選択画面

メディアを検出する前のモードです。**REMOTE**/**TEST DRAW** キー以外のキーが有効です。

### メディア選択中の画面表示

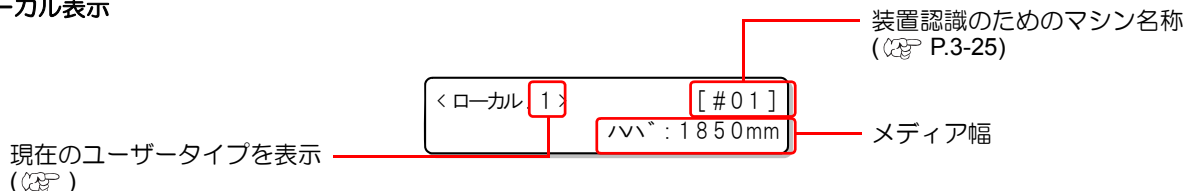


## ローカル

ローカルは、準備状態のモードです。

- 全てのキーが有効です。
- コンピュータから、データを受信できます。ただし、プリントは行いません。

### ローカル表示



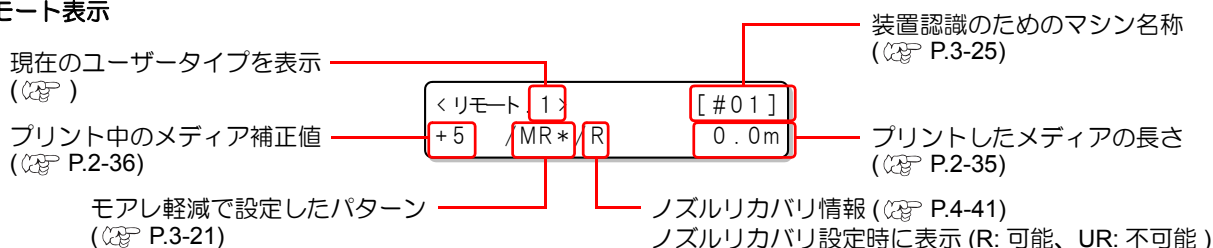
## ファンクション

ローカル時に、**FUNCTION** キーを押すとファンクションモードになります。各ファンクション機能を設定します。

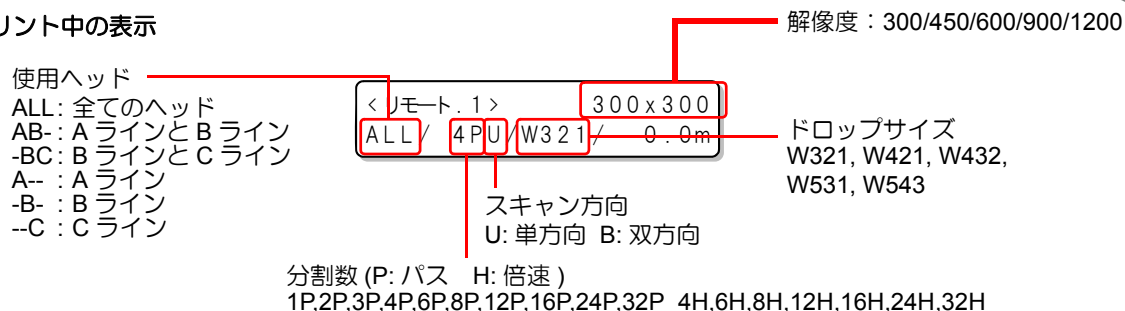
## リモート

受信したデータをプリントします。プリント中に**REMOTE** キーを押すと、一時停止します。

### リモート表示



### プリント中の表示





# 第2章 基本的な使い方



## この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

ユーザタイプについて.....	2-2	テストプリントをする.....	2-33
ユーザタイプに登録できる設定内容.....	2-2	テストプリントを行う.....	2-33
登録したユーザタイプを使用する.....	2-2	ヘッドクリーニングを実行する.....	2-34
作業の流れ.....	2-3	データをプリントする.....	2-35
電源を入れる/切る.....	2-4	プリントを開始する.....	2-35
電源を入れる.....	2-4	プリントを中断する.....	2-36
電源を切る.....	2-5	受信したデータを消去する (データクリア).....	2-36
メディアをセットする.....	2-6	プリント中に布の送り量を補正する.....	2-36
最大プリントエリアについて.....	2-6	メディアをカットする.....	2-37
メディアセットに関する注意事項.....	2-6		
メディアセットの概要.....	2-7		
スペーサ/従動ローラを確認する.....	2-8		
巻取ユニットの準備をする.....	2-14		
布押さえの調節方法.....	2-16		
ロールメディアをセットする.....	2-17		
リーフメディアをセットする.....	2-27		
ヘッド高さを調整する.....	2-28		
メディアを検出する.....	2-30		
原点を変更する場合は.....	2-32		

# ユーザタイプについて

お使いになるメディアに合わせたプリント条件をタイプに登録しておけば、違う種類のメディアに交換したとき、タイプを変更するだけで最適のプリント条件を設定できます。

## ユーザタイプに登録できる設定内容

ユーザタイプ（1～4）への登録方法は、P.3-2 を参照してください。

設定項目	参照ページ	設定項目	参照ページ
メディア補正	P.3-4	マージン	P.3-12
メディア送り	P.3-6	リフレッシュ	P.3-22
プリント品質	P.3-9	ミリ/インチ	
重ね塗り	P.3-22	オートクリーニング	P.3-13
乾燥時間	P.3-20	カラーパターン	P.3-19
優先順位	P.3-11	モアレ軽減	P.3-21

## 登録したユーザタイプを使用する

1

ローカル表示のとき、**USER TYPE** キーを押す

<ローカル. 1> [\*\*\*]  
/\\`\*\*\*\*mm

2

**▲** **▼** を押して、ユーザタイプ（1～4）を選ぶ  
・ **USER TYPE** キーを押しても選べます。

ユーザタイプ° ヘンコウ  
タイプ° (1)-> <2> <ENT>

3

**ENTER** キーを押す

<ローカル. 2> [\*\*\*]  
/\\` : \*\*\*\*mm

選択したユーザタイプの番号

### **USER TYPE** を使わないでユーザタイプを選ぶには

**USER TYPE** キーを押さなくても、**FUNCTION** キーを使ってユーザタイプを選ぶことができます。

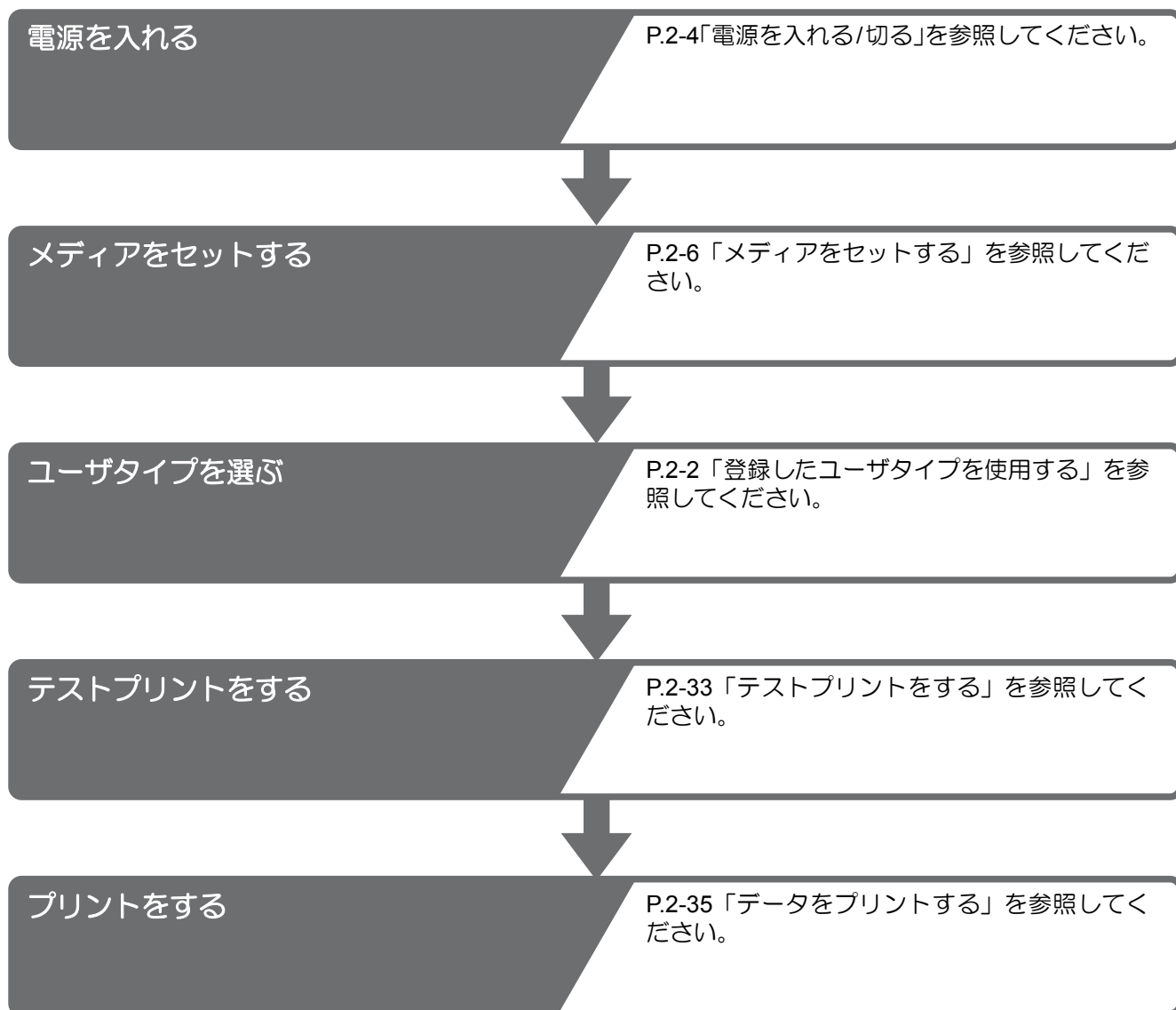
**FUNCTION** を押して  
[セッテイ]を選ぶ

**ENTER** を押す

**▲** **▼** を押して  
ユーザタイプ（1～4）を選ぶ

**ENTER** を押す

# 作業の流れ



## 2

基本的な使い方

# 電源を入れる / 切る

## 電源を入れる

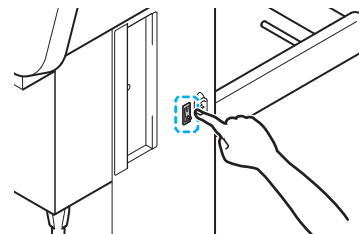
1

接続してあるコンピュータなどの電源をオンにする

2

本装置の電源を入れる

- 電源スイッチを「I」側に倒すと、電源がオンになります。
- 電源をオンにするときは、フロントカバーを閉じておいてください。フロントカバーが開いていると、電源をオンにしても動作しません。
- [BOOT] を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。
- [シバラクオマチクダサイ] を表示します。
- メディア選択画面になります。



BOOT

Tx400 - 1800 V\* . \* \*

シバラク オマチクダサイ  
\*\*\*-----

メディア セット  
ローレ < > リーフ

## 電源を切る

電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。（☞ P.5-8 「エラーメッセージ」）



**本装置の電源は、極力切らないでください。**

- ヘッドノズル面でインクが固着し、ノズル詰まりの改善が困難な状態になってしまいます。やむをえず、電源を切る場合は、P.4-12「ヘッドノズルの洗浄」手順1～8までの操作をして、キャップ内に洗浄液を満たしてから電源を切ってください。
- 本装置の制御の特性上、12時間以上電源を切った状態にすると、キャップをした状態であっても、次第にヘッドノズル面よりインクが出てきてしまう恐れがあります。ノズルからインクが出てきてしまった場合、同じヘッド内で隣り合うノズルとの間で、インクの色が混ざり合ってしまうことがあります。ノズル内でインクが混ざり合ってしまうと、ヘッド内の再充填が必要となり、多くのインクを捨ててしまうことになります。長期間使用しない場合でも、できる限り電源を切らないでください。

**重要!**

- プリント中に電源をオフすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置するとインクのボタ落ちの原因になります。
- キャッピングしていないまま電源をオフした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、インクのボタ落ちを防ぎます。

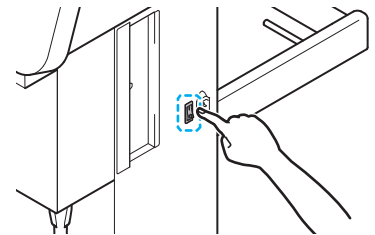
### 1

接続してあるコンピュータなどの電源をオフにする

### 2

本装置の電源を切る

- 電源スイッチを「O」側に倒します。



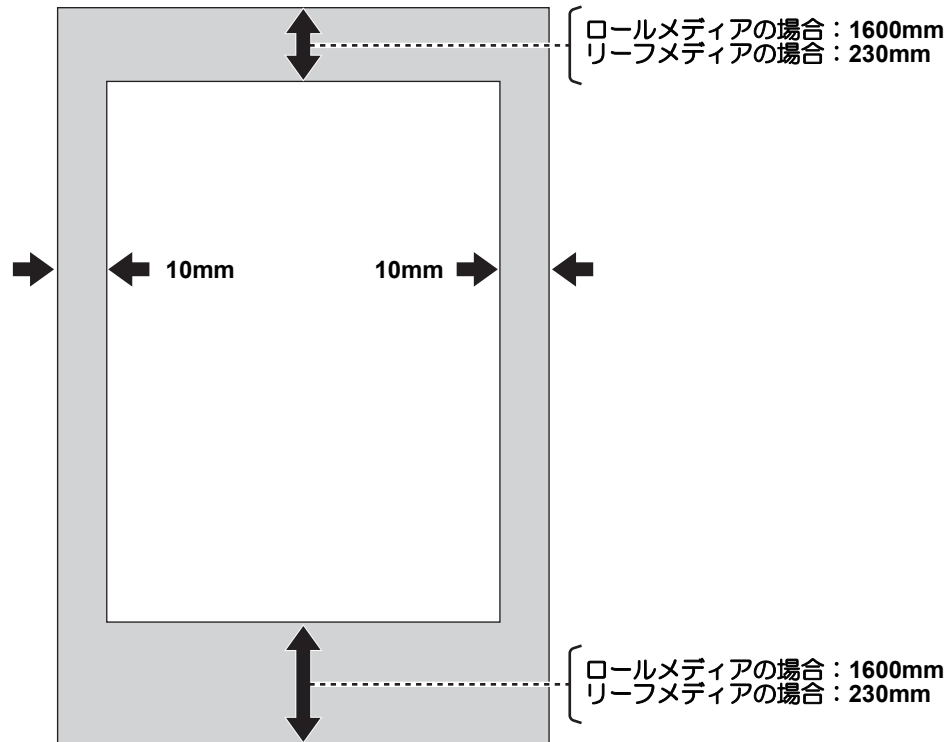
## 2

基本的な使い方

# メディアをセットする

## 最大プリントエリアについて

下図の白部が最大プリントエリアとなります。  
それ以外のプリントできない範囲が、マージンとなります。



- 布の前後端のマージンは、導布の使用により小さくすることもできます。
- 左右のマージンは変更することが可能です。(☞ P.3-9)

使用できるメディアについては、P.1-14「使用可能なメディアについて」を参照してください。

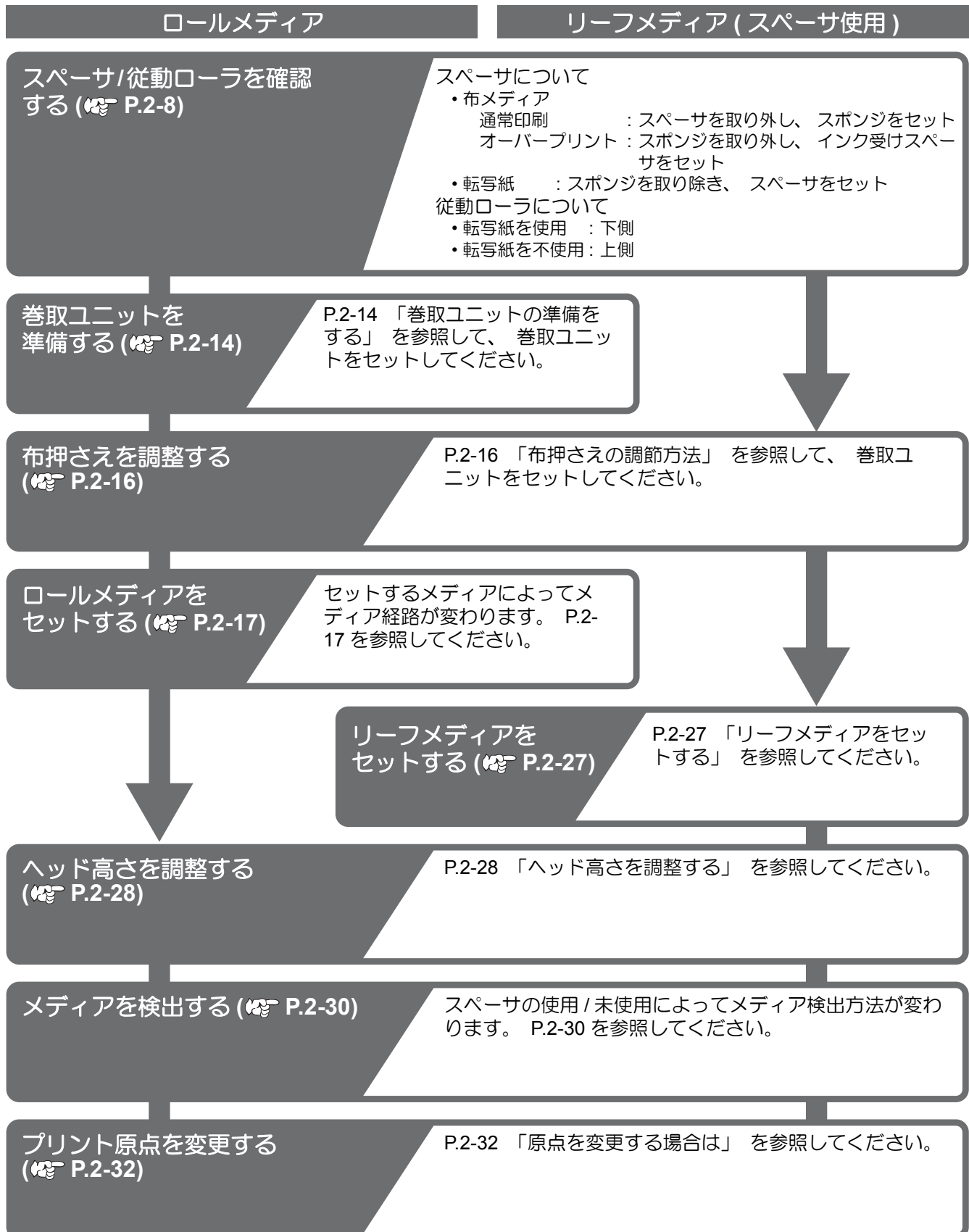
## メディアセットに関する注意事項



- ロールメディアセット用のロールシャフトは、シャフト自体だけでも8～10Kgの重量があります。セットするときは、メディアやロールシャフトを足などに落とさないように注意してください。重みで怪我をすることがあります。
- ロールメディアをロールシャフトに取り付けると、かなり重くなりますので、取り付け・取り外しは、2人以上で作業してください。



## メディアセットの概要

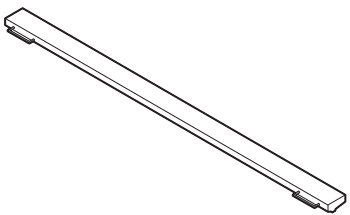
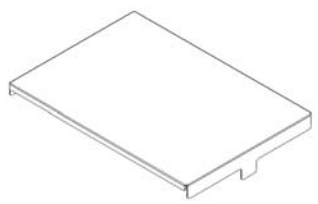
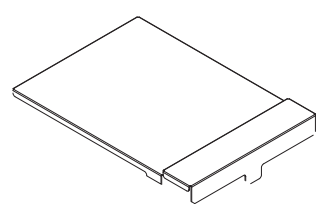


## スパーサ / 従動ローラを確認する

使用するメディアやプリント方法に合わせて、ご使用になるスパーサの種類 (3 種類のスパーサを添付) と従動ローラの位置を設定してください。

### 各種スパーサについて

本機には次の 3 種類のスパーサを添付しています。

スパーサ	インク受けスパーサ	布端スパーサ
		

#### ● 布にプリントする場合 (オーバープリントをしない場合)

布押さえフレームに付属しているスポンジをご使用ください。  
インクミストの発生が多い場合は、インク受けスパーサのみご使用ください。(☞ P.2-10)

#### ● 布にプリントする場合 (オーバープリントをする場合)

インク受けスパーサと布端スパーサをご使用ください。(☞ P.2-10)

#### ● 昇華転写紙にプリントする場合

スパーサのみご使用ください。(☞ P.2-9)

**重要!** ・プリントをするときに布押さえをお使いになる場合は、インク受けスパーサを取り外してください。

## スペーサの取り付け / 取り外し

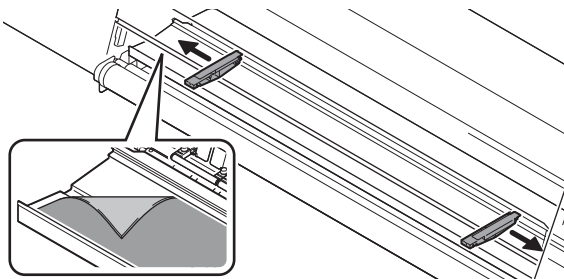
転写紙をセットする場合は、スペーサを取り付ける必要があります。



- 布メディアをセットするときは、必ずスペーサを取り外し、代わりにスポンジをセットしてください。吐出したインクにより、プリント時にメディアが汚れることがあります。

### 1

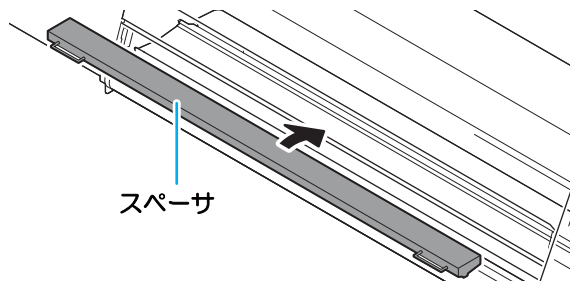
布押さえを左右に寄せ、スポンジを取り除く



### 2

スペーサを取り付ける

- 裏抜けインク溝中央の凹部とスペーサの凸部を合わせるようにして取り付けます。



**重要!**

- スペーサの取り付け / 取り外しをした後は、必ずマシン設定の「スペーサの設定をする」を実行してください。(P.3-33)

## 2

基本的な使い方

## インク受けスパーサの取り付け / 取り外し

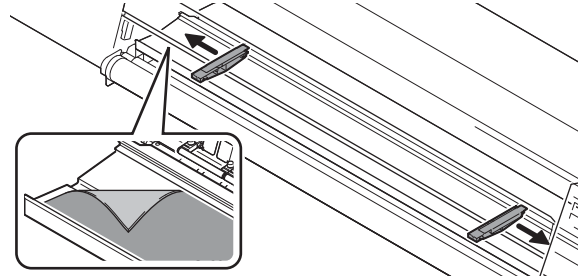
布メディアを使ってオーバープリントを行う場合、インク受けスパーサを裏抜けインク溝にセットしてください。



- ・オーバープリントを行うときは必ずインク受けスパーサを取り付けてください。インクミストの発生を抑えることができます。

1

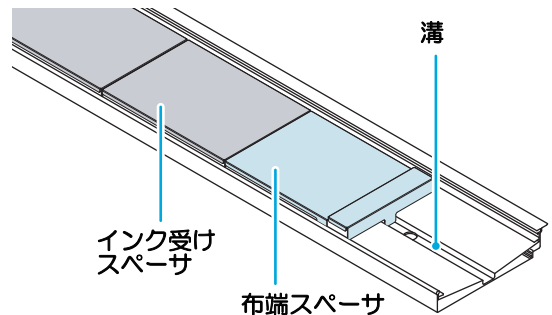
布押さえを左右に寄せ、スポンジを取り除く



2

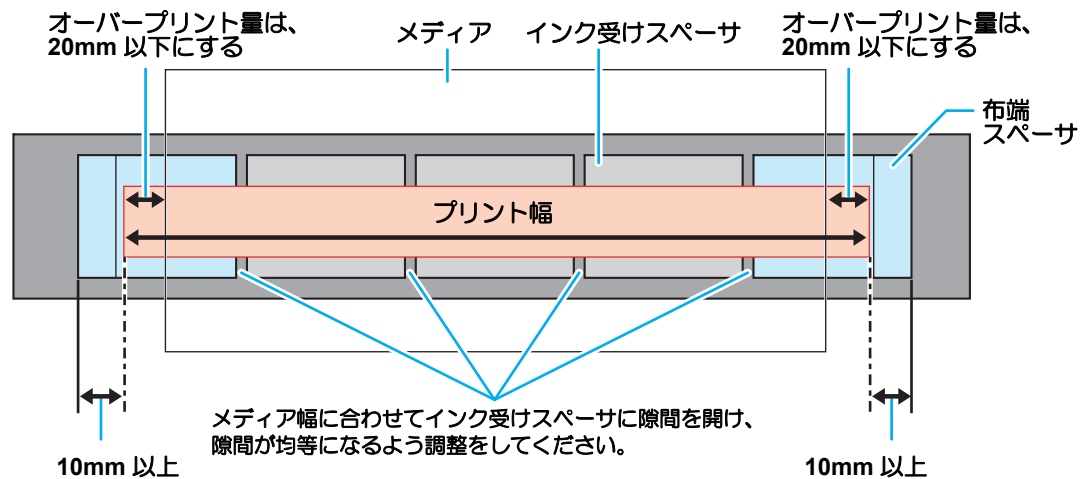
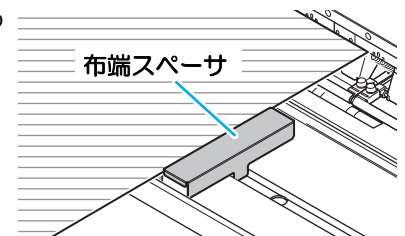
インク受けスパーサと布端スパーサを取り付ける

- ・裏抜けインク溝中央の凹部とスパーサの凸部を合わせるようにして取り付けます。
- ・インク受けスパーサのサイズは、幅 250mmx 奥行き 177mm です。  
プリントする画像の幅に合わせて、取り付けるインク受けスパーサの枚数を調節してください。



インク受けスパーサ / 布端スパーサ取り付けの目安

- ・インク受けスパーサと布端スパーサを合わせた幅が、プリントする画像の幅よりも狭くならないようにしてください。
- ・画像の左右それぞれの端から 10mm 以上の余裕があるように、スパーサの枚数を調節してください。
- ・布端スパーサのエッジをできるだけメディアの端に近づけるようにしてください。



### 3 マシン設定の“スパーサの設定”をONにする

- ・インク受けスパーサを取り付けると、自動でメディア検出ができなくなります。必ず“スパーサの設定”をONにして、手動でメディア検出ができるようにしてください。(☞ P.3-33)

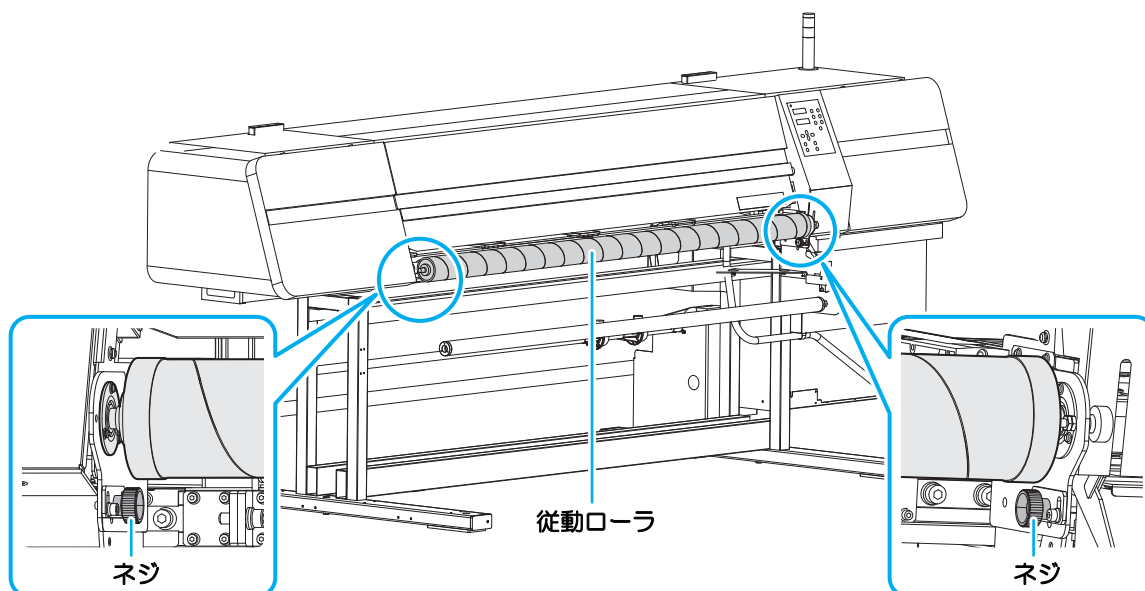
### 4 メディアを検出する

- ・P.2-30 「メディア検出方法(スパーサ使用時)」を参照してメディアを検出してください。

## 従動ローラの位置を変更する

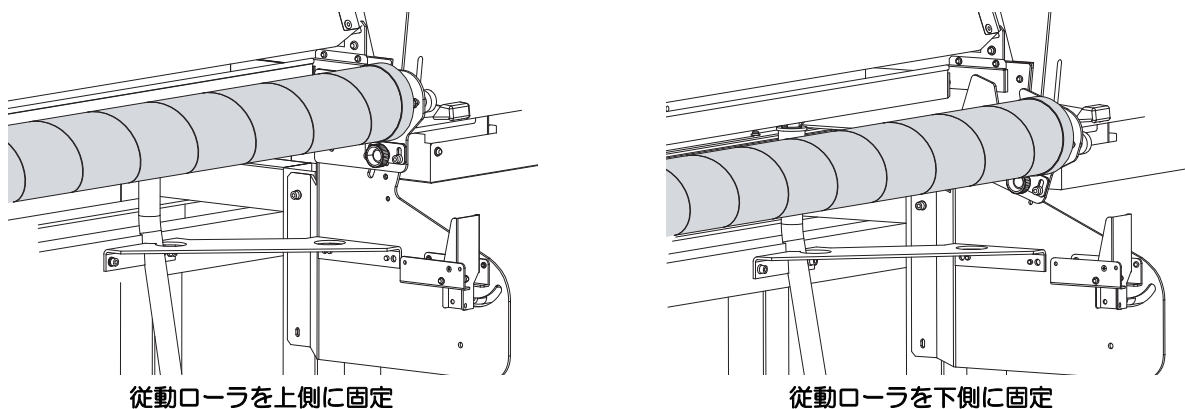
従動ローラは、セットするメディアによって固定位置が変わります。  
布メディアを使うときは上側に、転写紙をセットするときは下側に固定します。  
従動ローラの位置を変更するときは、次のようにしてください。

### 1 従動ローラ左右のネジを外す



### 2 使用するメディアに合わせてローラの固定位置を決定する

- ・手順1で外したネジを使い固定します。



## 布巻きローラを取り付ける

目の粗い布などにプリントしたとき、布の裏側に残ったインクが従動ローラに付着し、布メディアを汚してしまう場合があります。

布巻きローラを取り付けておけば、従動ローラに付着したインクを取り除いて布メディアの汚れを防ぐことができます。

**重要!**

- 出荷時には布巻きローラに布は巻かれていません。以下のサイズの吸水性の良い布をご用意ください。

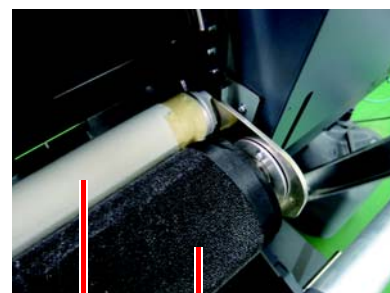
素材 : 綿天竺、綿ブロードなど

サイズ : 195cm x 70cm

**1**

### 布巻きローラを取り外す

- 布巻きローラは従動ローラの奥にあります。

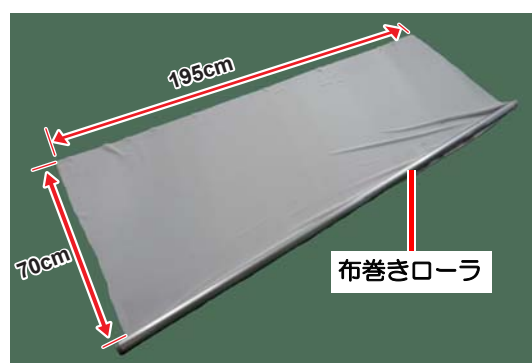


従動ローラ  
布巻きローラ

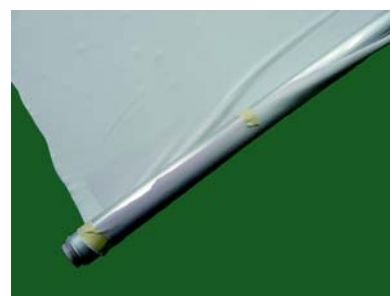
**2**

### 布巻きローラに布を巻き付ける

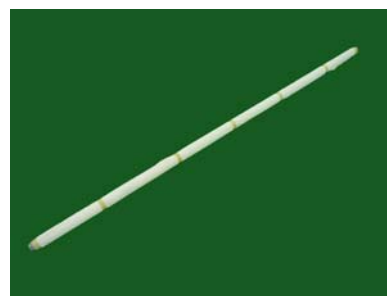
- (1) 右図のように、布とローラを合わせる



- (2) 布とローラを粘着テープで固定する



- (3) 布をローラに巻き付け、粘着テープで固定する

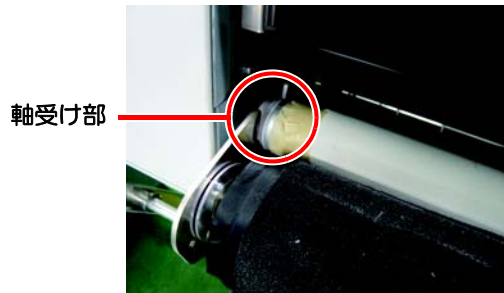


布を巻いた状態

## 3

## 布を巻いた布巻きローラを取り付ける

- 従動ローラの後ろにある溝に布巻きローラを取り付けます。
- 布巻きローラ両端の軸受け部を溝にはめ込んでください。



軸受け部

本体左側



軸受け部

本体右側

## 4

## 従動ローラを手で回転させ、スムーズに回転することを確認する

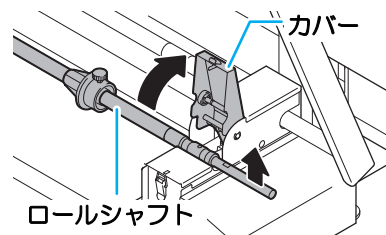
- 従動ローラがスムーズに回転しないときは、布巻きローラの取付位置を確認してください。

## 2

## 巻取ユニットの準備をする

1

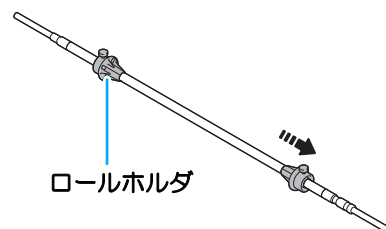
巻取ユニットのカバーを開け、ロールシャフトを取り出す



2

ロールホルダを取り外す

- ロールホルダは、ロールシャフトの左右に付いています。どちらか一方のロールホルダを取り外してください。
- 紙管サポート（オプション品）がある場合は、手順 3 に進んでください。ない場合は、手順 8 に進んでください。
- 紙管サポートをご使用にならない場合、強度のある紙管（紙管の厚みが 3mm 以上）をお使いください。



3

付属の六角レンチを使い紙管サポートを緩める

- 紙管サポートはロールシャフト上に固定してあります。



4

紙管サポートを、セットするロール幅のほぼ中央にずらす



5

紙管サポートの右図の部分固定する



6

ロールシャフトに付属の空紙管を通す





7

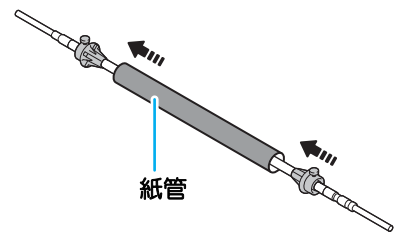
紙管サポートの約3分の2が紙管に入ったところで、下図のように紙管サポートの板が紙管内壁に当たるようにふくらませ、付属の六角レンチで固定する



- 紙管サポートの調節ネジで調整できます。

8

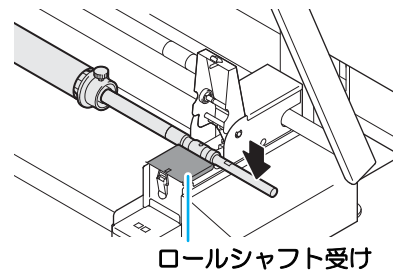
紙管をロールホルダが突き当たる位置まで通し、もう一方のロールホルダで仮固定する



9

紙管を通したロールシャフトをロールシャフト受けに乗せる

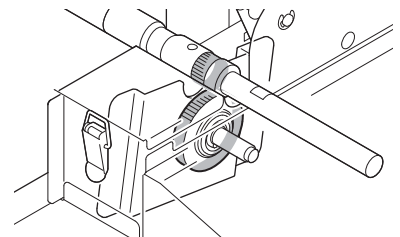
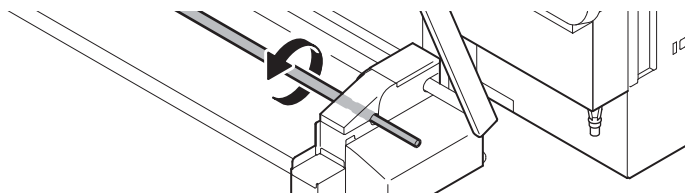
- ギアがある方向が右脚側になるように乗せます。



10

ギアの歯がかみ合うようにカバーを閉める

- ギアがかみ合っていないと、カバーが閉まりません。カバーが閉まらないときは、下図のようにしてギアをかみ合わせてください。



11

ロックする

- 必ずロックしてください。

12

紙管の左右位置を必要に応じてずらし、ロールホルダを固定する

- 布を巻き取る際に適当な位置に調節します。
- ロールホルダで紙管を固定するときは、緩みがないように確実に固定してください。紙管の固定が緩いと、正常な巻き取りが行えない場合があります。
- 続けて、繰出ユニットにロールメディアをセットします。次ページへ進んでください。

2

基本的な使い方

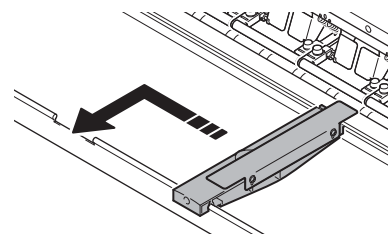
## 布押さえの調節方法

布の厚みに合わせて、ステンレス板の高さを調節してください。

1

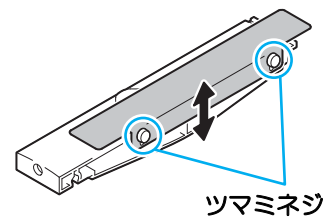
### 布押さえを取り外す

- 布押さえをプラテン中央の凹部までスライドさせ、取り外します。



2

### ツマミネジを緩め、布の厚みにあわせてステンレス板の高さを調節する

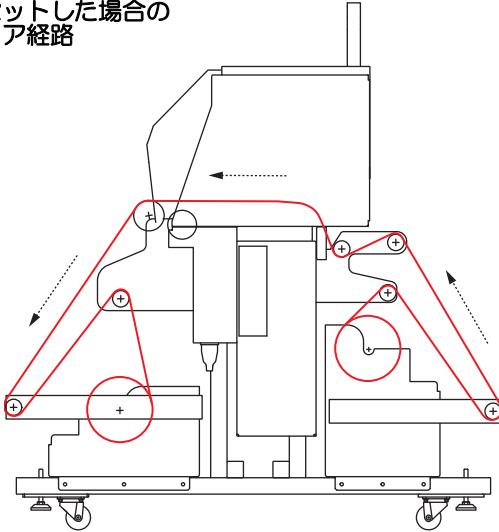


- 重要!** • 厚手の布を布押さえで押さえる場合、ヘッドの高さも布の厚さに応じて高くセットしてください。ヘッド高さが低いままになっていると、ヘッドの破損の原因になります。

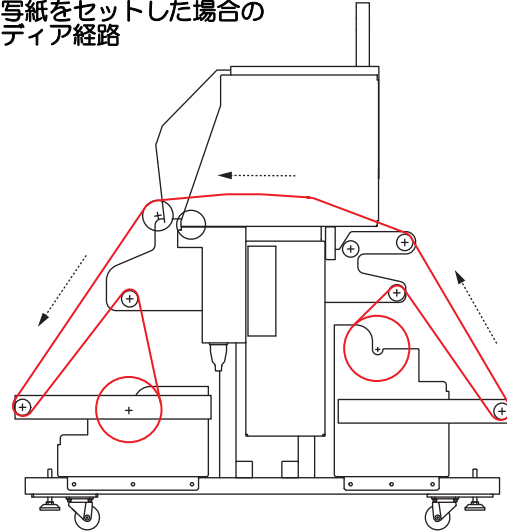
## ロールメディアをセットする

本機に布メディアをセットするときの経路は下図のようになります。メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。

布をセットした場合の  
メディア経路



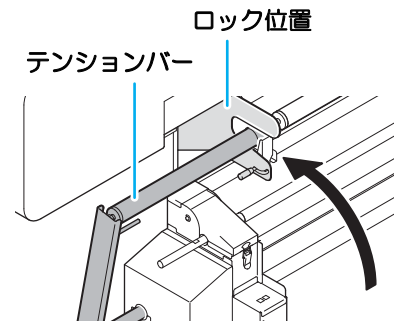
転写紙をセットした場合の  
メディア経路



### 1 繰出ユニットに、ロールメディアを取り付ける

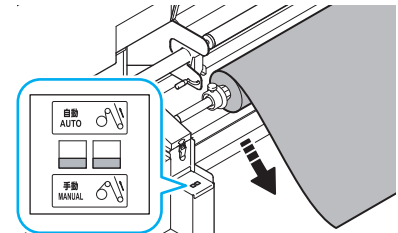
- ・P.2-14「巻取ユニットの準備をする」を参考にして取り付けてください。
- ・ロールメディアは、センター基準で取り付けてください。

### 2 本機の前面と背面にあるテンションバーを持ち上げ、ロック位置で固定する



### 3 繰出装置のスイッチを使い、布を約 3m 繰り出す

- (1) 繰出装置の「ROTATION」をメディアを繰り出す方向に合わせる
  - ・表面に印刷する場合：スイッチを上側にする
  - ・裏面に印刷する場合：スイッチを下側にする
- (2) 「MANUAL」にして、布を約 3m 繰り出す

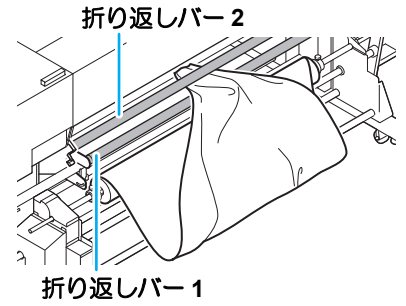


- ・3秒経過すると自動的に回転が止まります。
- ・3秒経過する前に回転を止めたい場合は、スイッチを「AUTO」に切り替えてください。
- ・手順2で繰出テンションバーをロックしていない場合は、3秒経過しても自動的に回転は止まりません。回転を止めたいときは、スイッチを「AUTO」に切り替えてください。
- ・自動的に回転が止まった場合、さらにメディアを繰り出すには、スイッチをAUTO → MANUALに切り替えてください。

4

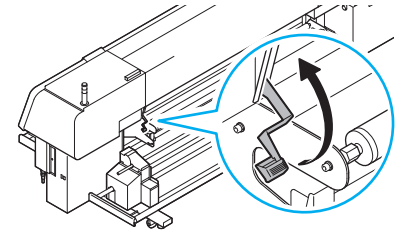
折り返しバー1の外側から折り返しバー2の下に布を通す

**重要!** ・ 転写紙を使用する場合は、折り返しバー2の下に転写紙を通さないでください。



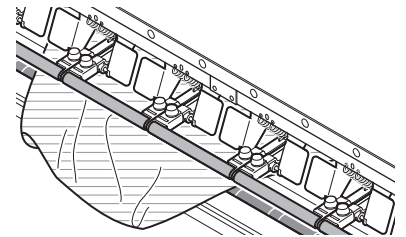
5

クランプレバーを上げる



6

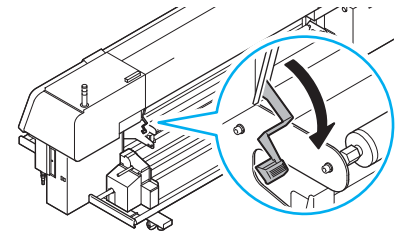
駆動ローラーとピンチローラーの間に、布の先端を差し込む



7

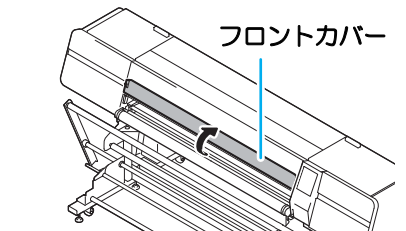
装置背面のクランプレバーを引き下げる

・ 布が保持されます。



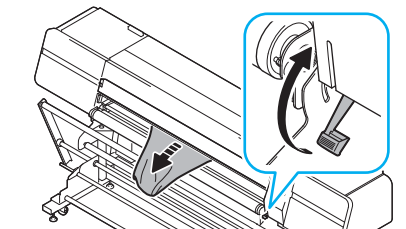
8

装置前面に回り、フロントカバーを開ける

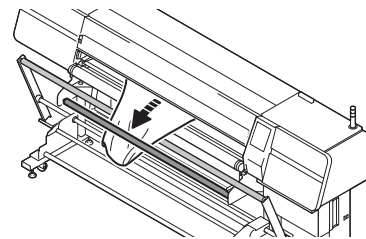


9

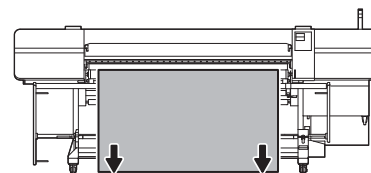
布の先端を手で押さえながらクランプレバーを上げ、布を引き出す



**10** 折り返しバーの内側に布を通す

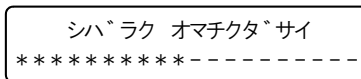


**11** 布の先端が床に着く程度まで引き出し、シワなどを取る



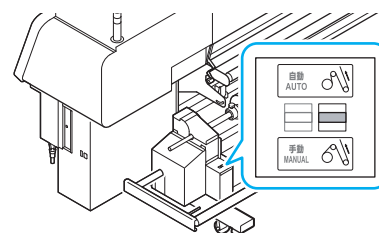
**12** クランプレバーを下げる  
・布が保持されます。

**13** フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す



**14** 装置背面の繰出装置のスイッチを操作して、繰出テンションバーが床に対してほぼ水平になるように調整する

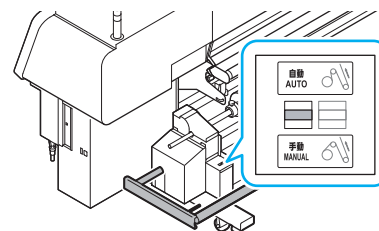
(1) 繰出装置の「ROTATION」が布を繰り出す方向になっていることを確認する



(2) 繰出テンションバーのロックを外し、ゆっくり下ろす



(3) スイッチを「MANUAL」に切り替え、繰出テンションバーが水平になるまで繰り返す



(4) スイッチを「AUTO」に切り替え回転を止める

**15**

布の先端が巻取ユニットにセットした紙管の位置とほぼ同じ高さになるまで巻き戻す

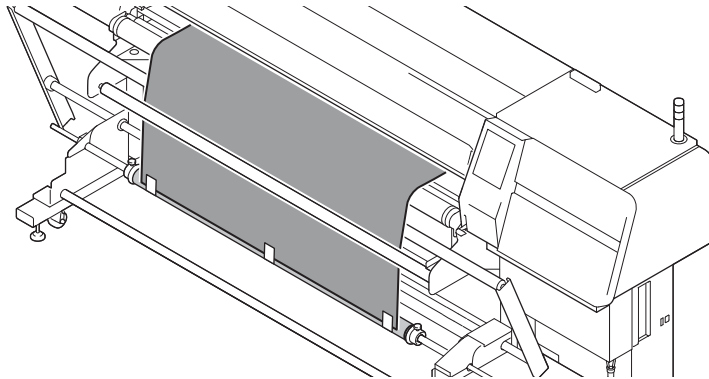
- (1) **FEED COMP.** キーを押して右の画面を表示させる
- (2) **▲** を押してメディアを紙管の位置とほぼ同じ高さになるまで、布を巻き戻す

メディア セット  
クリタシ モータ [^]/[v]

**16**

布の先端を巻取ユニットに付いている空紙管に粘着テープなどで固定する

- 布の左右端、中央の張りが均等になるように固定します。次のようにすると布の張りがほぼ均等になります。



- (1) まず、中央を固定する
  - 最初に布の中央を固定するときは、巻取方向と逆の方向に紙管を回すようにした状態でテープ止めしてください。これを行うことにより、最初にテープ固定したときの布のアソビが無くなり、手順(2)で布を固定したときに布の張りが均一になるように固定できます。
- (2) 布の左右端をそれぞれやや外側に引っ張りながら固定する
  - 幅の広いメディアをセットする場合は、メディアの5箇所以上をテープなどで固定してください。固定箇所が多いほどメディアの張りが均等になります。
  - セットした布と紙管の位置がズれている場合は、ロールホルダのネジを緩め、紙管が適切な位置になるよう調整してください。
  - 繰出側のロールが見えるところまで目線を下げ、布の右端・左端が繰出側ロールの左右端位置とずれていないかチェックしてください。

**17**

布をたるませる

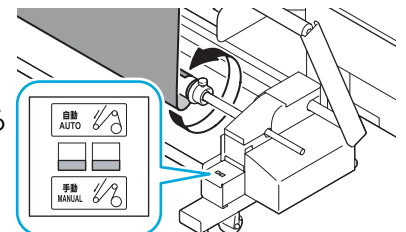
- 右の画面で **▼** を押して、布が床につくくらいまでたるませます。

メディア セット  
クリタシ モータ [^]/[v]


**18**

装置前面の巻取装置のスイッチを使い、紙管に布を1周以上巻き付ける

- (1) 巻取装置の「ROTATION」を布を巻き取る方向に合わせる
  - 印字面を表にする場合：スイッチを下側にする
  - 印字面を裏にする場合：スイッチを上側にする
- (2) スイッチを「MANUAL」に切り替え、布を1周以上巻き取る



## 19 巻取テンションバーのロックを外し、テンションバーが床に対してほぼ水平になるように調整する

- 右の画面で  を押して、テンションバーが水平になる位置までメディアを繰り出す。

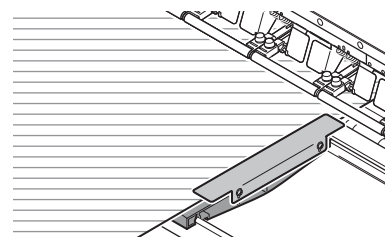
メディア セット  
クリタシ モータ [^]/[v]

## 20 巻取装置と繰出装置のスイッチを確認する

- 「ROTATION」は巻取方向 / 繰出方向と合っているかを確認してください。
- 巻取装置 / 繰出装置共に「AUTO」にセットされているかを確認してください。

## 21 布押さえで布を軽くはさむ

- 重要!** 布押さえは必ず使用してください。布押さえを使用することにより、次のような効果があります。
- 使用する布が、カール、反り返り、毛羽立ち等で、布端が浮いてくることを防ぐ
  - プリント中の裏抜けインクミストを防ぐ
- メディア幅いっぱいにプリントする場合も、布押さえはメディアに隣接した状態で使用してください。



## 22 **FEED COMP.** キーを押して、メディア選択画面に戻る

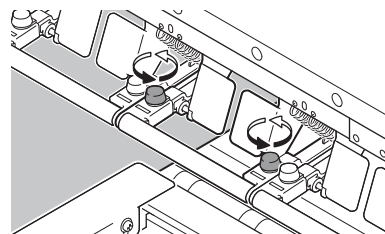
メディア セット  
ロール < > リーフ

## ピンチローラーを外して、布のシワ発生を押さえる

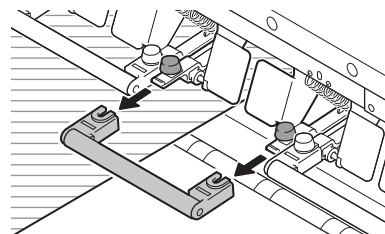
使用する布の左右端が布中央部に比べて伸びている場合や、布端ほつれ防止用のガミング処理で厚みが厚くなっている場合は、シワが発生しやすくなっています。  
この場合、布左右端部のピンチローラーを外してご使用ください。

**1** クランプレバーを上げる

**2** 外したいピンチローラーの左右のツマミネジを緩める

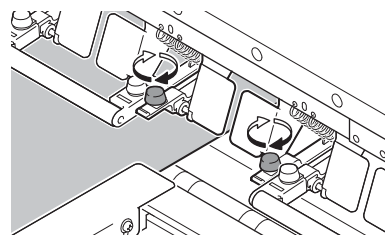


**3** ピンチローラーを手前に引き抜く



**4** ツマミネジを軽く締める

- ツマミネジの脱落防止・紛失防止のため、ツマミネジを軽く締めおいてください。



**5** クランプレバーを下げる

- 重要!** ・ 本装置左右端のピンチローラーを外した場合、外した位置に出ている布の左右の長さが極端に異なる場合は、再度メディアをセットしてください。(P.2-17)



## テンションバーのウェイト調整

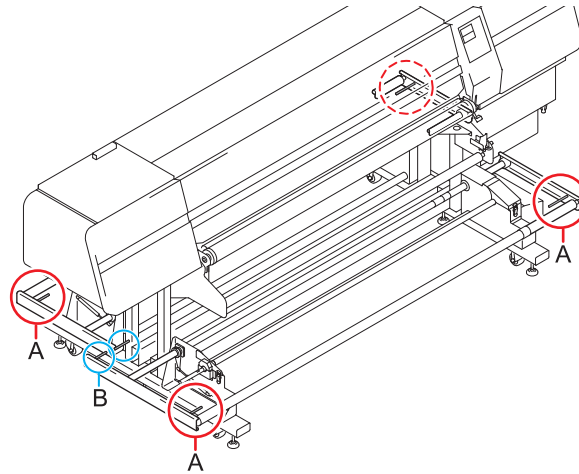
メディアには、天然素材、合成繊維など素材の違うものから、織物、編物など製造方法の違うものなど、様々な種類があります。また、同じメディアでも前処理行程の違いなどから、伸縮性の特性が変化します。このような様々なメディアを、そのメディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、テンションバーウェイトを調整する必要があります。

### ● カウンターウェイトの取り付け場所について

巻取 / 繰出テンションバーはそれぞれ 3000g の重さがあります。お使いになるメディアに合わせてテンションバーの重さを調節するために、カウンターウェイトを取り付ける必要があります。



- テンションバーの重さを 3000g より重くしたい場合は、下図 A の部分に重くしたい重量のカウンターウェイトを差し込みます。(片側最大 10 枚、左右合わせると最大 20 枚までセットできます。)
- テンションバーの重さを 3000g より軽くしたい場合は、下図 B の部分に軽くしたい重量の 2 倍のカウンターウェイトを差し込みます。(最大 18 枚までセットできます。)
- 巻取テンションバーの左右 / 繰出テンションバーの左右 4 箇所に取り付けるカウンターウェイトの枚数は、全て同じ枚数にしてください。



### ● ウェイト調整の目安

メディアに合った適正なテンションが掛かっているかを以下の現象を参考にして確認してください。適正なテンションが掛かっていない場合には、カウンターウェイトの枚数を調整する必要があります。

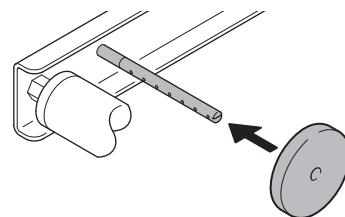
現象			対応
セット時のメディア表面	プリント時	プリント結果	
プリント面がピンと張った状態になっている。	安定したプリントを行う。	メディアの弛みやシワがほとんど見られない。	メディアに対して適正なテンションになっています。カウンターウェイトの調整は必要ありません。
メディアの表面に弛みが発生し、プリント面が下がっている。	プリント時にメディアがバタつく。	プリント面が下がっているため、適正なヘッド高さでプリントできず、プリント品質が低下する。	上図の A 部にカウンターウェイトを追加して、テンションバーのウェイトを重くしてください。
メディアを引っ張りすぎているため、ピンチローラーとピンチローラーの間など、部分的にシワが発生している。	テンションバーがたわみ、メディアにシワが入ったり、斜行する。	メディアに入ったシワとヘッドがぶつかり、メディア詰まりやヘッド破損の原因になる。	上図の A 部にセットされているカウンターウェイトの枚数を減らすか、B 部にカウンターウェイトを追加してください。

## ● カウンターウェイトの取り付け方

1

巻取 / 繰出テンションバーに付属のカウンターウェイトを差し込む

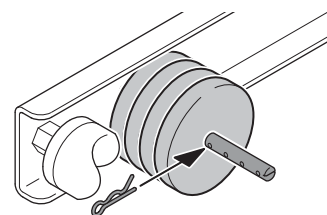
- 各テンションバーは約 3000g です。また、カウンターウェイトは 1 個約 200g です。必要な個数を取り付けてください。
- 織りの粗い布・引っ張ると伸びやすい布は、テンションバーを軽めに、織りの細かい布・コシのある布は、テンションバーを重めにします。



2

付属のクリップを取り付ける

- 取り付けたウェイトが落ちないように、必ずクリップを取り付けてください。



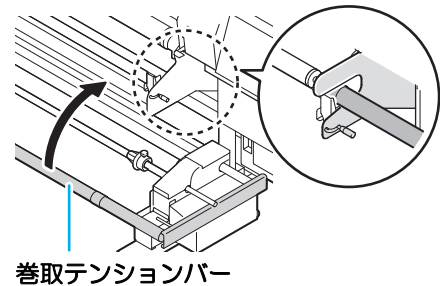
**重要!**

- テンションバーのウェイトは、最大約 6700g、最小約 1500g まで調節できます。
- ウェイト調整後は、テストプリントを行い、メディアに合った適正なテンションに調整して本装置を使用してください。

## ロールメディアを途中でカットしたときの再セット手順

本機に布のロールメディアをセットしているとき、プリントするデータを変更するなどの理由で途中でメディアをカットしたときは、次の手順に従って再セットしてください。

- 1** 本機の前面にある巻取テンションバーを退避位置で固定する



- 2** 巻取ユニットに空の紙管をセットする (☞ P.2-14)

- 3** **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

- 4** **▲** **▼** を押して、[メディアセット] を選ぶ

FUNCTION  
メデ`イア セット <ENT>

- 5** **ENTER** キーを2回押す  
・メディア未検出の状態になります。

メデ`イア セット  
メデ`イア : リセット

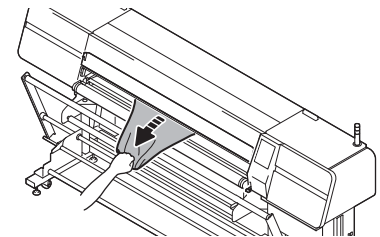
メデ`イア セット  
ロール < > リーフ

- 6** **FEED COMP.** キーを押す  
・メディアセット補助画面を表示します。

メデ`イア セット  
クリタ`シ モータ [^]/[v]

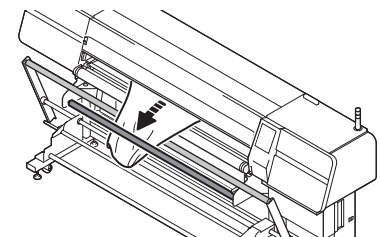
- 7** **▼** を押して、布の先端がを紙管の位置とほぼ同じ高さになるまで繰り出す

- 布を手で引っ張りながら送り出してください。布を引っ張らずに送り出すと、手前にテンションが掛かっていないため、グリッドローラに布を巻き込む恐れがあります。



- 8** 折り返しバーの内側に布を通す

- 本機に貼り付けているラベルを確認して、メディアを通してください。



**9**

▲▼ を押して、布の先端が巻取ユニットにセットした紙管の位置とほぼ同じ高さになるように調整する

**10**

「ロールメディアをセットする」の手順 16 からの作業をする (P.2-20)

## Rc210 インク使用時に間紙ロールをセットする

Rc210 インクをご使用になるときは、メディアを巻き取ったときの裏移り防止のため、間紙ロールをセットしてください。

**重要!**

- ・間紙ロールは、外径が 160mm 以下のものをお使いください。
- ・プリント時、間紙には負荷がかかります。破れやすい間紙はご使用にならないでください。

**1**

### 間紙ロールセット用の連結シャフトを取り外す

- ・ロールシャフトの手前にある連結シャフトを取り外します。
- ・連結シャフトの取り付け / 取り外しは必ず 2 人以上で行ってください。連結シャフトを落とすと、重みでケガをする恐れがあります。

**2**

### 間紙ロールに連結シャフトを通す

**3**

### 間紙ロールをセットした連結シャフトを軸ホルダに取り付ける

- ・間紙ロールはセンター基準で取り付けてください。

**4**

P.2-17 「ロールメディアをセットする」手順 16 までの作業をして、メディアを紙管に固定する

## 5 間紙を引き出し、間紙の先端をメディアをテープ固定した紙管に固定する

- ・粘着テープなどを使って間紙を固定します。



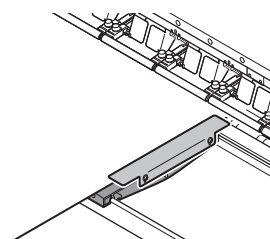
## 6 P.2-17「ロールメディアをセットする」手順 17 以降の作業をして、メディアと間紙を紙管に巻き付ける

## リーフメディアをセットする

テストプリントや設定リストをプリントするときにリーフメディアをセットします。

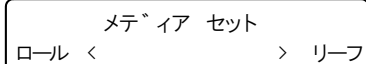
### 1 リーフメディアをセットする

- ・リーフメディアは、メディアセンサーが隠れるようにセットしてください。(☞ P.1-9)
- ・プリント時にメディアが浮いたりシワが発生しないように、リーフメディアの前端にウェイトを取り付けてください。プリント時にメディアの浮きやシワが発生すると、ヘッド破損の原因となります。



### 2 ヘッド高さを調整する (☞ P.2-28)

### 3 メディア選択画面に戻る



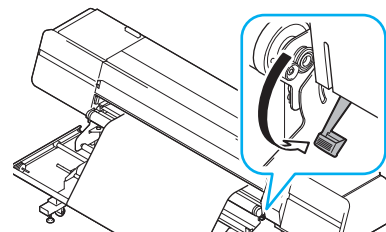
- 重要!** ・リーフメディアは、腰のあるメディア以外は使用しないでください。リーフメディア使用時は巻取装置が無効となるため、腰のないメディアをセットするとプリント面が平らにならず、メディア詰まりの原因となります。

## ヘッド高さを調整する

お使いになる布の厚みに合わせて、ヘッド高さを調節してください。

- 重要!**
- お使いになる布の厚みに対してヘッドが適正な高さに設定されていないと、プリント品質の低下やヘッド破損の原因となります。ヘッドの高さ調整は布を交換する毎に行ってください。
  - ヘッドの高さをプラテン面から 1.3mm(最小値)にした場合は、以下の点に注意してください。
    - (1) 布押さえは、外してください。ヘッドと布押さえがぶつかり、本装置を破損するおそれがあります。
    - (2) シワや表面に凹凸のない布を使用してください。布とヘッドがこすれたり、布がヘッドに引っかかったまま押されて一カ所で詰まるジャムの原因になります。
    - (3) ヘッド高さを 3mm にして使用してください。
  - ヘッド高さ調整をした後は、必ずドット位置補正をしてください。(P.4-26)

**1** 布をセットし、クランプレバーを下げる



**2** **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

**3** **▲** **▼** を押して、[メンテナンス] を選ぶ

FUNCTION  
メンテナンス <ENT>

**4** **ENTER** キーを押す

メンテナンス  
ステーション <ENT>

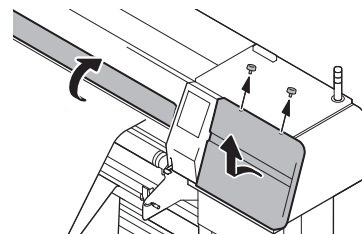
**5** **▲** **▼** を押して、[タカサチョウセイ] を選ぶ

メンテナンス  
タカサ チョウセイ <ENT>

**6** **ENTER** キーを 2 回押す

• キャリッジが移動します。

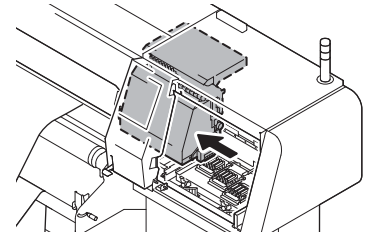
**7** フロントカバーとメンテナンスカバー R を開ける



## 8

## キャリッジを移動する

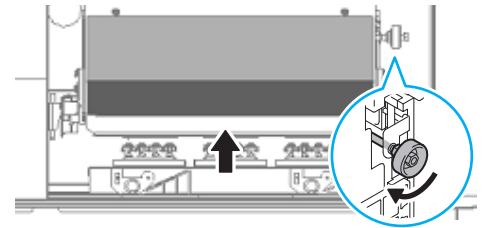
- ヘッド高さ調整棒がメディアの位置に来るまで、キャリッジを手で移動させます。
- キャリッジがスペーサや布押さえに当たる場合は、手順 9 を参照してヘッドの高さを上げてください。



## 9

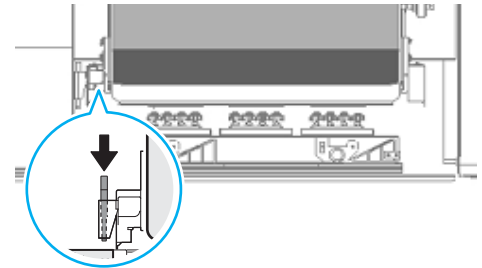
## ヘッドの高さを調整する

- (1) 高さ調整ネジを時計回りにまわし、ヘッドを上げる



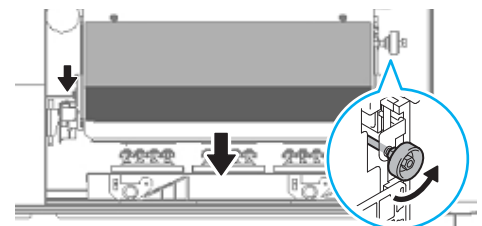
- (2) ヘッド高さ調整棒を、上から押ししても動かない位置まで押し込む

- 高さ調整棒の先端が布表面に付いてしまう場合は、ヘッドの高さを上げてください。



- (3) ヘッド高さ調整棒を押ししたまま高さ調整ネジを反時計回りにまわし、ヘッドを下げる

- 棒の先端部分が使用する布の表面に触れる高さまでヘッドを下げます。
- この状態に調整することにより、ヘッド高さは約 3mm に設定されます。



## 10

フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

シバラク オマチクタサイ  
\*\*\*\*\*-----



- ヘッド高さ調整は、高さ調整棒の先端が布の表面に触れる高さに調整すると、ヘッドと布印字面の距離が最適になります。
- ヘッドの高さを上げて、高さ調整棒の先端を布表面に触れる高さで調整した場合は、布印字面とヘッドの距離は変わりません。
- 布表面の毛羽立ちや布端エッジ部分のソリ、またはプリント中の布凹凸をさけたい場合は、ヘッドと布印字面の距離を広げて使用できます。
- 布の左右端がカミング処理（布端ほつれ防止処理）やテナ跡で厚くなっている場合は、左右端の厚みに合わせてヘッド高さを調整してください。
- ヘッドと布印字面の距離を広げた場合、印字品質は低下します。

## 重要!

- ヘッド高さは 3mm 以下にしてお使いになることをおすすめします。3mm 以上にして使用した場合、プリント画像のボヤケやプリント経過での色味の変化・インクミストによるノズル抜けなどが起こる可能性があります。
- ヘッド高さを 3mm 以上で使用したことによるプリント品質について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## メディアを検出する

メディア検出は、プリントできるエリアを設定するための機能です。

- 重要!** ・マシン設定の「スパーサ」の設定値によってメディア検出方法が変わります。マシン設定の「スパーサ」の設定を“ON”にしている場合は、P.2-30「メディア検出方法 (スパーサ使用時)」を参照してメディアを検出してください。

### メディア検出方法 (スパーサを使用していない時)



1

メディア選択画面で   を押し、ロール/リーフを選択する

メディア セット  
ロール < > リーフ




- ・“リーフ”を選択した場合は、手順4へ進みます。

2

メディア経路を確認( P.2-17)し、 キーを押す

メディア パス  
カクニン :ent

3

  を押してメディア残量を入力し、 キーを押す

メディア セット  
サンリヨウ = 110m

- ・設定したメディア残量は、P.3-41「装置の状態を確認する」で確認できます。

4

メディア幅の自動検出を開始する

- ・布押さえの位置を自動検出し、プリントエリアを設定します。検出動作が終了するまで、しばらくお待ちください。

メディア ケンシュツ チュウ  
シハラク オマチクダサイ

メディア  
X=\*\*\*\* Y=\*\*\*\*

<ローカル.1> [#01]

### メディア検出方法 (スパーサ使用時)

スパーサを使用している場合 (マシン設定の「スパーサ」が“ON”になっている) は、次の方法でメディア検出を行ってください。



1

メディア選択画面で   を押し、ロール/リーフを選択する

メディア セット  
ロール < > リーフ




- ・“リーフ”を選択した場合は、手順5へ進みます。

2

メディア経路を確認( P.2-17)し、 キーを押す

メディア パス  
カクニン :ent

3

  を押してメディア残量を入力し、 キーを押す

メディア セット  
サンリヨウ = 110m

- ・設定したメディア残量は、P.3-41「装置の状態を確認する」で確認できます。



## 4

## 繰出ユニット / 巻取ユニットが準備動作を始める

- 繰出ユニットと巻取ユニットがプリントのための準備動作を始めます。終了するまでしばらくお待ちください。

## 5

## プリントエリアの幅を入力する

- Y方向のプリントエリアを設定します。
- プリント幅が予め分かっている場合
- (1) を押して数値を入力する
- (2) キーを押す

- キャリッジが移動します。

**重要!**

- でプリント幅を入力した場合、手順6で設定する原点位置によってはメディア外に印刷をすることがあるのでお気をつけください。

プリント エリア	
1860	mm

## プリント幅が分からない場合は

- (1) を押して“MANUAL”を選択する
- (2) キーを押す

- キャリッジが移動します。

プリント エリア	
MANUAL	

## 6

## プリント原点を決定する

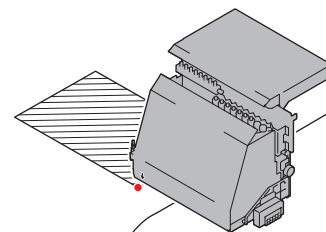
- (1) を押してプリント開始位置(原点)までキャリッジを移動する
- キャリッジに付いている矢印マークを設定したい位置に合わせてください。

**重要!**

- オーバープリントを行う場合、メディアの右端から20mm以下となる位置に原点を合わせてください。オーバープリントの幅が大きいとインクミスト発生の原因となります。

- (2) キーを押す

- 手順5で“MANUAL”に設定した場合は、手順7へ進みます。
- 手順5でプリント幅を数値入力した場合は、入力した数値に合わせて自動的にプリントエリアの左端が設定され、ローカルに戻ります。手順7の操作をする必要はありません。



## 7

## プリントエリア幅を決定する

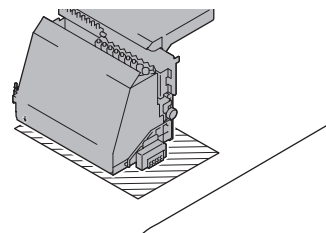
- (1) を押してプリントエリアの左端にキャリッジを移動する
- キャリッジに付いている矢印マークを設定したい位置に合わせてください。

**重要!**

- オーバープリントを行う場合、メディアの右端から20mm以下となる位置に原点を合わせてください。オーバープリントの幅が大きいとインクミスト発生の原因となります。

- (2) キーを押す

- キャッピング動作のあと、ローカルに戻ります。



- プリントエリアの設定を間違えた場合は、次の操作をしたあと手順1から検出し直してください。

- キーを押す
- を押して、[メディアセット]を選ぶ
- キーを押す
- を押して、“リセット”を選ぶ
- キーを押す

## 2

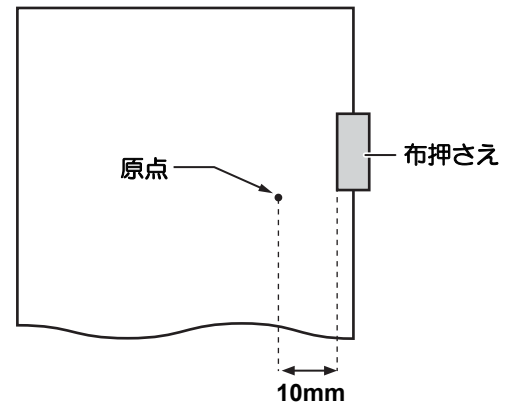
## 基本的な使い方

## 原点を変更する場合は

メディアを自動検出した場合、プリントするときの始点（原点）は右図の位置に設定されています。プリントする状況に合わせて、原点を変更することができます。



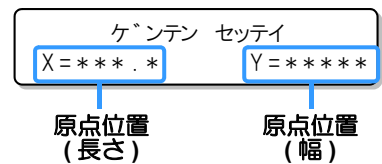
- プリントエリアの幅をパネルから入力した場合、原点は「メディア検出方法（スパーサ使用時）」（☞ P.2-30）手順 6 で設定した場所になります。



# 1

ローカルで、**▲** **▼** **◀** **▶** を押して、原点を変更したい位置へ合わせる

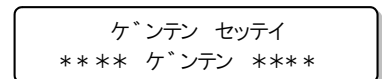
- **▲** **▼** **◀** **▶** でキャリッジとメディアを移動させて選びます。



# 2

原点を決定したら、**ENTER** キーを押す

- 原点が変更されます。



# テストプリントをする

テストプリントを行い、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

## テストプリントを行う

- 重要!**
- ・リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。
  - ・ロールメディアを使用する場合、メディアにたわみがないか確認してください。

テストプリントの前に 確認してください	・メディアをセットしているか (P.2-6)	・原点位置をセットしているか
	・ヘッドギャップを調整しているか (P.2-28)	

1

ローカルで **TEST DRAW** キーを押す

テスト プリント  
<ENT>

2

**ENTER** キーを押す

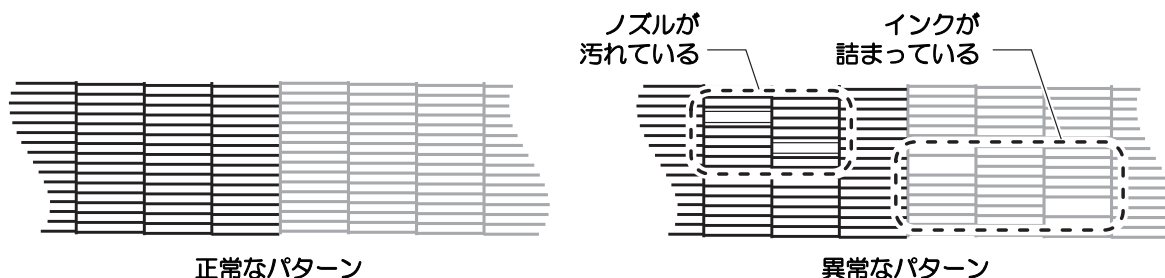
- ・テストプリントを開始します。
- ・プリントが終わると、ローカルに戻ります。

\*\* テスト プリント \*\*  
\*\* プリント チュウ \*\*  
  
<ローカル. 1> [###]  
ハハ \*\*\*\*mm

3

テストプリントの結果を確認する

- ・正常な場合は、操作を終了します。
- ・異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。(P.2-34)



2

基本的な使い方

## ヘッドクリーニングを実行する

ヘッドクリーニングには、3種類あります。テストプリントの結果によって使い分けてください。

- ノーマル : 抜けがある時
- ソフト : カスレがある時
- ハード : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

- 1** ローカルで **CLEANING** キーを押す

クリーニング°  
カラー : **1**2345678

---

- 2** **◀▶** を押して、クリーニングするヘッドをブロックで選ぶ

  - ヘッドは [1234] と [5678] のブロックに分かれます。

クリーニング°  
カラー : 1234**5**678

---

- 3** **▲▼** を押して、クリーニングの実行を選ぶ

  - クリーニングを実行しない場合は、ディスプレイに [---] を表示します。

クリーニング°  
カラー : 1234**■**---

---

- 4** **ENTER** キーを押す

クリーニング°  
タイプ° : **■**ーマル

---

- 5** **▲▼** を押して、クリーニングタイプを選択する

クリーニング°  
タイプ° : **▲**ート°

---

- 6** **ENTER** キーを2回押す

  - クリーニングの残り時間をディスプレイの下段に表示します。
  - クリーニングが終わると、ローカルに戻ります。

\*\* クリーニング° チュウ \*\*  
00:00:00

---

- 7** テストプリントを実行し、結果を確認する

  - テストプリントの結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



### ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合

- ワイパとインクキャップのクリーニングをする (☞ P.4-8、P.4-9)
- ヘッドノズルの洗浄をする (☞ P.4-12)
- 「ノズル詰まりが復旧しない場合 (インク充填)」を参照して画質不良を解消する (☞ P.4-28)

# データをプリントする

## プリントを開始する

**重要!**

- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアをたるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

### 1 メディアをセットする (☞ P.2-6)

### 2 ユーザタイプ (1 ~ 4) を選ぶ (☞ P.2-2)

- お使いになるメディアに合わせてユーザタイプを選びます。

<ローカル.\*> [#\*\*]  
/ \ \ ` \*\*\*mm

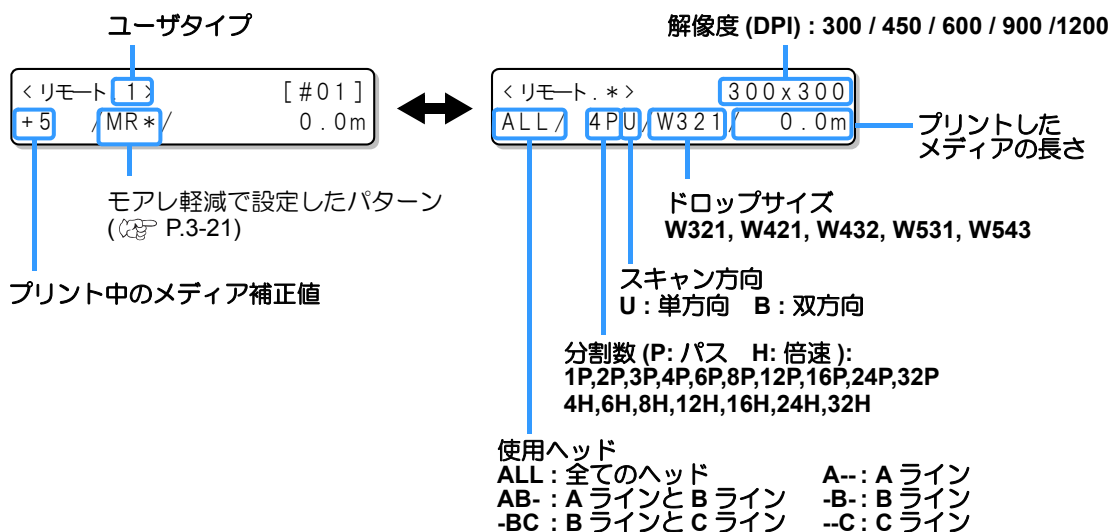
### 3 (REMOTE) キーを押す

- リモートになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

<リモート.\*> [#\*\*]  
+5 0.0m

### 4 コンピュータからプリントするデータを送信する

- プリントが始まります。
- ディスプレイに、実行中のプリント情報を表示します。(☞ P.1-21)



### 5 プリントが終了したら、(REMOTE) キーを押してローカルに戻す



- プリント中にコンピュータからのデータ送信が 30 秒以上とぎれると、右のメッセージを表示します。

<リモート.\*> [#\*\*]  
プリント データ マチ

2

基本的な使い方

## プリントを中断する

プリントを途中で中断する場合、次の操作をしてください。

1

プリント中に、**REMOTE** キーを押す

- プリント動作を中断します。
- 再度 **REMOTE** キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

<ローカル.\*> [##\*]  
/\\` : 1272mm

## 受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときはプリント動作を中断し、受信済みのデータを消去してください。

1

ローカルで、**DATA CLEAR** キーを押す

データ クリア  
<ENT>

2

**ENTER** キーを押す

- 受信データを消去し、ローカルに戻ります。

\*\* データ クリア \*\*

## プリント中に布の送り量を補正する

同じ種類の布を使ってプリントしても、糸の番手や織り方の違いによってメディア補正で設定した送り量ではきれいにプリントできない場合があります。

プリント中に画像に縞などが入る場合は、次の操作をして補正をしてください。

1

プリント中に **FEED COMP.** キーを押す

- 現在の補正値を表示します。

オクリ ホセイ 0  
ホセイ カシ : ent

2

**ENTER** キーを押す

- 補正値入力画面を表示します。

オクリ ホセイ 5  
ホセイチ = 0

3

**▲** **▼** を押して、補正値を変更する

- プリント結果を見ながら補正を行ってください。
- 4パスでプリントしている場合は4スキャン後、8パスでプリントしている場合は8スキャン後のプリント結果で判断してください。

変更前の補正値  
オクリ ホセイ 5  
ホセイチ = -2

入力値 (現在の補正値)

4

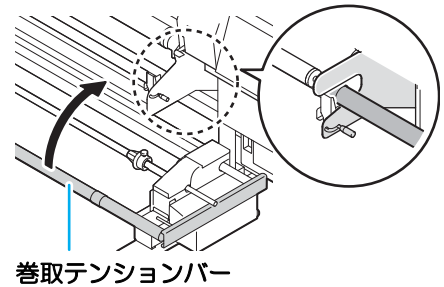
**ENTER** を2回押す

- 新しい補正値を保存します。

## メディアをカットする

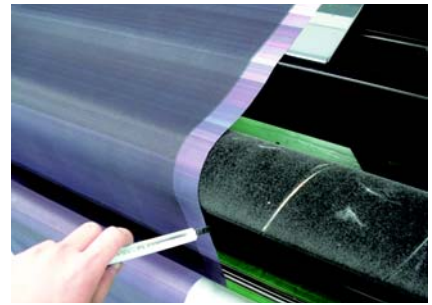
インク受けスパーサを使ってプリントしたメディアをカットしたいときは、次のようにしてください。

- 1 本機の前面にある巻取テンションバーを退避位置で固定する

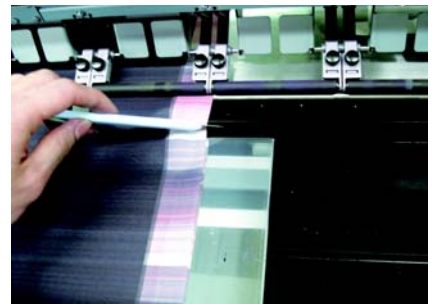


巻取テンションバー

- 2 従動ローラの下側で布をカットする



- 3 フロントカバーを開け、インク受けスパーサの奥側でメディアをカットする



- 4 インク受けスパーサ上に残った布を廃棄する

- ・インク受けスパーサ上に残った布には、スパーサの裏抜けインクが付着しています。インク受けスパーサ上に残った布は廃棄してください。

- 5 インク受けスパーサを清掃する

- ・ウェスを使って、インク受けスパーサに付着しているインクを清掃してください。
- ・汚れが落ちにくい場合は、ウェスを水で濡らし、よく絞ってから拭き取ってください。

### 重要! オーバープリントを行った場合の注意事項

- ・使用後は、必ずインク受けスパーサを清掃してください。
- ・使用後にインク受けスパーサを清掃しないまま新しいメディアをセットすると、インク受けスパーサに残ったインクが付着し、メディアを汚してしまいます。
- ・インク受けスパーサに残ったインクをそのままにしておくと、インクが凝固し、清掃しても落ちづらくなります。





# 第3章 応用機能



## この章では ...

本機をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

ユーザタイプについて.....	3-2	カラーパターンの設定をする .....	3-19
プリント条件をまとめて登録する (タイプ登録) .....	3-2	乾燥時間の設定をする .....	3-20
タイプ登録のしかた .....	3-2	プリント中にモアレ縞が発生するときは ...	3-21
メディア補正の設定をする.....	3-4	その他の設定.....	3-22
メディア送りの設定をする.....	3-6	マシン設定 .....	3-23
送り速度の設定 .....	3-6	使用するヘッドを切り替える .....	3-24
ジョグ速度の設定 .....	3-7	マシン名称を設定する .....	3-25
ソフトネスの設定 .....	3-8	スタンプの設定をする .....	3-26
プリント品質の設定をする.....	3-9	繰出装置の設定をする .....	3-27
優先順位の設定をする.....	3-11	巻取装置の設定をする .....	3-28
マージンの設定をする.....	3-12	ワーニングに関する設定をする .....	3-29
オートクリーニングの設定をする.....	3-13	スペーサの設定をする .....	3-33
プリント前クリーニングの設定 .....	3-13	ブランクデータの設定 .....	3-34
プリント中クリーニングの設定 .....	3-14	外部乾燥用ヒータの設定 .....	3-35
プリント終了後クリーニングの設定 .....	3-16	設定リストをプリントする .....	3-39
パワーオンクリーニングの設定 .....	3-18	装置情報を確認する.....	3-40
		装置の状態を確認する .....	3-41

# ユーザタイプについて

## プリント条件をまとめて登録する(タイプ登録)

本機では、タイプ(1~4)ごとにプリント条件を登録できます。  
お使いになるメディアに合わせたプリント条件をタイプに登録しておけば、違う種類のメディアに交換したとき、タイプを変更するだけで最適のプリント条件を設定できます。

### タイプ登録の例

タイプ1	ボンジ1	タイプ3	トロピカル
タイプ2	ボンジ2	タイプ4	トロマット

## タイプ登録のしかた

1

ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

2

**ENTER** キーを押す

セッテイ  
センタク :タイプ°1

3

**▲** **▼** を押してタイプ(1~4)を選び、**ENTER** キーを押す

4

設定機能一覧表の各項目を選び、設定する

・詳細な設定方法は P.3-3 「ユーザタイプ設定機能一覧表」に記載した参照ページをご覧ください。

## ユーザタイプ設定機能一覧表

ユーザタイプに登録できる各設定機能の概要と設定値について説明します。  
お買い上げ時は、下線の設定になっています。

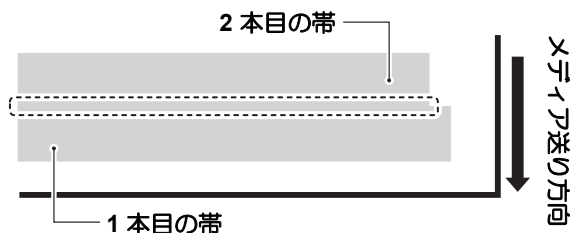
機能名称		設定値	概要
メディアホセイ (P.3-4)		-500 ~ <u>0</u> ~ 500	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
メディア オクリ (P.3-6)	オクリソクド	10 ~ <u>100%</u>	メディアを搬送する速度を遅くすることができます。
	ジョグソクド	10 ~ <u>100%</u>	ジョグキーを使ってメディアを移動するときの速度を設定します。
	ソフトネス	OFF/レベル0(補正弱) ~ レベル3(補正強)	メディア補正の設定をしても送りムラが解消されないときに設定します。
プリントヒンシツ (P.3-9)			プリント品質、プリント方向を設定します。
カサネヌリ (P.3-22)		<u>1</u> ~ 9	インクの重ね塗り回数を設定します。
ユウセンジュンイ (P.3-11)		<u>ホスト</u> /パネル	優先する設定(パネル/ホスト)を決定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>メディアホセイ</li> <li>プリントヒンシツ</li> <li>カサネヌリ</li> <li>リフレッシュ</li> <li>シヨウヘッド</li> <li>カンソウジカン</li> <li>オクリソクド</li> </ul>
マージン (P.3-12)	ミギマージン	-9 ~ <u>0</u> ~ 85mm (1mm 単位)	メディア左右の余白を設定します。
	ヒダリマージン	-9 ~ <u>0</u> ~ 85mm (1mm 単位)	
リフレッシュ (P.3-22)		レベル0(リフレッシュ間隔長い) ~ <u>1</u> ~ 3(間隔短い)	プリント中に行う、インクヘッドのリフレッシュ間隔を設定します。
ミリ/インチ (P.3-22)		<u>ミリ</u> /インチ	ディスプレイに表示する単位を選択します。
オート クリーニング (P.3-13)	プリントマエ		ON / OFF
	プリント チュウ	ON	カラー : 12345678, 1234----, ----5678 タイプ : ノーマル/ソフト/ハード/Mix カンカク: 1 ~ 250m ユウセン: クギリ/キョリ
		OFF	
	プリント シュウリョ ウゴ	ON	タイプ : ノーマル/ソフト/ハード ジカン : 1 ~ 60min
		OFF	
パワーオン		ON / OFF	電源 ON 時の自動クリーニングの設定を行います。
カラーパターン (P.3-19)	ON	スペース: 5 ~ 50mm	メディア右端にカラーパターンをプリントします。
	OFF		
カンソウジカン (P.3-20)		<u>0.0</u> ~ 10.0 sec	インクの乾燥時間を設定します。
モアレケイゲン		<u>OFF</u> , MR1 ~ MR5	プリント時にモアレ縞が出ているとき、縞の発生を軽減させるために設定します。

# メディア補正の設定をする

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。  
布の種類を交換したあと、メディアの送り量を補正してください。  
補正值が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。



- 補正パターンでは2本の帯をプリントします。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1

布をセットする (☞ P.2-6)

2

ローカルで **FEED COMP.** キーを押す

タイプ° 1  
ケンテン セッテイ :ent

3

▲ ▼ ◀ ▶ を押して、原点位置を設定する

4

**ENTER** キーを押す

タイプ° 1  
プリント :Y= 1800mm

5

手順1でセットした布の幅を入力する

6

**ENTER** キーを押して、補正パターンをプリントする

\*\* メディア ホセイ \*\*  
\*\* プリント チュウ \*\*

7

▲ ▼ を押して、見やすい位置に補正パターンを移動する

タイプ° 1  
パターン チェック [▲]/[▼]

8

**ENTER** キーを押す

- 補正值の入力画面が表示されます。

9

補正パターンを確認し、補正值を入力する

- ▲ ▼ を押して、補正值を入力します。  
" + " に入力すると：2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。  
" - " に入力すると：2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。

タイプ° 1  
ホセイチ = 0

10

**ENTER** キーを押す

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順 3～9 の操作をして補正してください。

11

終了するとき、**END** キーを数回押す

- プリント時にここで設定した値を有効にするには、P.3-11「優先順位の設定をする」でメディア補正の優先順位を“パネル”に設定してください。

### **FEED COMP.** を使わないでメディア補正をするには

**FEED COMP.** キーを押さなくても、ローカルから **FUNCTION** キーを使ってメディア補正を選ぶことができます。



# メディア送りの設定をする

## 送り速度の設定

プリント時にメディアをゆっくり搬送したいときに設定します。

- 1 ローカルで **FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2 **ENTER** キーを押す  
セッテイ  
センタク : タイフ° 1
- 3 **▲** **▼** を押して、タイプ (1~4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して、[メディアオクリ] を選ぶ  
タイプ° 1  
メディア オクリ <ENT>
- 5 **ENTER** キーを 2 回押す  
タイプ° 1  
オクリ ソクト° : 100%
- 6 **▲** **▼** を押して、搬送速度を選ぶ  
タイプ° 1  
オクリ ソクト° : 90%
  - 出荷時の搬送速度を 100%として、何%の速度でプリントするかを設定します。(出荷時の90%の速度で搬送したい場合は、“90%”を選択)
  - 送り速度 : 10%~ 100%
- 7 **ENTER** キーを押す  
タイプ° 1  
オクリ ソクト° <ENT>
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す



- プリント時にここで設定した値を有効にするには、P.3-11「優先順位の設定をする」でメディア送りの優先順位を“パネル”に設定してください。

## ジョグ速度の設定

ジョグキーを使ってメディアを移動するときの速度を設定します。

- |    |  |                            |
|----|--|----------------------------|
| 1  | ローカルで <b>FUNCTION</b> キーを押す  | FUNCTION<br>セッテイ <ENT>     |
| 2  | <b>ENTER</b> キーを押す   | セッテイ<br>センタク : タイプ° 1      |
| 3  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、タイプ (1 ~ 4) を選び、 <b>ENTER</b> キーを押す   |                            |
| 4  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[メディアオクリ] を選ぶ   | タイプ° 1<br>メディア オクリ <ENT>   |
| 5  | <b>ENTER</b> キーを押す   | タイプ° 1<br>オクリ ソクト° <ENT>   |
| 6  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[ジョグソクト] を選ぶ  | タイプ° 1<br>ジョグ° ソクト° <ENT>  |
| 7  | <b>ENTER</b> キーを押す   | タイプ° 1<br>ジョグ° ソクト° : 100% |
| 8  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、速度を選ぶ<br><ul style="list-style-type: none"> <li>出荷時のジョグ速度を 100%として、何%の速度で移動するかを設定します。(出荷時の 90%の速度で移動したい場合は、“90%”を選択)</li> <li>ジョグ速度 : 10% ~ 100%</li> </ul> | タイプ° 1<br>ジョグ° ソクト° : 90%  |
| 9  | <b>ENTER</b> キーを押す   | タイプ° 1<br>ジョグ° ソクト° <ENT>  |
| 10 | 終了するとき、 <b>END</b> キーを数回押す   |                            |

## ソフトネスの設定

メディア補正 (P.3-4) を行っても送りムラが解消できない場合は、“ソフトネス”を有効にしてください。

**重要!** ・ソフトネスの設定を有効にすると、低パス(6パス以下)でのプリントで画質が低下する場合があります。必ずプリントした画像を確認し、補正の有効/無効や補正レベルを設定してください。

- |    |  |                               |
|----|--|-------------------------------|
| 1  | ローカルで <b>FUNCTION</b> キーを押す  | FUNCTION<br>セッテイ <ENT>        |
| 2  | <b>ENTER</b> キーを押す   | セッテイ<br>センタク : <b>タイプ</b> 1   |
| 3  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、タイプ (1~4) を選び、 <b>ENTER</b> キーを押す   |                               |
| 4  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[メディアオクリ] を選ぶ   | タイプ 1<br>メディア オクリ <ENT>       |
| 5  | <b>ENTER</b> キーを押す   | タイプ 1<br>オクリ ソフト <ENT>        |
| 6  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[ソフトネス] を選ぶ   | タイプ 1<br>ソフトネス <ENT>          |
| 7  | <b>ENTER</b> キーを押す   | タイプ 1<br>ソフトネス : <b>OFF</b>   |
| 8  | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、補正レベルを選ぶ<br>レベル 0~3 : ソフトネス補正が有効になります。<br>レベル 0 は補正量が少なく、レベル 3 が最も大きくなります。<br>“レベル 0” に設定することを推奨します。<br><b>OFF</b> : ソフトネス補正を行いません。 | タイプ 1<br>ソフトネス : <b>レベル</b> 1 |
| 9  | <b>ENTER</b> キーを押す   | タイプ 1<br>ソフトネス <ENT>          |
| 10 | 終了するとき、 <b>END</b> キーを数回押す   |                               |



# プリント品質の設定をする

プリント品質の設定では、プリントに関する次の各項目の設定をします。

設定項目	概要
スキャン方向 パス数	スキャン方向とパス数をセットします。 ソウホウコウ：キャリッジの往路および復路の両方でプリントします。短時間でプリントしたいときに設定してください。 タンホウコウ：キャリッジの往路のみでプリントします。よりきれいにプリントしたいときに設定してください。
高速スキャン	高速プリントの設定をします。
ドロップサイズ	Lサイズ/Mサイズ/Sサイズそれぞれを構成するインク量を設定することにより、プリント時のインクの濃さを設定できます。

- 1** ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2** **ENTER** キーを押す

セッテイ  
センタク : タイプ 1
- 3** **▲** **▼** を押して、タイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4** **▲** **▼** を押して、[プリントヒンシツ] を選ぶ

タイプ 1  
プリント ヒンシツ <ENT>
- 5** **ENTER** キーを押す

タイプ 1  
DPI : 300x300
- 6** **▲** **▼** を押して、プリント品質を変更したい解像度を選ぶ

  - ・解像度：300x300, 300x450, 300x600, 450x450, 450x600, 600x300, 600x450, 600x600, 600x900, 900x450, 900x900, 1200x600, 1200x900, 1200x1200 (dpi)

タイプ 1  
DPI : 600x450
- 7** **ENTER** キーを押す

タイプ 1 : 600x450  
ハ°ス : ウホウコウ 3P
- 8** **▲** **▼** を押して、スキャン方向とパス数を選ぶ

  - ・スキャン方向とパス数は、手順 6 で選択した解像度によって変わります。次ページの「設定可能な要素の組み合わせ」を参照してください。

タイプ 1 : 600x450  
ハ°ス : ウホウコウ 12P
- 9** **ENTER** キーを押す

タイプ 1 : 600x450  
コウソク スキャン : FF
- 10** **▲** **▼** を押して、設定内容を選ぶ

  - ・設定内容は手順 6、8 で選択した内容によって変わります。次ページの「設定可能な要素の組み合わせ」を参照してください。

タイプ 1 : 600x450  
コウソク スキャン : N

# 11

を押して、ドロップサイズを選ぶ

タイプ 1 : 600x450  
ドロップ サイズ: L **4** M2 S1

- 設定値: L3M2S1、L4M2S1、L5M3S1、L4M3S2、L5M4S3
- 設定値は、上記の5種類の中から選択してください。 を押しても“M”や“S”の設定を個別に行うことはできません。

# 12

キーを押す

- 終了するとき、 キーを数回押します。



- プリント時にここで設定した値を有効にするには、P.3-11「優先順位の設定をする」でプリント品質の優先順位を“パネル”に設定してください。

**重要!**

- 高温環境下で、連続プリントを行うと使用しているインク、作図モードによっては、白スジ、/カスシの発生する場合があります。(昇華染料インク、反応染料インクにて、白スジ/カスシが出やすい傾向になります。) この場合は、使用 RIP での印刷モードのドロップサイズを「3,3,3」「4,4,4」「5,5,5」などのドットサイズのモードに切り替えて使用してください。作図中のヘッドメンテナンス周期を伸ばし、白スジ/カスシの発生を低減できます。

## 設定可能な要素の組み合わせ

ここでは、8色インクセットでの組み合わせを記載します。4色インクセットの場合は、パス数が半分になります。

解像度 (dpi)	ソウホウコウ		タンホウコウ			
	パス	高速スキャン	パス	高速スキャン		
300x300 dpi	2	————	2	————		
	4		4			
	8		8			
300x450*1 dpi	3	————	3	————		
	6		6			
	12		12			
300x600 dpi	4	————	4	————		
	8		8			
	16		16			
450x450*1 dpi	3	————	3	————		
	6		ON / OFF		6	ON / OFF
	12		ON / OFF		12	ON / OFF
450x600 dpi	4	————	4	————		
	8		ON / OFF		8	ON / OFF
	16		ON / OFF		16	ON / OFF
600x300 dpi	2	————	2	————		
	4		ON / OFF		4	ON / OFF
	8		ON / OFF		8	ON / OFF
600x450*1 dpi	3	————	3	————		
	6		ON / OFF		6	ON / OFF
	12		ON / OFF		12	ON / OFF

解像度 (dpi)	ソウホウコウ		タンホウコウ			
	Pass	高速スキャン	Pass	高速スキャン		
600x600 dpi	4	————	4	————		
	8		ON / OFF		8	ON / OFF
	16		ON / OFF		16	ON / OFF
600x900 dpi	6	————	6	————		
	12		ON / OFF		12	ON / OFF
	24		ON / OFF		24	ON / OFF
900x450*1 dpi	3	————	3	————		
	6		ON / OFF		6	ON / OFF
	12		ON / OFF		12	ON / OFF
900x900 dpi	6	————	6	————		
	12		ON / OFF		12	ON / OFF
	24		ON / OFF		24	ON / OFF
1200x600 dpi	4	————	4	————		
	8		ON / OFF		8	ON / OFF
	16		ON / OFF		16	ON / OFF
1200x900 dpi	6	————	6	————		
	12		ON / OFF		12	ON / OFF
	24		ON / OFF		24	ON / OFF
1200x1200 dpi	8	————	8	————		
	16		ON / OFF		16	ON / OFF
	32		ON / OFF		32	ON / OFF

\*1. 4色インクセットを使っても、パス数は変わりません。



- 上の表の   部分が実用推奨モードです。
- 解像度やパス数の設定が実用推奨モードより低くなるほど画質が低下します。
- 使用するインクやメディア、前処理等によっても画質が低下します。実際にプリントをする前にテストプリント (P.2-33) を行い、使用モードを選択してください。

# 優先順位の設定をする

プリント時に、本機での設定(パネル)を優先するか、コンピュータでの設定(ホスト)を優先するかを選びます。

	概 要
ホスト	コンピュータでの設定(ホスト)を優先します。
パネル	本機での設定(パネル)を優先します。

選択する項目：メディア補正 / プリント品質 / 重ね塗り / リフレッシュ / 使用ヘッド / 乾燥時間 / 送り速度

- 1 ローカルで **FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2 **ENTER** キーを押す  
セッテイ  
センタク : タイプ°1
- 3 **▲** **▼** を押して、タイプ (1~4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して、[ユウセンジュンイ] を選ぶ  
タイプ° 1  
ユウセン シュンイ <ENT>
- 5 **ENTER** キーを押す  
タイプ° 1  
メディア ホセイ : ホスト
- 6 **▲** **▼** を押して、“ホスト” または “パネル” を選ぶ  
タイプ° 1  
メディア ホセイ : ▲°ネル
- 7 **ENTER** キーを押す  
タイプ° 1  
プリント ヒンシツ : ホスト
- 8 手順 6、7 と同様の操作をして、他の項目も設定する
- 9 終了するとき、**END** キーを数回押す



- ホスト優先の設定で、ホストからの指定がない項目については、パネルの設定内容が有効となります。

# マージンの設定をする

プリント時のメディアの左右の余白を設定します。

設定項目	設定値	概要
ヒタリ	-9 ~ 85mm	プリント時のメディアの左側の余白を設定します。
ミギ	-9 ~ 85mm	プリント時のメディアの右側の余白を設定します。

**重要!** ・ スペーサ使用時は、マージンの設定はできなくなります。

- ローカルで **FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- ENTER** キーを押す  
セッテイ  
センタク : タイフ° 1
- ▲** **▼** を押して、タイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- ▲** **▼** を押して、[マージン] を選ぶ  
タイプ° 1  
マージン <ENT>
- ENTER** キーを 2 回押す  
タイプ° 1  
ミギ° マージン : 0mm
- ▲** **▼** で右マージンを設定し、**ENTER** キーを押す  
タイプ° 1  
ミギ° マージン : 10mm  
・設定値 : -9 ~ 85mm
- ▲** **▼** を押して、[ヒタリマージン] を選ぶ  
タイプ° 1  
ヒタリ° マージン <ENT>
- ENTER** キーを押す  
タイプ° 1  
ヒタリ° マージン : 0mm
- ▲** **▼** で左マージンを設定し、**ENTER** キーを押す  
タイプ° 1  
ヒタリ° マージン : 10mm  
・設定値 : -9 ~ 85mm
- 終了するとき、**END** キーを数回押す

# オートクリーニングの設定をする

## プリント前クリーニングの設定

プリントを始める前に、自動的にヘッドのクリーニングを実行するように設定できます。ヘッドの状態を常に良好に保つことで、安定したプリントが持続します。

設定項目	概要
ON	プリントを始める前にクリーニングを実行します。
OFF	プリント前クリーニングを実行しません。

1

ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

2

**ENTER** キーを押す

セッテイ  
センタク : タイプ° 1

3

**▲** **▼** を押して、タイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す

4

**▲** **▼** を押して、[オートクリーニング] を選ぶ

タイプ° 1  
オート クリーニング° <ENT>

5

**ENTER** キーを押す

タイプ° 1  
プ° リントマエ <ENT>

6

**ENTER** キーを押す

タイプ° 1  
プ° リントマエ : ON

7

**▲** **▼** を押して、“ON” または “OFF” を選ぶ

8

**ENTER** キーを押す

9

終了するとき、**END** キーを数回押す



- プリント前クリーニングは、リモートに切り替えて行うプリントの場合行われません。テストプリントや設定リストのプリントの前にはクリーニングを行いません。

3

応用機能

## プリント中クリーニングの設定

プリント中、自動的にヘッドのクリーニングを行うか設定します。  
 プリント中クリーニングでは、クリーニング間隔をプリントした長さで設定します。  
 設定した長さをプリントすることにプリントを中断し、自動的にヘッドのクリーニングを行います。  
 クリーニングが終了すると、プリントを再開します。

設定項目	設定値	概要
タイプ	ノーマル/ソフト/ハード/Mix	クリーニングタイプを選択します。
実行間隔	1 ~ 250m	クリーニングをするまでの間隔（プリント長）
優先	キヨリ/クギリ	お使いになっている RIP のコピー機能を使って繰り返しプリントを行う場合のクリーニング方法を設定します。



- ヘッドの破損防止のため、長時間プリントを行う場合は、必ずプリント中クリーニングを“ON”にしてお使いください。



- プリント中クリーニングをする場合、ヘッド及びワイパ周辺に付着したインクを落としてからプリントを開始してください。インクを落とさないままでクリーニングを行うと、ノズルの状態を悪化させる場合があります。
- 濡れ伸縮し易い布の場合は、クリーニング中に伸縮が進行し、プリント再開時にズレが生じ色味が変わることがあります。このような場合は設定を OFF にするか、クリーニングタイプを「ソフト」にしてください。

<b>1</b>	ローカルで <b>FUNCTION</b> キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
<b>2</b>	<b>ENTER</b> キーを押す	セッテイ センタク : <b>タイプ</b> 1
<b>3</b>	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、タイプ (1 ~ 4) を選び、 <b>ENTER</b> キーを押す	
<b>4</b>	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[オートクリーニング] を選ぶ	タイプ 1 オート クリーニング <ENT>
<b>5</b>	<b>ENTER</b> キーを押す	タイプ 1 フ°プリントマエ <ENT>
<b>6</b>	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[プリントチュウ] を選ぶ	タイプ 1 フ°プリントチュウ <ENT>
<b>7</b>	<b>ENTER</b> キーを押す	タイプ 1 フ°プリントチュウ : <b>OFF</b>
<b>8</b>	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、“ON” を選ぶ • “OFF” を選んだ場合は、手順 18 へ進んでください。	タイプ 1 フ°プリントチュウ : <b>ON</b>

- |    |  |   |
|----|--|---|
| 9  | <p><b>ENTER</b> キーを押す</p>  | <p>タイプ° 1<br/>カラー : 1 2 3 4 5 6 7 8</p> |
| 10 | <p><b>◀▶</b> を押して、クリーニングするヘッドをブロックで選ぶ<br/>                 ・ヘッドは [1234] と [5678] のブロックに分かれます。</p>  | <p>タイプ° 1<br/>カラー : 1 2 3 4 5 6 7 8</p> |
| 11 | <p><b>▲▼</b> を押して、クリーニングの実行を選ぶ<br/>                 ・クリーニングを実行しない場合は、ディスプレイに [----] を表示します。</p>  | <p>タイプ° 1<br/>カラー : 1 2 3 4 ---</p>     |
| 12 | <p><b>ENTER</b> キーを押す</p>  | <p>タイプ° 1<br/>タイプ° : 1 ノーマル</p>         |
| 13 | <p><b>▲▼</b> を押して、クリーニングタイプを選ぶ<br/>                 ・設定値：ノーマル/ソフト/ハード/Mix<br/>                 ・“Mix” を選択した場合、ヘッドの温度によりクリーニングタイプを組み合わせ実行します。</p>   | <p>タイプ° 1<br/>タイプ° : 2 ソフト</p>          |
| 14 | <p><b>ENTER</b> キーを押す</p>  | <p>タイプ° 1<br/>シ ッコウ カンカク : 1 0 m</p>    |
| 15 | <p><b>▲▼</b> を押して、クリーニングを実行するまでの間隔を選ぶ<br/>                 ・設定値：1 ~ 250m</p>   | <p>タイプ° 1<br/>シ ッコウ カンカク : 9 m</p>      |
| 16 | <p><b>ENTER</b> キーを押す</p>  |   |
| 17 | <p><b>▲▼</b> を押して、RIPのコピー機能を使ってプリントしたときのクリーニング方法を選ぶ<br/>                 ・次の2つから設定値を選んでください。<br/>                 クギリ：プリントデータとプリントデータの切れ目でクリーニングを行う<br/>                 キヨリ：手順15で設定したクリーニング間隔(プリント長)でクリーニングを行う<br/> <b>重要!</b> ・ここで行う設定は、RIPのコピー機能を使ってプリントした場合のみ有効です。通常のプリントを行った場合のクリーニング間隔は、手順15で設定したクリーニング間隔(プリント長)が適用されます。</p> | <p>タイプ° 1<br/>ユウセン : キヨリ</p>            |
| 18 | <p><b>ENTER</b> キーを押す</p>  |   |
| 19 | <p>終了するとき、<b>END</b> キーを数回押す</p>   |   |

## プリント終了後クリーニングの設定

プリント終了後に、自動的にヘッドのクリーニングを実行するように設定できます。プリント中に発生した吐出不良や、ノズル面に付着したインクやホコリをそのままにしておくと、時間の経過と共に復旧が困難になっていきます。無人運転を行うなど、プリント終了後すぐにヘッドのメンテナンスができない場合には、設定を“ON”にして、安定したプリントが行えるようにしてください。

設定項目	設定値	概要
タイプ	ノーマル/ソフト/ハード	クリーニングタイプを選択します。
時間	1 ~ 60min	プリントが終了してから自動でクリーニングを行うまでの時間を設定します。

### 重要!

- 操作パネルでファンクション機能を設定、実行している最中は、クリーニングは実行されません。ローカルモードに戻った後、1分後にクリーニングが開始されます。
- プリント終了後クリーニング実行前に、操作パネルからクリーニングを選択して実行した場合、プリント終了後クリーニングは実行されません。
- プリント終了後クリーニング実行前に新規のプリントが開始された場合、新規のプリント終了時から設定時間経過後にクリーニングが開始されます。

1

ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

2

**ENTER** キーを押す

セッテイ  
センタク : タイプ° 1

3

**▲** **▼** を押して、タイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す

4

**▲** **▼** を押して、[オートクリーニング] を選ぶ

タイプ° 1  
オート クリーニング° <ENT>

5

**ENTER** キーを押す

タイプ° 1  
プリントマエ <ENT>

6

**▲** **▼** を押して、[プリントシュウリョウゴ] を選ぶ

タイプ° 1  
プリント シュウリョウコ° <ENT>

7

**ENTER** キーを押す

タイプ° 1  
プリント シュウリョウコ° : OFF

8

**▲** **▼** を押して、“ON” を選ぶ

・“OFF” を選んだ場合は、手順 13 へ進んでください。

タイプ° 1  
プリント シュウリョウコ° : ON

9

**ENTER** キーを押す



- |    |  |   |
|----|--|---|
| 10 | <p>▲▼を押して、クリーニングタイプを選ぶ<br/>                     ・設定値：ノーマル/ソフト/ハード</p>              | <p>タイプ° 1<br/>                     タイフ° : 2ソフト</p>                |
| 11 | <p>ENTERキーを押す</p>  | <p>タイプ° 1<br/>                     シ°カン : 1min</p>                |
| 12 | <p>▲▼を押して、プリントが終了してからクリーニングを開始するまでの時間を選ぶ<br/>                     ・設定値：1～60min</p> | <p>タイプ° 1<br/>                     シ°カン : 10min</p>               |
| 13 | <p>ENTERキーを押す</p>  | <p>タイプ° 1<br/>                     プ°リント シュウリョウコ° &lt;ENT&gt;</p> |
| 14 | <p>終了するとき、ENDキーを数回押す</p>   |   |

## パワーオンクリーニングの設定

電源 ON 時に自動的にヘッドのクリーニングを行うか設定します。  
クリーニングの種類は、電源 OFF 時間により異なります。

設定値	概要
ON	電源 ON 時にヘッドクリーニングを実行します。
OFF	電源 ON 時にヘッドクリーニングを実行しません。

- 1** ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2** **ENTER** キーを押す

セッテイ  
センタク : タイフ° 1
- 3** **▲** **▼** を押して、タイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4** **▲** **▼** を押して、[オートクリーニング] を選ぶ

タイフ° 1  
オート クリーニング° <ENT>
- 5** **ENTER** キーを押す

タイフ° 1  
フ° リントマエ <ENT>
- 6** **▲** **▼** を押して、[パワーオン] を選ぶ

タイフ° 1  
ハ° ワーオン <ENT>
- 7** **ENTER** キーを押す

タイフ° 1  
ハ° ワーオン : OFF
- 8** **▲** **▼** を押して、“ON” または “OFF” を選ぶ

タイフ° 1  
ハ° ワーオン : ON
- 9** **ENTER** キーを押す
- 10** 終了するとき、**END** キーを数回押す

# カラーパターンの設定をする

プリントする画像の横にカラーパターンをプリントすることができます。

設定値		概要
ON	スペース : 5 ~ 50mm	ノズル抜けを確認するためのカラーパターンを画像の横にプリントできます。 また、画像とカラーパターンの距離を設定します。
OFF	_____	_____

- 1** ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
 セッテイ <ENT>
- 2** **ENTER** キーを押す

セッテイ  
 センタク : タイフ° 1
- 3** **▲** **▼** を押して、タイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4** **▲** **▼** を押して、[カラーパターン] を選ぶ

タイフ° 1  
 カラー ハ° ターン <ENT>
- 5** **ENTER** キーを押す

タイフ° 1  
 カラー ハ° ターン : OFF
- 6** **▲** **▼** を押して、“ON” を選ぶ  
 ・“OFF” を選んだ場合は、手順 9 へ進んでください。

タイフ° 1  
 カラー ハ° ターン : ON
- 7** **ENTER** キーを押す





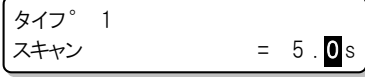
タイフ° 1  
 スペース : 8mm
- 8** **▲** **▼** を押して、画像からの距離を設定する  
 ・設定値 : 5 ~ 50mm

タイフ° 1  
 スペース : 20mm
- 9** **ENTER** キーを押す
- 10** 終了するとき、**END** キーを数回押す

# 乾燥時間の設定をする

インクの乾燥時間について、次の各項目の設定をします。

設定項目	設定値	概要
スキャン	0.0 ~ 10.0 秒	スキャン毎のインク乾燥時間を設定します。 ( 双方向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する )

- ローカルで **FUNCTION** キーを押す  

- ENTER** キーを押す  

- ▲ ▼** を押して、タイプ ( 1 ~ 4 ) を選び、**ENTER** キーを押す
- ▲ ▼** を押して、[ かんそうじかん ] を選ぶ  

- ENTER** キーを押す  

- ▲ ▼** を押して、乾燥時間を設定する  
・設定値 : 0.0 ~ 10.0 ( 秒 )  

- ENTER** キーを押す
- 終了するとき、**END** キーを数回押す

# プリント中にモアレ縞が発生するときは

プリント中の画像にモアレ縞が発生するときは、プリントを中断して次の設定をしてください。

設定値	概要
OFF	通常は設定を OFF にして使用します。
MR1 ~ MR5	プリント画像にモアレ縞が出ているときに設定します。 プリント画像を見ながら MR1 ~ MR5 までの設定を変更し、最もモアレ縞が軽減されているものを使用します。

**1** プリント中の画像にモアレ縞が発生している場合、**(REMOTE)** キーを押してプリントを中断する

**2** ローカルで **(FUNCTION)** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

**3** **(ENTER)** キーを押す

セッテイ  
センタク : タイプ 1

**4** **(▲)** **(▼)** を押して、タイプ (1 ~ 4) を選び、**(ENTER)** キーを押す

・手順 1 でプリントしていたときに使用していたユーザタイプを選択します。

**5** **(▲)** **(▼)** を押して、[モアレケイゲン] を選ぶ

タイプ 1  
モアレ ケイゲン <ENT>

**6** **(ENTER)** キーを押す

タイプ 1  
センタク : OFF

**7** **(▲)** **(▼)** を押して [MR1] を選び、**(ENTER)** キーを押す

タイプ 1  
センタク : MR1

**8** **(END)** キーを数回押して、ローカルに戻す

**9** **(REMOTE)** キーを押してプリントを再開し、モアレが軽減しているか確認する



・モアレ縞が軽減しているかの確認は、4 パスでプリントしている場合は 4 スキャン後、8 パスでプリントしている場合は 8 スキャン後のプリント結果で判断してください。

・モアレ縞が軽減している場合は、そのままプリントを継続してください。

・モアレ縞が軽減していない場合は、次のようにしてください。

(1) 再度 **(REMOTE)** キーを押してプリントを中断する

(2) 手順 2 からの操作をし、手順 7 で [MR1] 以外の値に設定する

(3) **(END)** キーを数回押してローカルに戻す

(4) **(REMOTE)** キーを押してプリントを再開し、モアレ縞を確認する



・モアレ縞の軽減が確認できるまで MR1 ~ MR5 の設定値を変更して確認してください。

**重要!**

- ・ MR1 ~ MR5 のすべての設定値で確認してもモアレ縞が残ってしまう場合があります。このときは、MR1 ~ MR5 のうち、最もモアレ縞が軽減されていた設定値を選択してください。また、解像度を変更することで、モアレ縞が軽減されることがあります。
- ・ プリントする画像によって、モアレを軽減できる設定値は異なります。ここでモアレを軽減する値に設定しても、他の画像ではモアレが発生する場合があります。

# その他の設定

使い方に合わせて設定を変えてください。

- 1 ローカルで **FUNCTION** キーを押す  

- 2 **ENTER** キーを押す  

- 3 **▲** **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** を押して設定する項目を選ぶ  
・「ユーザタイプ設定機能一覧表」を参照して選んでください。(P.3-3)
- 5 **ENTER** キーを押す
- 6 **▲** **▼** を押して設定値を選ぶ  
・「ユーザタイプ設定機能一覧表」を参照して選んでください。(P.3-3)
- 7 **ENTER** キーを押す  
・終了するとき、**END** キーを数回押します。

**重要!** ・設定した値は、電源を“OFF”にしても保持しています。

# マシン設定

本装置を快適に使用するための各種設定です。  
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

項目	設定値	内容	
シヨウヘッド	ALL, AB-, -BC A--, -B-, --C	ノズル詰まりなどのトラブルが解消しない場合、トラブルが発生していないヘッドを使用してプリントすることができます。	
マシンメイショウ	01 ~ 99	USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシンNo.) を設定します。	
スタンプセッテイ	ON / OFF	プリント終了後に、プリント日時・プリント条件をプリントする設定を行います。	
リスト		本機の設定内容や装置情報などをプリントします。	
マシンジョウホウ		P.3-40「装置情報を確認する」を参照してください。	
クリダシセッテイ	ON / OFF	本装置の繰出装置を使用するとき“ON”に設定します。	
マキトリセッテイ	ON / OFF	本装置の巻取装置を使用するとき“ON”に設定します。	
ワーニング	————	P.3-29「ワーニングに関する設定をする」を参照してください。	
スパーサ	ON / OFF	スパーサの使用 / 未使用を選択します。	
ブランクデータ	ユウコウ / ムコウ	データの先頭に空白データが存在する場合の動作を設定します。	
ヒータセッテイ	ヒータ	ON / OFF	外部乾燥用ヒータの使用 / 不使用を設定します。
	カンソウフィード	ON / OFF	プリント終了後の乾燥用フィードの設定をします。

## 使用するヘッドを切り替える

ノズル詰まりなどのトラブルが解消しない場合、トラブルが発生していないヘッドを使用してプリントすることができます。

例：Cラインのヘッドのノズル詰まりが解消しない場合→“AB-”に設定します。

設定値	概 要	
A-/-B-/-C /AB-/BC/ALL	A-: Aラインのヘッドを使用 -B-: Bラインのヘッドを使用 -C: Cラインのヘッドを使用	AB-: AラインとBラインのヘッドを使用 -BC: BラインとCラインのヘッドを使用 ALL: すべてのヘッドを使用

- 1 ローカルで **FUNCTION** キーを押す
 

FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ
 

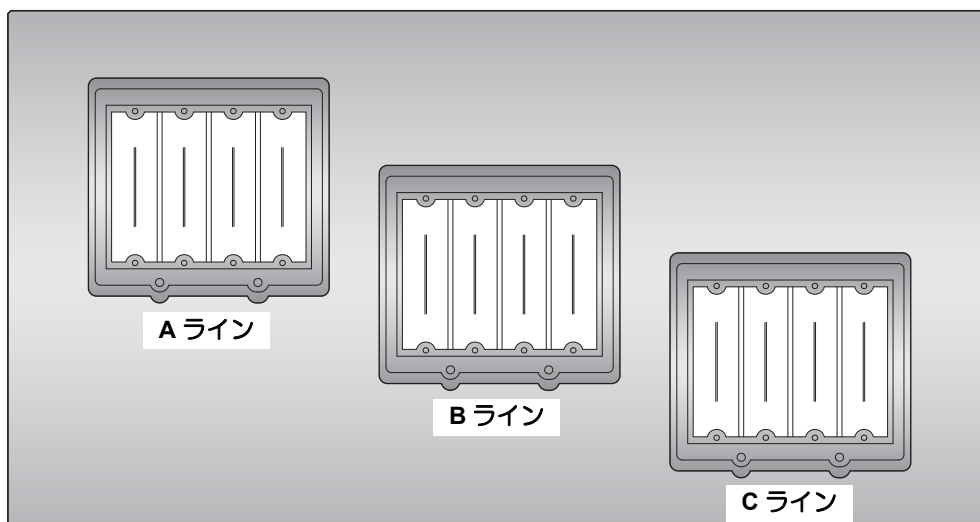
FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- 3 **ENTER** キーを2回押す
 

シヨウ ヘッド  
ヘッド ライン : **ALL**
- 4 **▲** **▼** を押して、設定値を選ぶ  
・設定値：A- / -B-/-C/AB-/BC/ALL
 

シヨウ ヘッド  
ヘッド ライン : **BC**
- 5 **ENTER** キーを押す
 

マシン セッテイ  
シヨウ ヘッド <ENT>
- 6 終了するとき、**END** キーを数回押す

装置背面側





## マシン名称を設定する

USB2.0 インターフェイスを使用した複数台接続時の装置認識のためのマシン名称 (マシンNo.) を設定します。

- |   |  |                               |
|---|--|-------------------------------|
| 1 | ローカルで <b>FUNCTION</b> キーを押す                | FUNCTION<br>セッテイ <ENT>        |
| 2 | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ       | FUNCTION<br>マシン セッテイ <ENT>    |
| 3 | <b>ENTER</b> キーを押す                         | マシン セッテイ<br>シヨウ ヘット* <ENT>    |
| 4 | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[マシンメイシヨウ] を選ぶ      | マシン セッテイ<br>マシン メイシヨウ <ENT>   |
| 5 | <b>ENTER</b> キーを押す                         | マシン メイシヨウ<br>Tx400-0 <b>1</b> |
| 6 | <b>▲</b> <b>▼</b> を押して、マシン名称 (01 ~ 99) を選ぶ | マシン メイシヨウ<br>Tx400-1 <b>0</b> |
| 7 | <b>ENTER</b> キーを押す                         | マシン セッテイ<br>マシン メイシヨウ <ENT>   |
| 8 | 終了するとき、 <b>END</b> キーを数回押す                 |                               |

## スタンプの設定をする

データをプリントするとき、画像データと一緒に、現在設定中の印刷条件（解像度 / パス数など）を印刷するか設定します。

設定値	概 要
ON	画像データと一緒に印刷条件をプリントします。
OFF	画像データのみプリントします。

- 1** ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

---

- 2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>

---

- 3** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
シヨウ ヘット <ENT>

---

- 4** **▲** **▼** を押して、[スタンプセッテイ] を選ぶ

マシン セッテイ  
スタンプ° セッテイ <ENT>

---

- 5** **ENTER** キーを押す

スタンプ° セッテイ  
スタンプ° : **ON**

---

- 6** **▲** **▼** を押して、設定値を選ぶ  
・設定値：ON / OFF

スタンプ° セッテイ  
スタンプ° : **OFF**

---

- 7** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
スタンプ° セッテイ <ENT>

---

- 8** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## 繰出装置の設定をする

本装置の繰出装置を使用する / しないを設定します。

設定値	概 要
ON	本装置の繰出装置を使用します。
OFF	本装置の繰出装置を使用しません。

- 1** ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- 3** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
シヨウ ヘット` <ENT>
- 4** **▲** **▼** を押して、[クリダシセッテイ] を選ぶ

マシン セッテイ  
クリタ`シ セッテイ <ENT>
- 5** **ENTER** キーを押す

クリタ`シ セッテイ  
クリタ`シ : **ON**
- 6** **▲** **▼** を押して、設定値を選ぶ  
・設定値 : ON / OFF

クリタ`シ セッテイ  
クリタ`シ : **OFF**
- 7** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
クリタ`シ セッテイ <ENT>
- 8** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## 巻取装置の設定をする

本装置の巻取装置を使用する / しないを設定します。

設定値	概 要
ON	本装置の巻取装置を使用します。
OFF	本装置の巻取装置を使用しません。



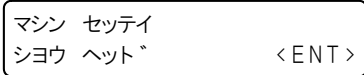
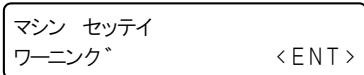
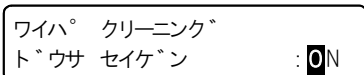
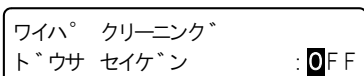
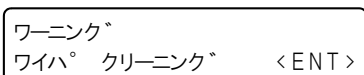
- 1 ローカルで **FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ  
FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- 3 **ENTER** キーを押す  
マシン セッテイ  
シヨウ ヘット <ENT>
- 4 **▲** **▼** を押して、[マキトリセッテイ] を選ぶ  
マシン セッテイ  
マキトリ セッテイ <ENT>
- 5 **ENTER** キーを押す  
マキトリ セッテイ  
マキトリ : **ON**
- 6 **▲** **▼** を押して、設定値を選ぶ  
マキトリ セッテイ  
マキトリ : **OFF**  
・設定値 : ON / OFF
- 7 **ENTER** キーを押す  
マシン セッテイ  
マキトリ セッテイ <ENT>
- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す

## ワーニングに関する設定をする

ワーニングに関する設定を行います。設定できる項目は以下の項目になります。

項目	設定値	概要
ワイパクリーニング	ON/OFF	ワイパ清掃時期をお知らせするワーニングが表示されても、続けてプリントを行いたい場合に“OFF”に設定します。 “ON”に設定すると、ワーニング表示後はプリントできなくなります。
ミストファン	ON/OFF	ミストファンフィルタの交換時期の設定や、使用カウンタのクリアを行います。
ノズルリカバリ	ON/OFF	メンテナンス機能の「ノズルリカバリの登録」(P.4-41)が有効になっているとき、プリント開始前に確認画面 (P.5-7「ワーニングメッセージ」) を表示させたい場合に“ON”に設定します。 “OFF”に設定すると、プリント時に確認画面を表示しないでプリントします。

### ワイパクリーニングに関するワーニングの設定をする

- 1 ローカルで **FUNCTION** キーを押す  

- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ  

- 3 **ENTER** キーを押す  

- 4 **▲** **▼** を押して、[ワーニング] を選ぶ  

- 5 **ENTER** キーを2回押す  

- 6 **▲** **▼** を押して、設定値を選ぶ  
 ・設定値：ON / OFF  

- 7 **ENTER** キーを押す  

- 8 終了するとき、**END** キーを数回押す



- ・ワイパクリーニングが発生している状態で使用を続けると、ノズル状態の悪化やヘッド破損の原因となります。ワイパのお手入れはこまめに行ってください。

## ミストファンフィルタの交換時期を設定する

- 1** ローカルで **FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ  
FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- 3** **ENTER** キーを押す  
マシン セッテイ  
シヨウ ヘット\* <ENT>
- 4** **▲** **▼** を押して、[ワーニング] を選ぶ  
マシン セッテイ  
ワーニング\* <ENT>
- 5** **ENTER** キーを押す  
ワーニング\*  
ワイハ° クリーニング\* <ENT>
- 6** **▲** **▼** を押して、[ミストファン] を選ぶ  
ワーニング\*  
ミスト ファン <ENT>
- 7** **ENTER** キーを 2 回押す  
ミスト ファン  
リミット セット = 0m
- 8** **▲** **▼** を押して、ワーニング表示までのプリント距離を設定する  
ミスト ファン  
リミット セット = 100m  
• 設定値 : 0 ~ 30000m  
 • 設定値を "0m" にすると、ワーニングが表示されなくなります。
- 9** **ENTER** キーを押す  
ミスト ファン  
カウンタ リミット <ENT>
- 10** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## ミストファンフィルタの使用カウンタをクリアする

- 重要!** ・カウンタをクリアすると、右のワーニングが表示されなくなります。

!ミスト ファン  
フィルタ クリーニング\*

**1** ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

**2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>

**3** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
シヨウ ヘット\* <ENT>

**4** **▲** **▼** を押して、[ワーニング] を選ぶ

マシン セッテイ  
ワーニング\* <ENT>

**5** **ENTER** キーを押す

ワーニング\*  
ワイハ° クリーニング\* <ENT>

**6** **▲** **▼** を押して、[ミストファン] を選ぶ

ワーニング\*  
ミスト ファン <ENT>

**7** **ENTER** キーを押す

ミスト ファン  
カウンタ リミット <ENT>

**8** **▲** **▼** を押して、[カウンタリセット] を選ぶ

ミスト ファン  
カウンタ リセット <ENT>

**9** **ENTER** キーを 2 回押す  
・使用カウンタがリセットされます。

**10** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## ノズルリカバリに関するワーニングの設定をする

- 1 ローカルで **FUNCTION** キーを押す  
FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2 **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ  
FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- 3 **ENTER** キーを押す  
マシン セッテイ  
シヨウ ヘット <ENT>
- 4 **▲** **▼** を押して、[ワーニング] を選ぶ  
マシン セッテイ  
ワーニング <ENT>
- 5 **ENTER** キーを押す  
ワーニング  
ワイハ° クリーニング° <ENT>
- 6 **▲** **▼** を押して、[ノズルリカバリ] を選ぶ  
ワーニング  
ノズル リカバリ <ENT>
- 7 **ENTER** キーを押す  
ノズル リカバリ  
トウサ セイゲン : **ON**
- 8 **▲** **▼** を押して、設定値を選ぶ  
ノズル リカバリ  
トウサ セイゲン : **OFF**  
・設定値 : ON / OFF
- 9 **ENTER** キーを押す  
ワーニング  
ノズル リカバリ <ENT>
- 10 終了するとき、**END** キーを数回押す



## スパーサの設定をする

プリントをするときにスパーサを使用する / しないを設定します。

設定値	概要
ON	スパーサを使用します。
OFF	スパーサを使用しません。

- 1** ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- 3** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
シヨウ ヘット\* <ENT>
- 4** **▲** **▼** を押して、[スパーサ] を選ぶ

マシン セッテイ  
スパーサ <ENT>
- 5** **ENTER** キーを押す

スパーサ  
セット : **ON**
- 6** **▲** **▼** を押して、設定値を選ぶ  
・設定値 : ON / OFF

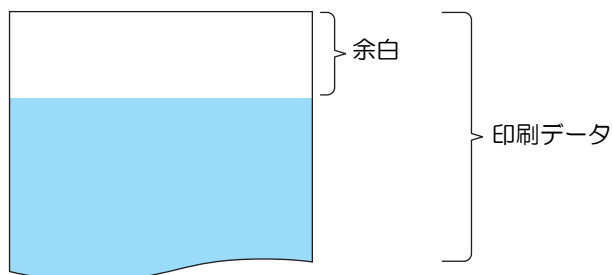
スパーサ  
セット : **OFF**
- 7** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
スパーサ <ENT>
- 8** 終了するとき、**END** キーを数回押す

**重要!** ・スパーサの着脱を行った場合は、必ず本設定を行ってください。

## ブランクデータの設定

プリントするデータの先頭に余白が存在する場合の動作を設定します。



設定値	概要
ユウコウ	余白部分をフィードしてプリントします。
ムコウ	余白部分を削除してプリントします。

- 1** ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>
- 2** **▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>
- 3** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
シヨウ ヘット <ENT>
- 4** **▲** **▼** を押して、[ブランクデータ] を選ぶ

マシン セッテイ  
ブランク データ <ENT>
- 5** **ENTER** キーを押す

ブランク データ  
センタク : **ユウコウ**
- 6** **▲** **▼** を押して、設定値を選ぶ  
・設定値: ユウコウ / ムコウ

ブランク データ  
センタク : **ムコウ**
- 7** **ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
ブランク データ <ENT>
- 8** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## 外部乾燥用ヒータの設定

メディア乾燥用の外部ヒータをオプションのリレー BOX に接続してお使いになれます。

外部乾燥用ヒータの設定では、次の各項目について設定できます。

設定項目	概要
ヒータ	外部乾燥用ヒータの使用 / 不使用を設定します。
カンソウフィード	プリント終了後にプリンタ面からヒータ位置までの乾燥を自動的に行うか設定します。

**重要!** ・ オプションリレー BOX に接続できないヒータを本機で制御することはできません。

### ヒータの設定

本機のオプションリレー BOX に接続した外部乾燥用ヒータの使用 / 不使用を設定します。

設定項目	概要
ON	外部乾燥用ヒータを使用します。
OFF	外部乾燥用ヒータを使用しません。

**重要!** ・ オプションリレー BOX に外部乾燥用ヒータを接続してお使いになるときは、必ず、本設定を“ON”にしてください。  
 ・ オプションリレー BOX に接続していない外部ヒータをお使いになる場合は、本設定を行う必要はありません。

<b>1</b>	ローカルで <b>FUNCTION</b> キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
<b>2</b>	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ <ENT>
<b>3</b>	<b>ENTER</b> キーを押す	マシン セッテイ シヨウ ヘット* <ENT>
<b>4</b>	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[ヒータセッテイ] を選ぶ	マシン セッテイ ヒータ セッテイ <ENT>
<b>5</b>	<b>ENTER</b> キーを 2 回押す	ヒータ セッテイ ヒータ : <b>OFF</b>
<b>6</b>	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、設定値を選ぶ ・ 設定値 : ON / OFF	ヒータ セッテイ ヒータ : <b>ON</b>
<b>7</b>	<b>ENTER</b> キーを押す	ヒータ セッテイ ヒータ <ENT>

# 8

終了するとき、**END** キーを数回押す

## 乾燥フィードの設定

乾燥フィードは、プリント終了位置から MAIN ヒータまでの、ヒータによる乾燥を行っていない部分を乾燥させるための機能です。

本機能を“ON”にすると、プリント終了後にあらかじめ設定した長さを自動的にフィードしてメディアの乾燥を行います。

- 重要!**
- ・プリント終了時に次のプリントデータを受信している場合は、乾燥フィードは行いません。
  - ・乾燥フィードでは、プリント中と同様の乾燥効果を得るため、ジョグキーでメディアをフィードしたときと比べてフィード速度が遅くなります。

設定項目	設定値	概要
フィード速度	AUTO、10～60mm/s	フィード速度を設定します。 AUTO : フィード速度をプリント条件に合わせます。 数値入力 : 指定した速度でフィードを行います。
フィード長	10～2000mm	フィードする長さを設定します。
バックフィード	ON/OFF	乾燥フィード実行後、フィードした分を自動的に戻すように設定できます。 バックフィードを“ON”にしたときは、バックフィードの速度を設定してください。



### バックフィードについて

- ・バックフィードを“ON”にすれば、乾燥フィードでフィードした長さに合わせて自動的にメディアを元の位置に戻します。
- ・メディアの種類によってはバックフィードできない場合があります。あらかじめ[▲]を押してバックフィードを行い、メディアにヨレやシワが発生しないことを確認してください。
- ・転写紙を使用している場合、一度ヒータを通過すると、左右端が反りかえるなどメディアの表面に凹凸が生じる場合があります。そのような場合には、バックフィードはOFFにしてください。メディア詰まりの原因となりヘッドを傷つけてしまいます。

# 1

ローカルで **FUNCTION** キーを押す

FUNCTION  
セッテイ <ENT>

# 2

**▲** **▼** を押して、[マシンセッテイ]を選ぶ

FUNCTION  
マシン セッテイ <ENT>

# 3

**ENTER** キーを押す

マシン セッテイ  
シヨウ ヘット\* <ENT>



# 4

**▲** **▼** を押して、[ヒータセッテイ]を選ぶ

マシン セッテイ  
ヒータ セッテイ <ENT>

5	<input type="button" value="ENTER"/> キーを押す	ヒータ セッテイ ヒータ <ENT>
6	<input type="button" value="▲"/> <input type="button" value="▼"/> を押して、[カンソウフィード] を選ぶ	ヒータ セッテイ カンソウ フィード` <ENT>
7	<input type="button" value="ENTER"/> キーを押す ・乾燥フィード機能の使用 / 不使用の選択画面が表示されます。	ヒータ セッテイ カンソウ フィード` : <input type="checkbox"/> OFF
8	<input type="button" value="▲"/> <input type="button" value="▼"/> を押して、乾燥フィード “ON” を選ぶ ・“OFF” を選んだ場合は、手順 17 へ進んでください。	ヒータ セッテイ カンソウ フィード` : <input checked="" type="checkbox"/> ON
9	<input type="button" value="ENTER"/> キーを押す	カンソウ フィード` ソクト` : <input checked="" type="checkbox"/> AUTO
10	<input type="button" value="▲"/> <input type="button" value="▼"/> を押して、フィード速度を設定する ・設定値 : AUTO または 1 ~ 60mm/s ・設定したプリント条件に合わせて、自動的にフィード速度を設定する場合は “AUTO” にしてください。	カンソウ フィード` ソクト` : <input checked="" type="checkbox"/> 30 mm/s
11	<input type="button" value="ENTER"/> キーを押す	カンソウ フィード` フィード` チョウ : <input checked="" type="checkbox"/> 1000mm
12	<input type="button" value="▲"/> <input type="button" value="▼"/> を押して、フィード長を設定する ・設定値 : 10 ~ 2000mm	カンソウ フィード` フィード` チョウ : <input checked="" type="checkbox"/> 1500mm
13	<input type="button" value="ENTER"/> キーを押す	カンソウ フィード` ハックフィード` : <input type="checkbox"/> OFF
14	<input type="button" value="▲"/> <input type="button" value="▼"/> を押して、バックフィードの ON/OFF を選ぶ ・バックフィードを “ON” にすれば、乾燥フィードでフィードした長さに合わせて自動的にメディアを元の位置に戻します。 ・バックフィードを “ON” にした場合は手順 15 へ、“OFF” にした場合は手順 17 へ進んでください。	カンソウ フィード` ハックフィード` : <input checked="" type="checkbox"/> ON
<b>重要!</b> ・メディアの種類によってはバックフィードできない場合があります。あらかじめ <input type="button" value="▲"/> を押してバックフィードを行い、メディアにヨレやシワが発生しないことを確認してください。		
15	<input type="button" value="ENTER"/> キーを押す	カンソウ フィード` ソクト` (ハック) : <input checked="" type="checkbox"/> AUTO

16

  を押して、バックフィードの速度を設定する

• 設定値：AUTO または 1 ～ 60mm/s

• 設定したプリント条件に合わせて、自動的にフィード速度を設定する場合は“AUTO”にしてください。

カンソウ フィード”  
ハックフィード” : ON

17

 キーを押す

ヒータ セッテイ  
カンソウ フィード” <ENT>

18

終了するとき、 キーを数回押す

## 設定リストをプリントする

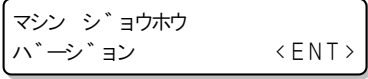

本機の設定内容や装置情報などをプリントできます。  
メンテナンスの参考にしてください。

1	ローカルで <b>FUNCTION</b> キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT>
2	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ <ENT>
3	<b>ENTER</b> キーを押す	マシン セッテイ シヨウ ヘット* <ENT>
4	<b>▲</b> <b>▼</b> を押して、[リスト] を選ぶ	マシン セッテイ リスト <ENT>
5	<b>ENTER</b> キーを押す	リスト フ° リント : e n t
6	<b>ENTER</b> キーを押す ・リストプリントを始めます。	** リスト ** ** フ° リント チュウ **

# 装置情報を確認する

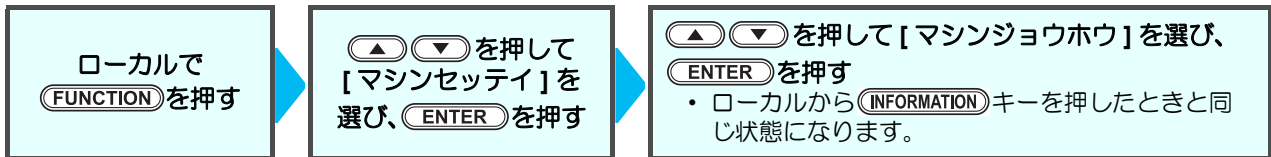
本機の装置情報を確認できます。確認できる項目は以下の項目になります。

項目	概要
バージョン	装置のバージョン情報を表示します。
シリアル No.	シリアル No. を表示します。
ディーラ No.	ディーラ No. を表示します。

- ローカルで **INFORMATION** キーを押す  

- ▲ ▼** を押して、表示する情報を選ぶ  
・表示項目 : バージョン情報、シリアル No.、ディーラ No.  

- ENTER** キーを押す
- 終了するとき、**END** キーを数回押す

## **INFORMATION** を使わないで装置情報を確認するには

**INFORMATION** キーを押さなくても、ローカルから **FUNCTION** キーを使ってマシン情報の確認ができます。





# 装置の状態を確認する

エラー情報やインク残量など、装置の状態を確認できます。

**1** ローカルまたはリモートで **ENTER** キーを押す

エラー ショウホウ  
エラー ヒョウシ [v]キー

**2** **◀▶** を押して、確認したい情報を選ぶ

・ローカルまたはリモート表示に戻りたいときは、**END** キーを押してください。

項目	内容
エラー情報	<p>エラー ショウホウ エラー ヒョウシ [v]キー</p> <p>エラーが発生している場合のみ表示します。  <b>▼</b> を押すと、発生中のエラーを一覧で確認できます。</p>
インク残量	<p>インク サンリョウ 999999999999999999</p> <p>全スロットのインクパック残量の目安を確認できます。  <b>表示スロットの並び順</b> : 12345678ABCDEF GH  <b>表示の意味</b> : [1] ~ [9]= 残量の目安            [0]= インクエンド            [-]= エラー</p> <p><b>重要!</b> ・表示される残量は計算により算出した値です。実際のインク残量とは異なることがあります。            ・インク残量をできるだけ正確に表示するため、同梱されているインクパックとインク IC は必ず同じスロットへ同時にセットしてください。</p>
ロールメディア残量	<p>メディア サンリョウ : ***.***m</p> <p>ロールメディア残量の目安を確認できます。</p> <p><b>重要!</b> ・残量は、ロールメディア検出時に設定したメディア残量 (P.2-30) とフィード量から算出した値です。実際のメディア残量とは異なる場合がありますので、あくまでも目安としてお使いください。</p>
プリントエリア幅	<p>メディア ハバ : ****mm</p> <p>メディア検出時に設定したプリントエリアの幅を確認できます。</p>
ヘッド高さ	<p>ヘッド タカサ *.***mm</p> <p>ヘッド最下位置からのヘッド高さを確認できます。</p>
充填インクセット	<p>インク タイプ : Reac インク カラー : 8</p> <p>装置に充填したインクのインクタイプとカラーモードを確認できます。</p>
マシン名称	<p>Tx400-01 Ver.1.00 MRL-3</p> <p>P.3-25 で設定した装置のマシン名称や、装置のバージョン情報を確認できます。</p>
繰出 / 巻取設定	<p>クリタシ : ON マキトリ : ON</p> <p>繰出装置の設定 (P.3-27) や、巻取装置の設定 (P.3-28) を確認できます。</p>
設定値	<p>セッテイ &lt;タイプ1&gt; ヒョウシ [^]/[v]キー</p> <p><b>▼</b> を押すと、現在選択されているユーザタイプの設定値を一覧で確認できます。</p>
カウンタログ	<p>カウンタ ログ ヒョウシ [^]/[v]キー</p> <p><b>▼</b> を押すと、ミストファンの使用カウンタを確認できます。</p>
ノズルリカバリ	<p>ノズル リカバリ ヒョウシ [^]/[v]キー</p> <p><b>▼</b> を押すと、現在プリントしている解像度および使用ヘッドのリカバリ可能なパスの情報が表示されます。</p> <p><b>重要!</b> ・データ受信中でかつノズルリカバリの設定が有効になっているときのみ表示されます。</p>



# 第4章 お手入れ



## この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクユニットのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。





日常のお手入れ.....	4-2	ドットの位置がずれたら.....	4-26
お手入れ上のご注意 .....	4-2	ノズル詰まりが復旧しない場合	
メンテナンス洗浄液について .....	4-2	(インク充填).....	4-28
外装のお手入れ .....	4-2	インクポート排出治具について .....	4-28
布押さえのお手入れ .....	4-3	定期制御を設定する.....	4-39
センサーの清掃 .....	4-3	フラッシング動作を設定する .....	4-39
折り返しバー(巻取側)の清掃 .....	4-3	クリーニング動作を設定する .....	4-40
布押さえフレームのお手入れ .....	4-4	ノズル抜けが直らないとき .....	4-41
スパイクローラのお手入れ .....	4-5	ノズルリカバリ機能の設定 / 削除を登録	
キャッピングステーションのメンテナンス..	4-7	をする .....	4-41
インクキャップの清掃 .....	4-8	ノズルリカバリ機能を列単位で設定する ..	4-44
ワイパの清掃 .....	4-9	ノズルリカバリ機能の有効 / 無効を	
[ワイパコウカン]を表示したら .....	4-10	確認する .....	4-45
ヘッドノズルの洗浄 .....	4-12	ノズルリカバリの設定リストをプリント	
ヘッドノズル面のメンテナンス .....	4-14	する .....	4-46
インク排出路の洗浄(ハイロセンジョウ)	4-21	廃インクタンクがいっぱいになったら .....	4-47
長期間使用しない場合		ミストファンフィルタのクリーニング .....	4-48
(ホカンセンジョウ) .....	4-23	負圧異常が発生したら .....	4-49
インクヘッド周辺の清掃 .....	4-25		

# 日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

## お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	<ul style="list-style-type: none"><li>本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。</li><li>本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタ機構が故障する恐れがあります。</li><li>メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>誤ってインクが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師の治療を受けてください。</li></ul>

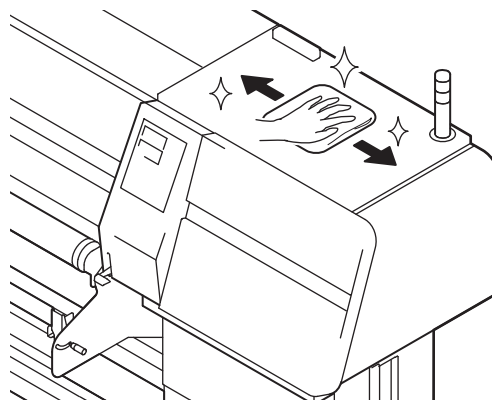
## メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
反応染料インク	SPC-0137 洗浄液ボトルキット A29
捺染顔料インク	SPC-0631 水性洗浄液 2L パック
分散昇華染料インク	SPC-0701 Sb210 メンテナンス用洗浄液

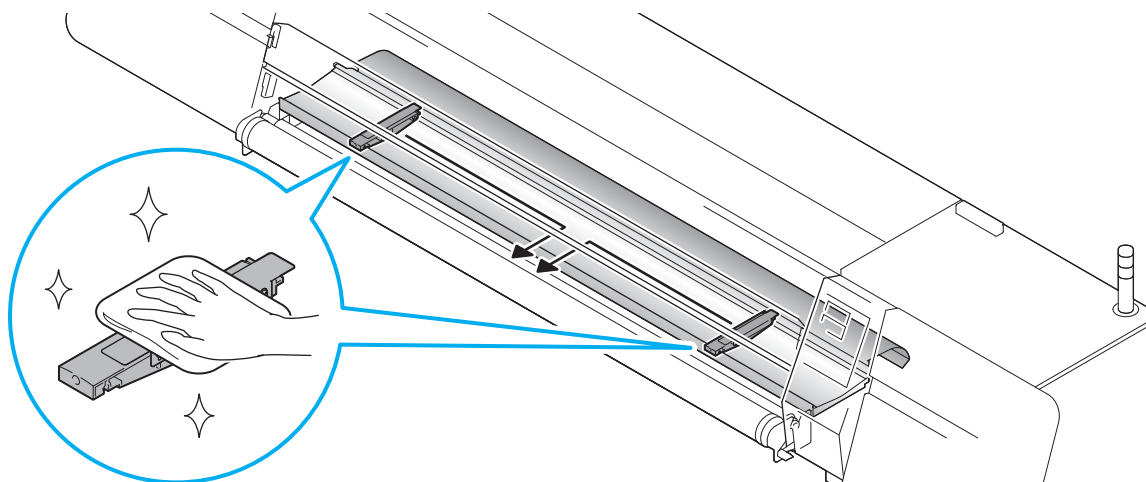
## 外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



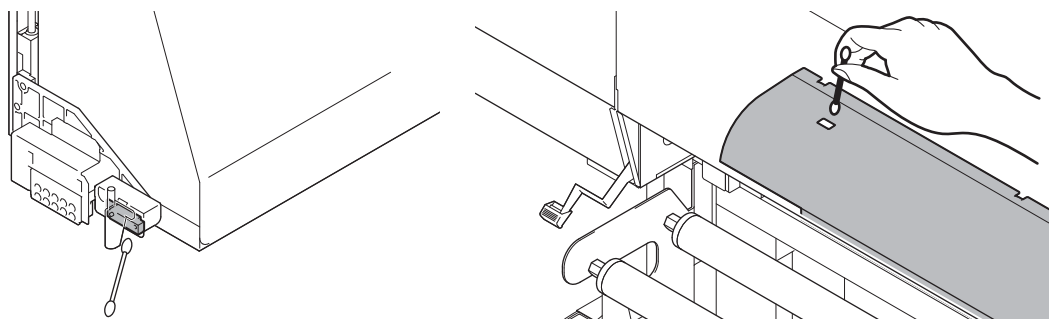
## 布押さえのお手入れ

布押さえに付着したインクなどの汚れを洗浄したいとき、取り外して洗浄できます。



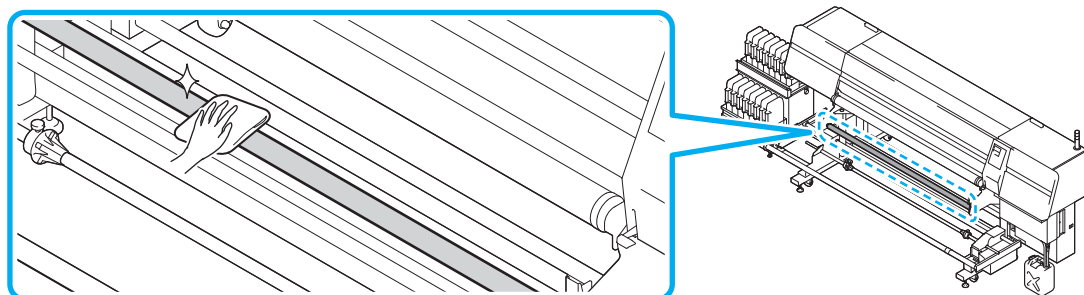
## センサーの清掃

センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。



## 折り返しバー (巻取側) の清掃

装置前面にある、メディア巻取時に使用する折り返しバーに付着したインクなどの汚れを取り除きます。柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



## 布押さえフレームのお手入れ

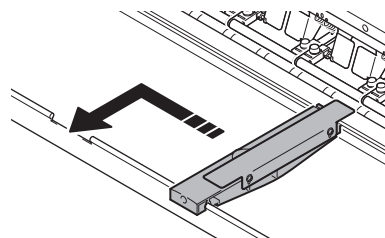
目の粗い布にプリントすると、インクの一部が布を通過します。通過したインクは、布押さえフレームに敷いてあるスポンジに吸収され裏抜けインク溝に溜まります。スポンジを水などで洗浄し、布押さえフレームに付着したインクをウェス等で拭き取ってください。(1週間に1回程度)

- 重要!** ・スポンジに付着したインクや裏抜けインク溝に溜まったインクを放置していると、スポンジの目が詰まり、ミスト発生の原因となります。

1

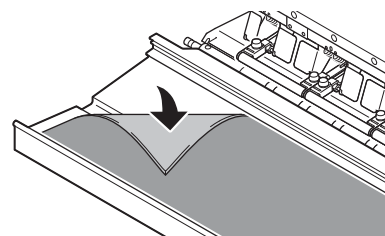
### 布押さえを外す

- ・布押さえをプラテン中央の凹部までスライドさせ、取り外します。



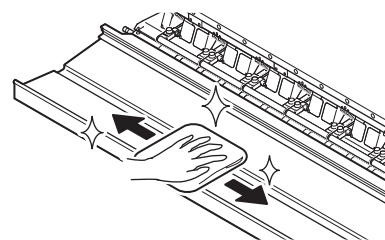
2

### スポンジを取り外す



3

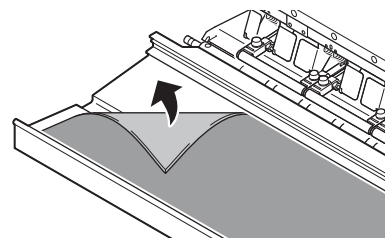
### 布押さえフレームについた汚れをウェス等で拭き取る



4

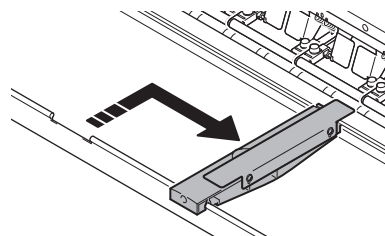
### スポンジを取り付ける

- ・取り外したスポンジは水洗いし、よく絞ってから元に戻してください。



5

### 布押さえを取り付ける



## スパイクローラのお手入れ

スパイクローラに付着した前処理剤や繊維クズを樹脂ブラシで定期的に取り除いてください。

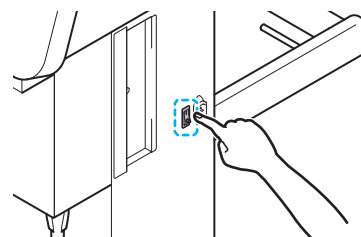
**重要!**

- スパイクローラは定期的にお手入れを行ってください。
- ご使用のメディア前処理剤によっては、スパイクローラに付着したまま放置しておくと、サビの原因となる場合があります。
- スパイクローラにサビが発生すると、メディアを正常にフィードさせることができなくなる恐れがあります。

**1**

### 本装置の電源を切る

- 電源スイッチを「O」側に倒します。



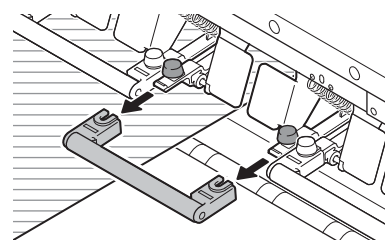
**2**

### フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる

**3**

### ピンチローラを取り外す

- ツマミネジ (2箇所) を緩めてから手前に引きます。



**4**

### ブラシを使ってスパイクローラの表面をこすり、汚れを除去する

- 軽く数回スパイクローラの表面をこすってください。
- 指でスパイクローラを回しながら全周をブラッシングしてください。
- 汚れたブラシ先端は、乾いた布で拭き取ってください。



**重要!**

- スパイクローラのお手入れは、必ず樹脂ブラシで行ってください。布や紙などで拭くと凹凸部に繊維クズが付着してしまいます。また、硬い金属ブラシ等を使用すると、スパイクローラに傷を付けてしまいます。
- ブラッシング時に水や洗浄液を付けないでください。錆を促進させる原因になります。

**5**

### ピンチローラ表面の汚れを除去する

- ピンチローラの表面を布等で拭いて、インク汚れを除去してください。



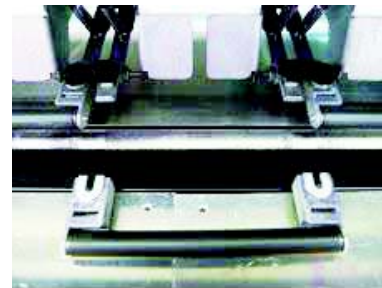
**4**

お手入れ

## 6

## ピンチローラを取り付ける

- ピンチローラを取り付ける時は、取付側の凸部分に合わせて取り付けてください。



## 7

## 本装置の電源を入れ、正常に動作可能か確認する

- (1) ローカルモードで **ST.MAIN** キーを押す
- (2) **▼** **▲** を押し、[ キャリッジアウト ] を選ぶ
- (3) **ENTER** キーを押す
  - キャリッジが、プラテン上に移動します。
- (4) フロントカバーを開ける
- (5) キャリッジを手で押して、左端まで移動させ、キャリッジとピンチローラが干渉していないことを確認する
  - ピンチローラとキャリッジが干渉している場合は、ピンチローラの取り付けをやり直して干渉がないか、再度確認してください。
- (6) 問題ないことを確認したら、フロントカバーを閉める。
- (7) **ENTER** キーを押す
  - 初期動作後、メディア選択画面に戻ります。



# キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパのメンテナンスをします。  
(ステーションメンテナンス)



- インクキャップやワイパが汚れたままお使いになると、ノズル詰まりが発生しやすくなります。毎日の作業終了時や、ロールメディアの交換時などにインクキャップとワイパの清掃を実施してください。

インクキャップ/ワイパは、それぞれ次のような働きをしています。

- ・ワイパ : ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- ・インクキャップ : ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリ等でワイパやキャップが汚れてきます。ヘッドクリーニングを実行 (☞ P.2-34) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、洗浄キットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	・洗浄液ボトルキット A29(品番:SPC-0137)[別売品]	・スポイト
	・クリーンスティック(品番:SPC-0527)	・手袋



- ・キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、**ST.MAIN** キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-8 手順 1~2)
- ・誤ってインクが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師の治療を受けてください。

## インクキャップの清掃

画質不良が出た場合やクリーニング機能を実行してもノズル詰まりが直らない場合、および長期間使用しない場合にキャップをクリーニングしてください。



- ・インクキャップが汚れたままお使いになると、ノズル詰まりが発生しやすくなります。毎日の作業終了時や、ロールメディアの交換時などにインクキャップの清掃を実施してください。

1

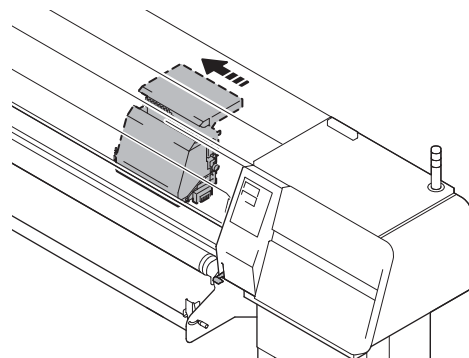
ローカルで **ST.MAIN** キーを押す

ステーション  
センタク : キャリッジ<sup>®</sup> アウト

2

**ENTER** キーを押す

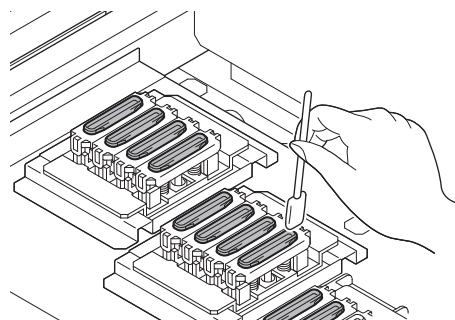
- ・キャリッジがプラテン上に移動します。



3

メンテナンスカバー R を開け、キャップゴムを清掃する

- ・キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



4

メンテナンスカバー R を閉め、**ENTER** キーを押す

- ・初期動作後、メディア選択画面に戻ります。(P.2-30)

シハ`ラク オマチクタ`サイ  
\*\*\*\*\*-----

### **ST.MAIN** を使わないでステーションメンテナンスをするには

**ST.MAIN** キーを押さなくても、ローカルから **FUNCTION** キーを使ってステーションメンテを選ぶことができます。

ローカルで  
**FUNCTION** を押す

▲ ▼ を押して  
[メンテナンス] を選ぶ

**ENTER** を 2 回押す

- ・ローカルから **ST.MAIN** キーを押したときと同じ状態になります。

## ワイパの清掃

ワイパには、ヘッドのノズルに付着したインクなどを拭き取る働きがあります。定期的にワイパの清掃を行い、快適な状態でプリントをしてください。



- ワイパが汚れたままお使いになると、ノズル詰まりが発生しやすくなります。毎日の作業終了時や、ロールメディアの交換時などにとワイパの清掃を実施してください。

**重要!**

- 新しいワイパのゴム部分には触れないでください。ノズル詰まりの原因になります。
- ワイパやワイパクリーナ、ワイパ下のスポンジは定期的にメンテナンスを行ってください。ワイパなどを汚れたままの状態では置くと、吐出不良や装置の破損の原因になります。

### ● ワイパの清掃時期になると

ワイパの清掃時期になると、ディスプレイに右のメッセージを表示してお知らせします。  
メッセージを表示したら、速やかにワイパの清掃を行ってください。

!ワイパ°  
ワイパ° クリーニング°

1

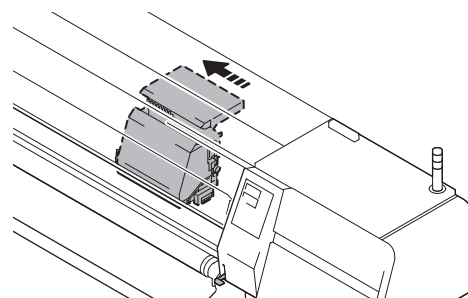
ローカルで **ST.MAIN** キーを押す

ステーション  
センタク : !ワイパ° クリーニング°

2

**ENTER** キーを押す

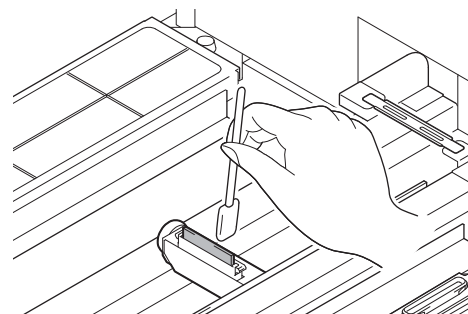
- キャリッジがプラテン上に移動します。



3

メンテナンスカバー R を開け、ワイパを清掃する

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



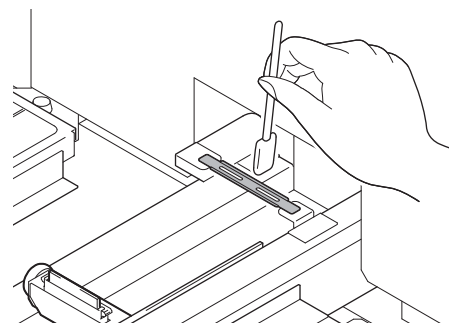
4

ワイパクリーナを清掃する

- ワイパクリーナに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



- ワイパクリーナのエッジで怪我をしないように十分気をつけてください。



5

メンテナンスカバー R を閉め、**ENTER** キーを押す

- 初期動作後、メディア選択画面に戻ります。(P.2-30)

シハ°ラク オマチクタ°サイ  
\*\*\*\*\*-----

4

お  
手  
入  
れ

## [ワイパコウカン]を表示したら

ワイパは消耗品です。右のメッセージが表示されたら、速やかにワイパを交換するか、ワイパゴムを取り外し、未使用エッジとのローテーションをしてください。

！ワイパ°  
ワイパ°ヲ コウカン シテクタ°サイ

- 重要!**
- ・クリーニングワイパ (SPA-0171) は別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
  - ・ワイパ交換時以外は、[ワイパコウカン]を選択しないでください。本機内部で管理しているワイパ使用回数がリセットしてしまいます。

## ワイパを交換する

1

ローカルで **ST.MAIN** キーを押す

ステーション  
センタク : キャリッジ° アウト

2

▲ ▼ を押して、[ワイパコウカン]を選ぶ

ステーション  
センタク : ワイパ° コウカン

3

**ENTER** キーを押す

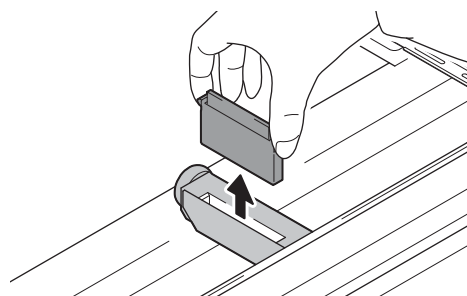
- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

ワイパ° コウカン  
シュウリョウ : ent

4

メンテナンスカバー R を開け、ワイパを取り出す

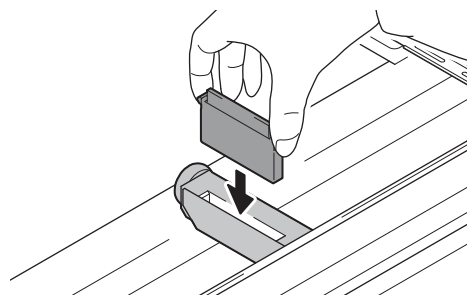
- ・ワイパ両端の突起を持ち、引き抜きます。



5

新しいワイパを差し込む

- ・ワイパ両端の突起を持ち、差し込みます。
- ・ワイパのゴム部分には触れないでください。ノズル詰まりの原因となります。
- ・ワイパは表面 / 裏面はありません。どちらを手前にしても差し込むことができます。



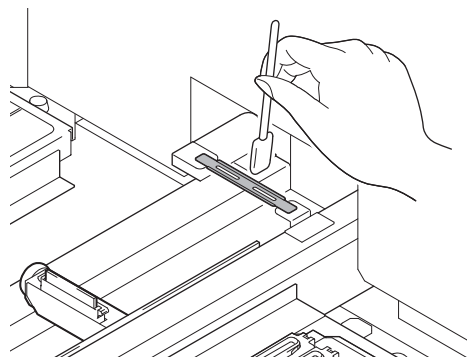
6

ワイパクリーナを清掃する

- ・ワイパクリーナに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

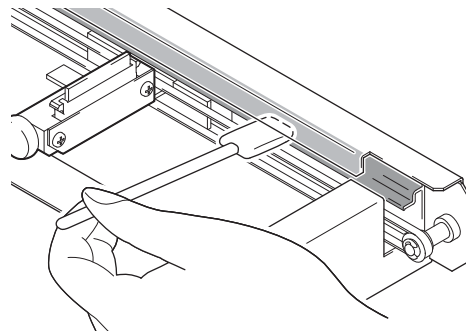


- ・ワイパクリーナのエッジで怪我をしないように十分気をつけてください。



## 7 ワイパのガイド溝を清掃する

- クリーンスティックまたは布で、ガイド溝を清掃します。
- 汚れが落ちにくい場合は、クリーンスティックなどを水で濡らしてから清掃してください。



## 8 ワイパ下のスポンジを洗浄する

- (1) ワイパフレーム内のスポンジを取り出し水洗いする
- (2) スポンジを乾燥させてから元の位置に戻す

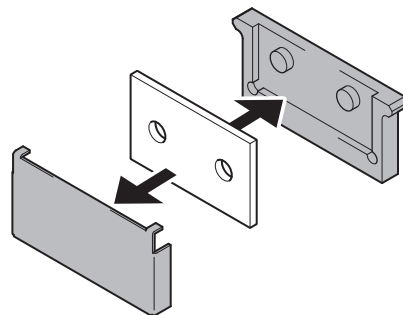
## 9 メンテナンスカバー R を閉め、**ENTER** キーを押す

- 初期動作後、メディア選択画面に戻ります。(P.2-30)

シハ`ラク オマチクタ`サイ  
\*\*\*\*\*-----

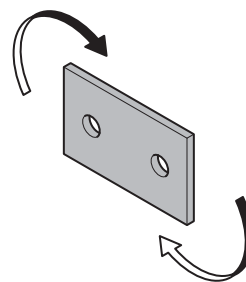
## 未使用エッジとのローテーションをする

### 1 ワイパカバーを取り外し、ワイパゴムを取り出す



### 2 ワイパゴムを上下に回転させる

- 未使用部分が上になるように回転させます。



### 3 ワイパカバーを元の状態に戻す

## ヘッドノズルの洗浄

ノズル抜けが発生するとき、ヘッドノズルの洗浄を行ってください。

事前に確認  
してください

【ニアエンド】、【インクエンド】は表示していませんか？

- 洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- インクが十分に残っているインクパックに交換してください。

1

ローカルで **ST.MAIN** キーを押す

ステーション  
センタク : キャリッジ アウト :

2

▲ ▼ を押して、【ノズルセンジョウ】を選ぶ

ステーション  
センタク : ノズル センジョウ

3

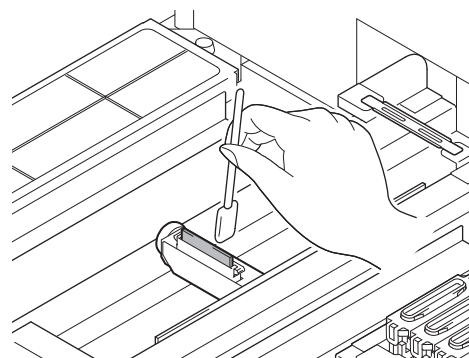
**ENTER** キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。

ワイパ° クリーニング°  
シュウリョウ : ent

4

メンテナンスカバー R を開け、ワイパを清掃する



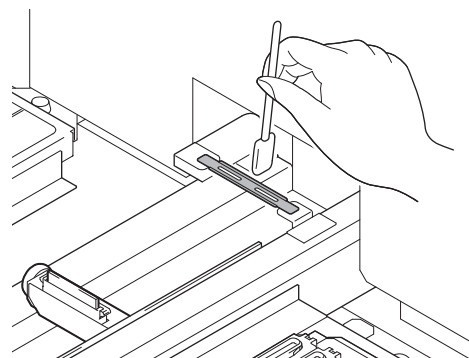
5

ワイパクリーナを清掃する

- ワイパクリーナに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



- ワイパクリーナのエッジで怪我をしないように十分気をつけてください。



6

ワイパ下のスポンジを洗浄する

- (1) ワイパフレーム内のスポンジを取り出し水洗いする
- (2) スポンジを乾燥させてから元の位置に戻す

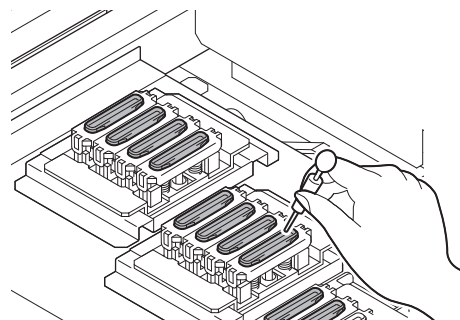
7

**ENTER** キーを押す

センジョウエキ ラ ミタス  
シュウリョウ : ent

**8** スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。
- ノズル抜けが発生しているヘッドにだけ、洗浄液を満たしてください。



**9** メンテナンスカバー R を閉め、**ENTER** キーを押す

ノズル センシ`ヨウ  
ホウチ シ`カン = **1**min

**10** **▲** **▼** を押して、洗浄液の放置時間を設定する

- 設定値：1～99分（1分単位）

ノズル センシ`ヨウ  
ホウチ シ`カン : **2**min

**11** **ENTER** キーを押す

- 手順 10 で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎるとキャップに満たした洗浄液を吸引し、クリーニングを行います。
- クリーニングが終わると、メディア選択画面に戻ります。  
(☞ P.2-30)

シハ`ラク オマチクタ`サイ  
\*\*\*\*\*-----



ホウチ チュウ  
00:01:59

**重要!** この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、「ノズル詰まりが復旧しない場合（インク充填）」(☞ P.4-28) を実行してください。それでも解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡してください。

## ヘッドノズル面のメンテナンス

プリント中にヘッドのノズル面に付着したインクやホコリをそのまま放置しておく、吐出不良やキャッピング不良の原因になります。作業終了後には必ずノズル面のメンテナンスを行い、ヘッドノズル面をきれいな状態に保ってください。



- メンテナンスの際、絶対にインクヘッドのノズル部分をこすらないでください。画質不良などの原因となります。
- 誤ってインクが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師の治療を受けてください。
- Sb210 メンテナンス用洗浄液は、Sb210 搭載機で「ノズルセンジョウ」(P.4-12)または「ノズルセンジョウ 2」(P.4-16)を行うときの専用洗浄液です。Sb210 搭載機以外には、Sb210 メンテナンス用洗浄液洗浄液を使用しないでください。吐出不良を起こす可能性があります。

メンテナンスに必要な道具	• メンテナンス洗浄液	• スポイト
	• クリーンスティック (品番 :SPC-0527)	• 手袋
	• メンテナンスクロス (品番 :SPC-0677)	• ウェス
	• ノズル洗浄ツール	

## 洗浄液について

ヘッドノズル面のメンテナンスを行うには、ご使用になっているインクに合わせたメンテナンス洗浄液が必要になります。

ご使用のインク	メンテナンス洗浄液
Sb210 インク	• Sb210 メンテナンス用洗浄液 (品番 :SPC-0701)[別売品] *1
Sb210 インク以外	• 水性洗浄液 2L パック (品番 :SPC-0631)[別売品]
	• 洗浄液ボトルキット A29(品番 :SPC-0137)[別売品]

\*1. 「ノズルセンジョウ」「ノズルセンジョウ 2」以外のメンテナンスには使用しないでください。



- 「洗浄液ボトルキット A29(100cc 入り)」と「水性洗浄液 2L パック (2L 入り)」には同一の洗浄液が入っています。
- 「洗浄液ボトルキット A29」に比べ「水性洗浄液 2L パック」の方が、単価が安く経済的です。
- 「水性洗浄液 2L パック」をお使いになる場合は、洗浄液を「洗浄液詰め替え用ボトル (品番 : SPC-0695)」に詰め替えてからお使いください。(詰め替え用ボトルは (1 リットルボトル 2 本入り)、繰り返し何度でも使用できます。)

### ●「洗浄液ボトルキット A29」について

メンテナンスを行う際は、ボトルに入っている洗浄液を使用します。洗浄液を使い終わったら、新しい「洗浄液ボトルキット A29」または、「水性洗浄液 2L パックと洗浄液詰め替え用ボトル」をお買い求めください。

### ●「水性洗浄液 2L パック」について

メンテナンスを行う前に、洗浄液を「洗浄液詰め替え用ボトル」に詰め替えてください。



- 「水性洗浄液 2L パック」を開封したままの状態にしないでください。洗浄液が劣化し、洗浄効果が弱くなります。

### ●「洗浄液詰め替え用ボトル」について

「水性洗浄液 2L パック」に入っている洗浄液 (2 リットル) をボトル (1 リットル x2 本) に詰め替えてください。洗浄液を使用した後は、ボトルのキャップをしっかりと締めてください。

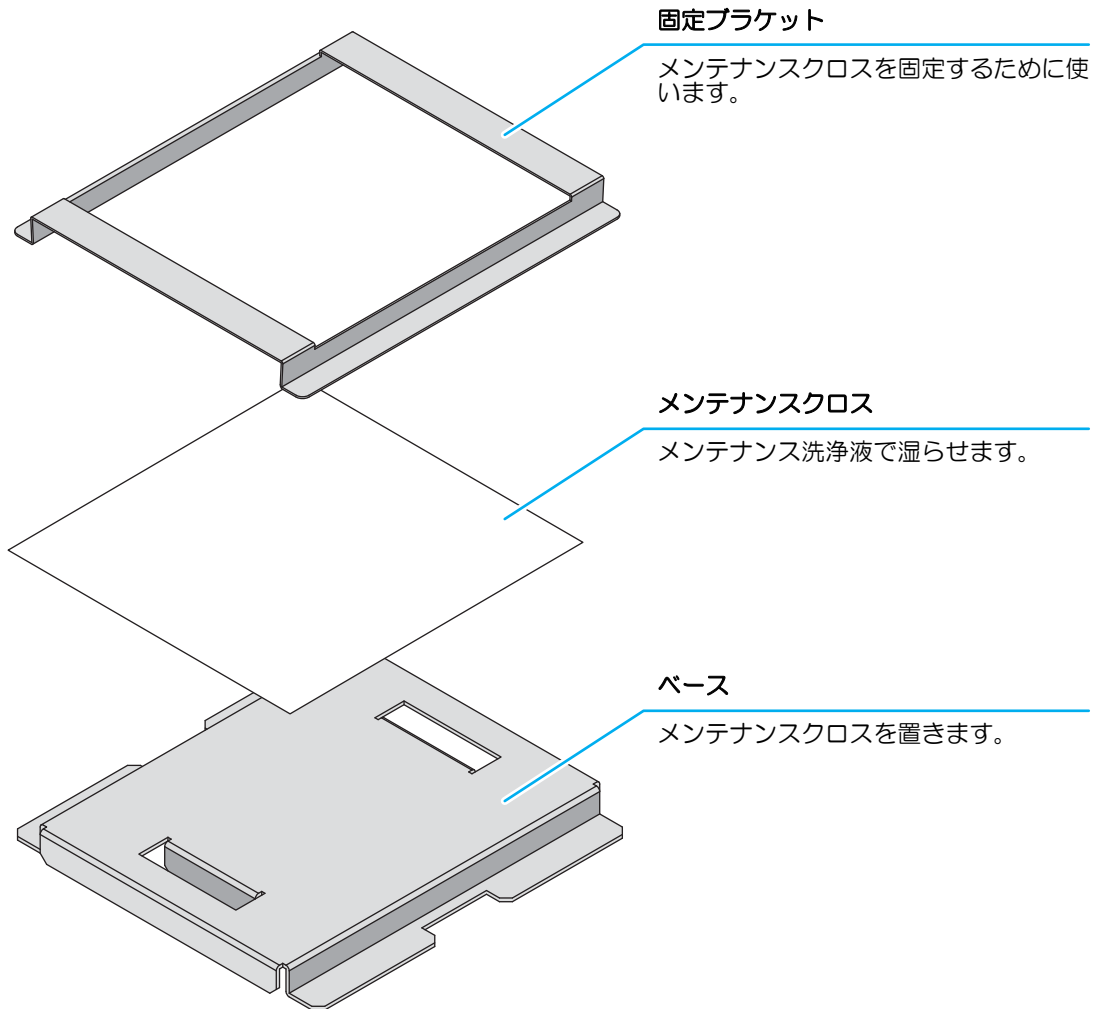


## ノズル洗浄ツールについて

ノズル洗浄ツールはノズル面のメンテナンスを行う際に使用します。



- ノズル洗浄ツールをお使いになるときは、ツールにインクやゴミなどが付着していないことを確認してください。ノズル洗浄ツールにインクやゴミなどが付着していると、メンテナンス効果の低減や装置の破損の原因になります。
- ノズル洗浄ツールを使用する際に板金保護フィルムを剥がして使用してください。



## ヘッドノズル面のメンテナンスを行う

1

ローカルで **ST.MAIN** キーを押す

ステーション  
センタク : キャリッジ<sup>®</sup> アウト

2

**▲** **▼** を押して、[ノズルセンジョウ2] を選ぶ

ステーション  
センタク : ス<sup>®</sup>ル センジ<sup>®</sup>ョウ2

3

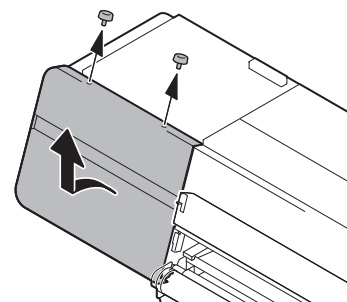
**ENTER** キーを押す

・キャリッジが、本機の左端まで移動します。

キャリッジ<sup>®</sup> メンテナ  
ン ス<sup>®</sup>ウリョウ : ent

4

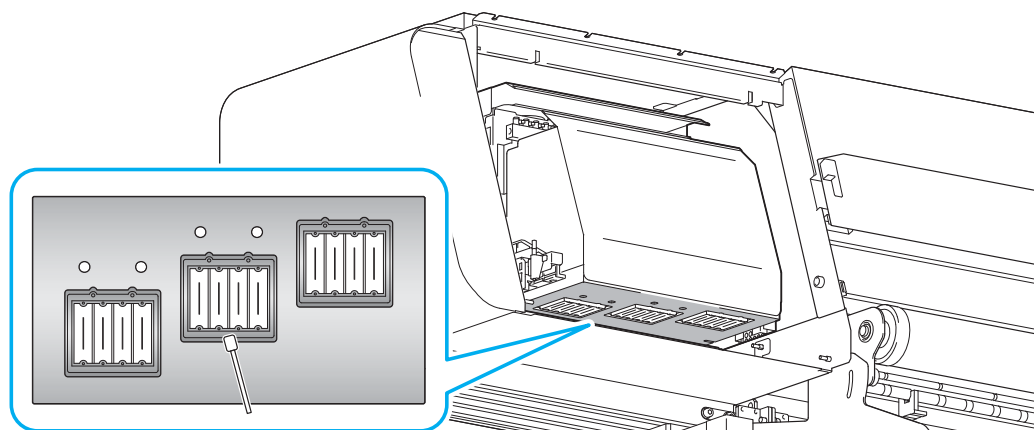
メンテナンスカバー L を外す



5

ヘッドの周辺に付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

**重要!** ・ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



6

清掃が終了したら、メンテナンスカバー L を閉める

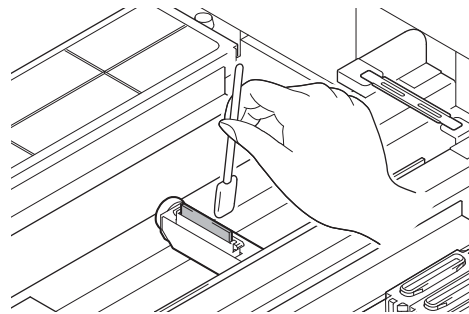
7

**ENTER** キーを押す

ワイパ<sup>®</sup> クリーニク<sup>®</sup>  
ス<sup>®</sup>ウリョウ : ent

8

メンテナンスカバー R を開け、ワイパを清掃する



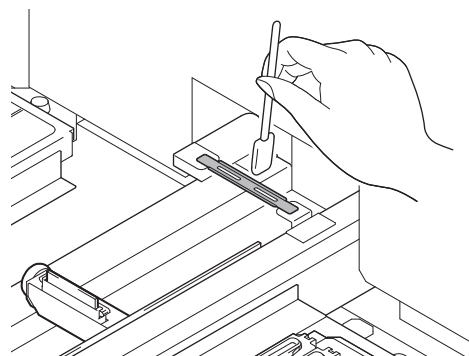
9

ワイパクリーナを清掃する

・ワイパクリーナに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



・ワイパクリーナのエッジで怪我をしないように十分気をつけてください。



10

ワイパ下のスポンジを洗浄する

- (1) ワイパフレーム内のスポンジを取り出し水洗いする
- (2) スポンジを乾燥させてから元の位置に戻す

11

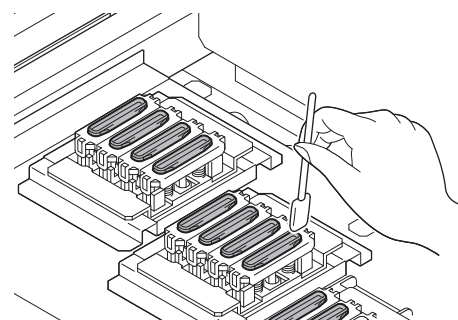
**ENTER** キーを押す

キャップ クリーニング  
シュウリョウ : ent

12

メンテナンスカバー R を開け、キャップゴムを清掃する

・キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



13

キャップ内に残ったインクのかたまりなどのゴミを、ピンセットで取り除く

**重要!**

・スポンジがずれたり浮き上がったたりした場合は、元の位置に戻してください。ずれたままにしておくと、ノズル面を傷つける恐れがあります。

14

**ENTER** キーを押す

センシ ョウ ツール ヲ セット  
シュウリョウ : ent

# 15

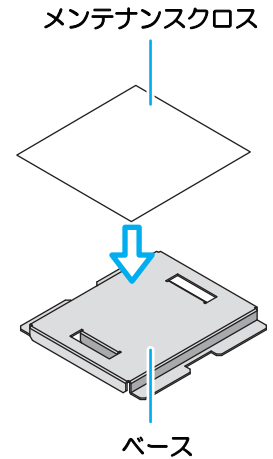
## ノズル洗浄ツールをキャップの上にセットする

(1) ノズル洗浄ツールに固着したインクやゴミを、洗浄液で湿らせたウェス等で拭き取る

- 重要!** ・ ノズル洗浄ツールのベース裏面はキャップと接するため、特に汚れの無い状態にしてください。

(2) ノズル洗浄ツールのベースに、メンテナスクロスを1枚のせる

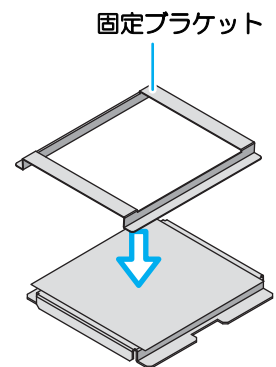
- 重要!** ヘッドの破損防止のため、メンテナスクロス使用時は次の注意事項を守ってご使用ください。
- ・ 汚れやホコリの付着したメンテナスクロスは使用しない。
  - ・ 床に落としたメンテナスクロスは使用しない。
  - ・ 一度使用したメンテナスクロスを再利用しない。
  - ・ 汚れた手でメンテナスクロスに触れない。
  - ・ メンテナスクロスを袋から取り出すときは、袋の中にホコリ等が入らないように、速やかに袋を密閉する。
  - ・ メンテナスクロスは必ず袋に入った状態で保管し、ホコリ等に触れないよう十分に注意する。



(3) ノズル洗浄ツールの固定ブラケットをセットし、メンテナスクロスを固定する



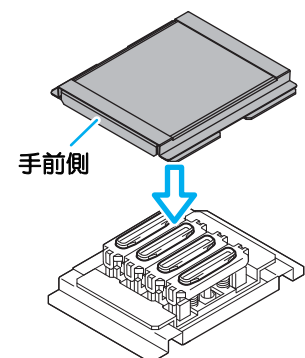
- ・ ベースと固定ブラケットが前後にずれないようにセットしてください。ずれた状態でメンテナンスを行うと、ノズル面を傷つけてしまいます。
- ・ メンテナスクロスにシワが入らないようにセットしてください。シワが入った状態でメンテナンスを行うと、メンテナンス効果が低減します。
- ・ ベースと固定ブラケットはしっかりと密着させてください。ベースと固定ブラケットの間に隙間があると、装置の破損の原因になります。



(4) ノズル洗浄ツールをキャップの上にセットする



- ・ ベース裏面が全てのキャップと密着するようにセットしてください。ノズル洗浄ツールとキャップの位置がずれていたり、ノズル洗浄ツールが傾いた状態でセットされていると、装置の破損の原因になります。
- ・ ノズル洗浄ツールは右図のような向きでセットしてください。ノズル洗浄ツールの向きを間違えてセットすると、装置の破損の原因になります。



(5) 全てのヘッド (A ライン、B ライン、C ライン) に対して (1) ~ (4) までの作業を行う

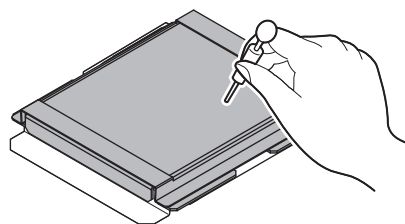
# 16

**ENTER** キーを押す

センシ ョウエキ ヲ タラス  
シュウリョウ :ent

## 17 ノズル洗浄ツールにセットしたメンテナンスクロス をメンテナンス洗浄液で湿らす

- スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、ノズル洗浄ツールにセットしたメンテナンスクロスに垂らします。
- メンテナンスクロスが十分に湿るよう、メンテナンス洗浄液は 3cc 以上垂らしてください。
- 全てのノズル洗浄ツール (A ライン、B ライン、C ライン) に対して、メンテナンスクロスをメンテナンス洗浄液で湿らせてください。



- 重要!** • メンテナンスクロスが十分に湿っていることを確認してください。乾いたままのメンテナンスクロスを使用してメンテナンスを行うと、ノズル面を傷つけてしまいます。

## 18 メンテナンスカバー R を閉める

### 19 **ENTER** キーを押す

ノズル センジョウ2  
ホウチ シ`カン = 10min

### 20 **▲ ▼** を押して、放置時間を設定する

- 設定値 : 1 ~ 30 分 (1 分単位)
- 推奨する放置時間は 10 分です。

ノズル センジョウ2  
ホウチ シ`カン = 11min

### 21 **ENTER** キーを押す

- 手順 20 で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎるとワイピングを行います。

シ`ラク オマチクタ`サイ  
\*\*\*\*\*-----



ホウチ チュウ  
00:01:59



\*\* ワイピ`ンク` チュウ\*\*



センジョウツールヲハズス  
シュウリョウ :ent

- ワイピングが終了すると、センジョウツールを外すことを促すメッセージが表示されます。
- 右の画面表示中は、センジョウツールの取り忘れ防止のためにブザー音が鳴り続けます。

## 22 メンテナンスカバー R を開け、ノズル洗浄ツールを取り外す

- 重要!** • キャップからノズル洗浄ツールを持ち上げた後、すぐにウェスの上に乗せるなどして、ノズル洗浄ツールからメンテナンス洗浄液がこぼれ落ちないように十分に注意して取り外してください。
- 洗浄液にはインクが混ざっています。こぼれ落ちた洗浄液が床や装置に付着すると、付着した色が落ちない場合があります。



- ディスプレイに“センジョウツールヲハズス”のメッセージが表示されたら、速やかにノズル洗浄ツールを取り外してください。ノズル洗浄ツールを長時間キャップ上に乗せたままにしておくと、キャップとツールが固着する恐れがあります。また、ヘッドがキャッピングされていない状態が続くと、ノズルが乾燥し、吐出不良の原因になります。

**23****ENTER** キーを押す

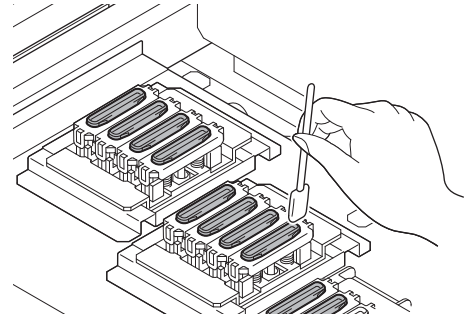
キャップ <sup>o</sup> クリーニング <sup>o</sup> シュウリョウ	:ent
---	------

**24****キャップゴムを清掃する**

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



- ノズル洗浄ツールのベースに付着していた細かなゴミや汚れがキャップに付着しています。必ずキャップゴムの清掃を行ってください。
- キャップゴムの清掃を行わないで、そのまま本機を使用すると、ノズル面が傷ついたり、キャッピング不良を起こす恐れがあります。

**25****メンテナンスカバー R を閉め、ENTER キーを押す**

- クリーニングを行います。
- クリーニングが終わると、メディア選択画面に戻ります。  
(☞ P.2-30)

シハ <sup>o</sup> ラク オマチクダ <sup>o</sup> サイ *****-----
--



** クリーニング <sup>o</sup> チュウ ** 00:00:00
---

**使用後のノズル洗浄ツールの取り扱いについて**

使用後のノズル洗浄ツールは、次回使用するときのために、きれいに清掃してからホコリ等が付着しないように袋に入れて保管しておいてください。

**1****ベースから固定ブラケットを外し、メンテナンスクロスを取り外す**

- 取り外したメンテナンスクロスは廃棄してください。

**2****メンテナンス洗浄液でウェス等を湿らせ、ベースと固定ブラケットに付着したインクをきれいに取り除く**

- ベースと固定ブラケットは必ずきれいに清掃してください。付着したインクをそのまま放置すると、インクが固着してしまいます。
- ベース裏面に付着したインクが固まると、次回使用したときに装置を破損する原因となります。必ず、ベースの表面 / 裏面の両方の清掃を行ってください。

**3****清掃したノズル洗浄ツールを袋に入れ保管する**

- ノズル洗浄ツールにホコリ等が付かないよう注意してください。

## インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ)

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的(1週間に1回程度)にインク排出路の洗浄をしてください。

**1** ローカルで **ST.MAIN** キーを押す

ステーション  
センタク : **キ**ャリッジ アウト

**2** **▲** **▼** を押して、**[ハイロセンジョウ]** を選ぶ

ステーション  
センタク : **ハ**イロ センシ ヨウ

**3** **ENTER** キーを押す

- ・廃インクタンクを確認し、状況に応じて廃インクを処分してください。

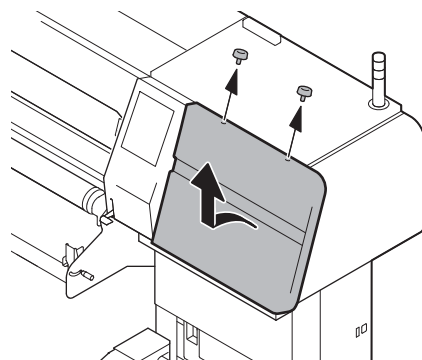
ハイ インク タンク ヲ カクニン  
シュウリョウ : ent

**4** **ENTER** キーを押す

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。
- ・空吸引動作（吸引を 10 秒、停止を 10 秒）を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

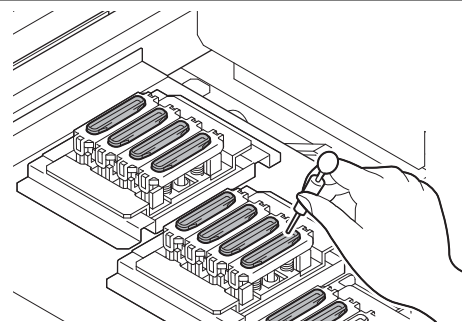
ハイロ センシ ヨウ  
シュウリョウ : ent

**5** メンテナンスカバー R を開ける



**6** スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- ・空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前で洗浄液を満たしてください。
- ・全てのキャップに対し、洗浄液を満たしてください。




**7** メンテナンスカバー R を閉める

4

お手入れ

8

ENTER キーを押す

- 30 秒間空吸引を実行した後、メディア選択画面に戻ります。  
( P.2-30)

シハ`ラク オマチクタ`サイ  
\*\*\*\*\*-----



メデ`ィア セット  
ロール < > リーフ



## 長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)

1週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路を清掃してください。その後、本機を保管してください。

<p><b>事前に確認 してください</b></p>	<p><b>【ニアエンド】、【インクエンド】は表示していませんか？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。</li> <li>・インクエンド等、未検出のインクパックに交換してください。</li> </ul>
--------------------------------	--



- ・本装置の制御の特性上、12時間以上電源を切った状態にすると、キャップをした状態であっても、次第にヘッドノズル面よりインクが出てきてしまう恐れがあります。ノズルからインクが出てきてしまった場合、同じヘッド内で隣り合うノズルとの間で、インクの色が混ざり合ってしまうことがあります。ノズル内でインクが混ざり合ってしまうと、ヘッド内の再充填が必要となり、多くのインクを捨ててしまうことになります。長期間使用しない場合でも、できる限り電源を切らないでください。

**1**

ローカルで **ST.MAIN** キーを押す

ステーション  
センタク : **キャリッジ** アウト

**2**

**▲ ▼** を押して、**【ホカンセンジョウ】** を選ぶ

ステーション  
センタク : **ホカン** センシ<sup>o</sup>ジョウ

**3**

**ENTER** キーを押す

- ・廃インクタンクを確認し、状況に応じて廃インクを処分してください。

ハイ インク タンク ヲ カクニン  
シュウリョウ : ent

**4**

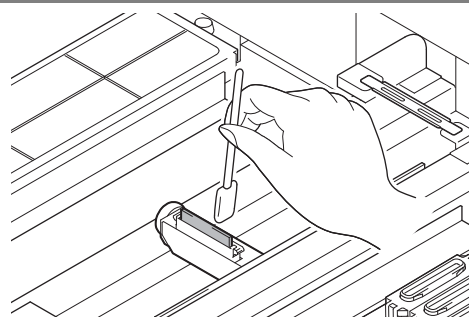
**ENTER** キーを押す

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

ワイパ<sup>o</sup> クリーニク<sup>o</sup>  
シュウリョウ : ent

**5**

メンテナンスカバー R を開け、ワイパを清掃する



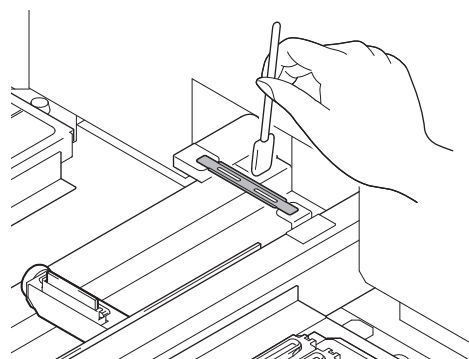
**6**

ワイパクリーナを清掃する

- ・ワイパクリーナに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



- ・ワイパクリーナのエッジで怪我をしないように十分気をつけてください。



**4**

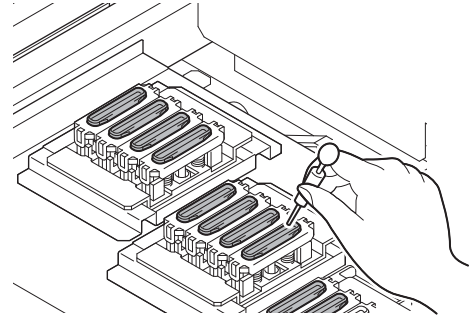
お  
手  
入  
れ

- 7** ワイパ下のスポンジを洗浄する
- (1) ワイパフレーム内のスポンジを取り出し水洗いする
  - (2) スポンジを乾燥させてから元の位置に戻す

- 8** **ENTER** キーを押す

センシ`ヨウエキ ヲ ミタス  
シュウリョウ : ent

- 9** スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす
- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



- 10** メンテナンスカバー R を閉め、**ENTER** キーを押す

ノス`ル センシ`ヨウ  
ホウチ シ`カン : 1min

- 11** **▲** **▼** を押して、洗浄液の放置時間を設定する
- 設定値：1～99分（1分単位）

ノス`ル センシ`ヨウ  
ホウチ シ`カン : 2min

- 12** **ENTER** キーを押す
- 手順 11 で設定した放置時間が終了すると、洗浄液の吸引とクリーニングを実行します。
  - クリーニングが終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

シハ`ラク オマチクタ`サイ  
\*\*\*\*\*-----

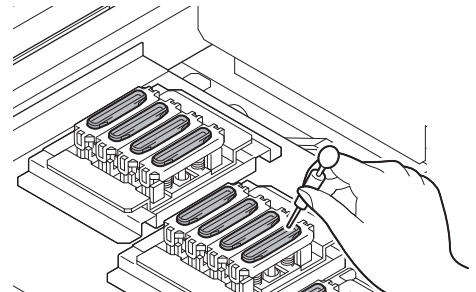


ホウチ チュウ  
00:01:59

- 13** 再度、ワイパとワイパクリーナを清掃し、**ENTER** キーを押す

ワイパ` クリーニク`  
シュウリョウ : ent

- 14** スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす
- 空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。
  - 全てのキャップに対し、洗浄液を満たしてください。



- 15** メンテナンスカバー R を閉め、**ENTER** キーを押す
- 30 秒間空吸引を実行した後、メディア選択画面に戻ります。  
(P.2-30)

シハ`ラク オマチクタ`サイ  
\*\*\*\*\*-----

# インクヘッド周辺の清掃

インクヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。

スライダ下部、インクヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、インクヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	・洗浄液ボトルキット A29(品番:SPC-0137)[別売品]
	・クリーンスティック(品番:SPC-0527)      ・手袋



- ・誤ってインクが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師の治療を受けてください。

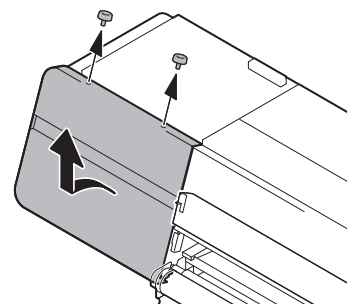
## 1

### メンテナンスメニューの【キャリッジ】を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して【メンテナンス】を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して【キャリッジ】を選び、**ENTER** キーを押す
- (4) **ENTER** キーを押す
  - ・キャリッジが、本機の左端まで移動します。

## 2

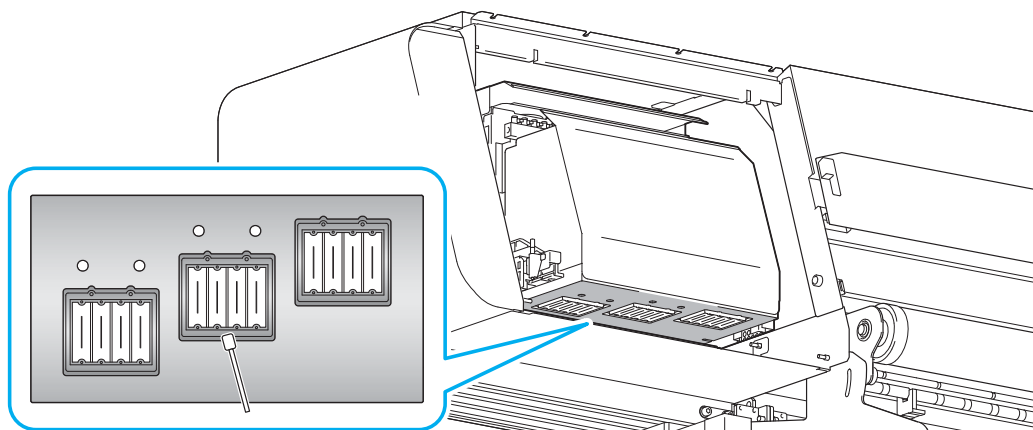
### メンテナンスカバー L を外す



## 3

### ヘッドの周辺に付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

- 重要!** ・ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



## 4

### 清掃が終了したら、メンテナンスカバー L を閉める

## 5

### **ENTER** キーを押す

- ・初期動作後、メディア選択画面に戻ります。(P.2-30)

シハ`ラク オマチクタ`サイ  
\*\*\*\*\*-----

# 4

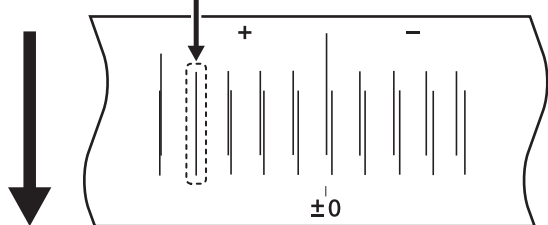
お  
手  
入  
れ

# ドット的位置がずれたら

ご使用になるメディアの厚みやヘッドの高さ、インクの種類が変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

## パターンプリント例

出力方向



プラス方向に 0 位置から 4 本目が、直線で表示されています。  
この場合のドット位置補正値は 4.0 です。

1

メディアをセットする (☞ P.2-6)

・パターンプリントをするには、幅 600mm 以上の大きさのメディアが必要です。

2

メンテナンスメニューの [ドットイチホセイ] を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ドットイチホセイ] を選び、**ENTER** キーを押す

3

**▲** **▼** を押して、補正をする解像度を選択する

・解像度：300dpi, 450dpi, 450dpiH, 600dpi, 600dpiH, 900dpi, 900dpiH, 1200dpi, 1200dpiH

ドットイチ ホセイ  
センチタク : 300 dpi

4

**ENTER** キーを押す

5

**▲** **▼** **◀** **▶** を押して、原点位置を設定する

6

**ENTER** キーを押す

7

**ENTER** キーを押して、パターンプリントを開始する

・複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン 1,2,3 と呼ぶ)

\*\* ドットイチ ホセイ \*\*  
\*\* プリント チュウ \*\*

8

**▲** **▼** を押して、見やすい位置に補正パターンを移動する



ドットイチ ホセイ  
パターン チェック [▲]/[▼]

9

**ENTER** キーを押す

・補正値の入力画面が表示されます。

10

  を押して、パターン1のドット位置を補正する


ドットイチ ホセイ	:	0.0
ハターン1	:	0.0

- 補正值：-40.0 ~ 40.0
- テストパターンを確認し、往路と復路が1本の直線になっている位置が補正值となります。
- 補正值が-40.0 ~ 40.0の間にならない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順2から操作をし直してください。

11

 キーを押す

12

手順10と同様にして、パターン2~のドット位置を補正し、 キーを押す

13

終了するとき、 キーを数回押す

# ノズル詰まりが復旧しない場合 (インク充填)

## インク充填を行う

「ヘッドクリーニングを実行する」(P.2-34)や「ヘッドノズルの洗浄」(P.4-12)をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、インク充填を行います。  
インク充填には次の3種類があります。ノズル詰まりの症状に合わせて選択してください。

設定値	概要
ソフト	「ヘッドクリーニングを実行する」(P.2-34)や「ヘッドノズルの洗浄」(P.4-12)をしても、ノズル詰まりが改善しない場合に選択します。
ノーマル	“ソフト”でインク充填をしてもノズル詰まりが解消されないときに選択します。 充填が終わったら、「充填の状況を確認する(充填チェック)」(P.4-38)で状況を確認してください。
ハード	“ノーマル”でインク充填をしてもノズル詰まりが解消されないときに選択します。 充填が終わったら、「充填の状況を確認する(充填チェック)」(P.4-38)で状況を確認してください。

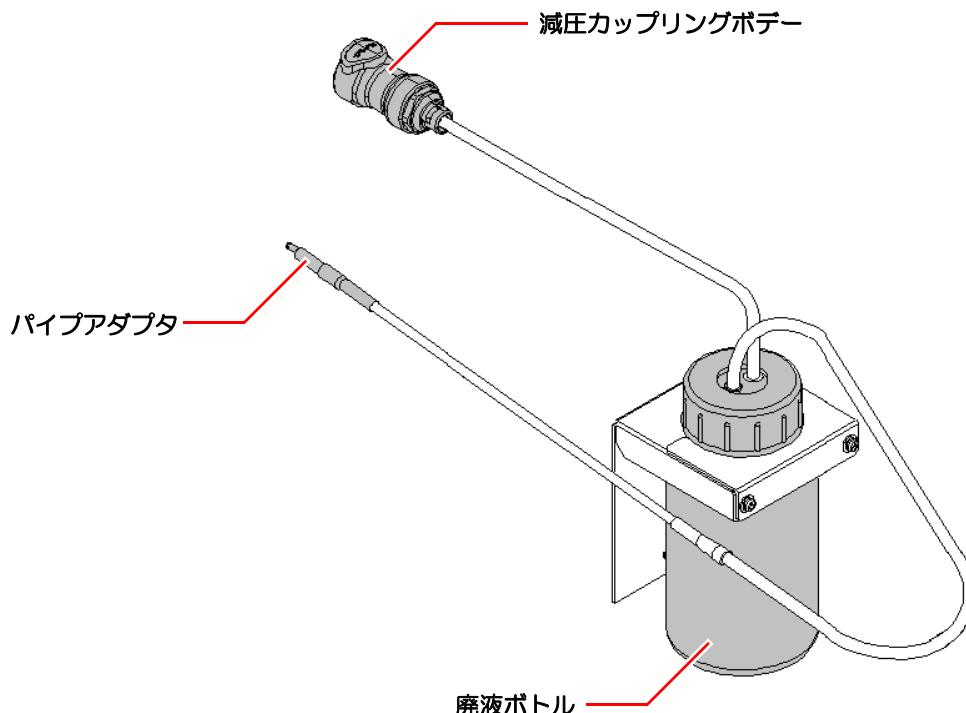


- 新しくインクを装填した場合、インク充填の操作をしなくても自動的にインク充填を行います。

インク充填(ノーマル/ハード)に必要な道具	・手袋	・インクポート排出治具
	・ウェス	・洗浄液ボトルキット A29(品番:SPC-0137)[別売品]

## インクポート排出治具について

インクポート排出治具は、インクポートの洗浄およびインク充填時に使用します。必ず、ボトルを空にしてからご使用ください。




## ● インク充填 “ソフト”

**1** メンテナンスメニューの[インクジュウテン]を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して[インクジュウテン]を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

**2** **▲** **▼** **◀** **▶** を押して、インク充填をするヘッドを選ぶ

インク ジュウテン カラー	: 12  -5678
------------------	--

- ヘッドの選択 : **◀** **▶** を押して選択  
 充填の実行 : **▲** **▼** を押して選択

・インク充填を行わない場合は、ディスプレイに“—”を表示します。

**3** **ENTER** キーを押す

インク ジュウテン タイプ°	: ソフト
-------------------	-------

**4** **ENTER** キーを押す

- ・自動的にインク充填を開始します。
- ・インク充填が終わると、右の表示に戻ります。

ジュウテン チュウ	00:00:00
-----------	----------



メンテナンス インク ジュウテン	<ENT>
---------------------	-------

**5** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## ● インク充填 “ ノーマル ”


### 1 メンテナンスメニューの [ インクジュウテン ] を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [ メンテナンス ] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ インクジュウテン ] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

### 2 **▲** **▼** **◀** **▶** を押して、インク充填をするヘッドを選ぶ

ヘッドの選択: **◀** **▶** を押して選択  
 充填の実行: **▲** **▼** を押して選択

・インク充填を行わない場合は、ディスプレイに “ - ” を表示します。

インク ジュウテン  
 カラー : 12  - 5678

### 3 **ENTER** キーを押す

インク ジュウテン  
 タイプ° : ソフト

### 4 **▲** **▼** を押して、“ ノーマル ” を選ぶ

インク ジュウテン  
 タイプ° : ノーマル

### 5 **ENTER** キーを 2 回押す

- ・自動的にインク充填を開始します。
- ・インク充填が終わると、右の画面を表示します。

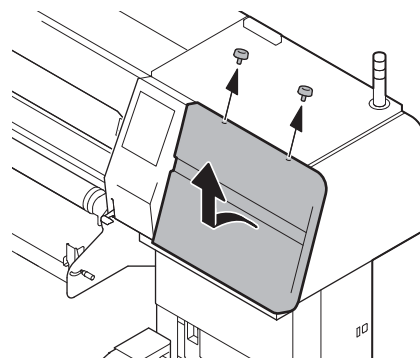
ジュウテン チュウ 1/2  
 00:00:00



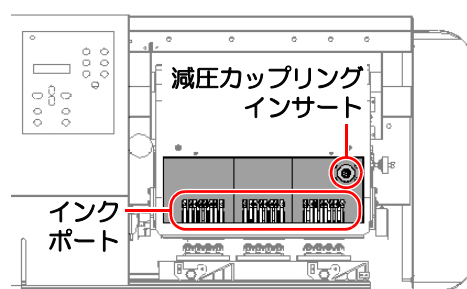
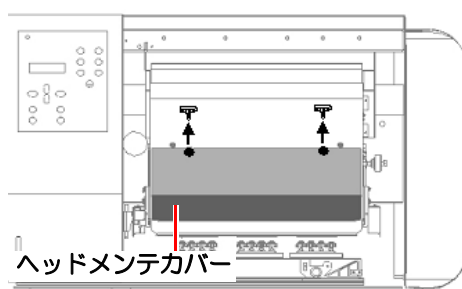
インクホ° ト ジュウテン  
 シュウリョウ : ent

### 6 メンテナンスカバー R を開け、ヘッドメンテカバーを取り外す

- (1) メンテナンスカバー R を開ける



- (2) ヘッドメンテカバーを取り外す



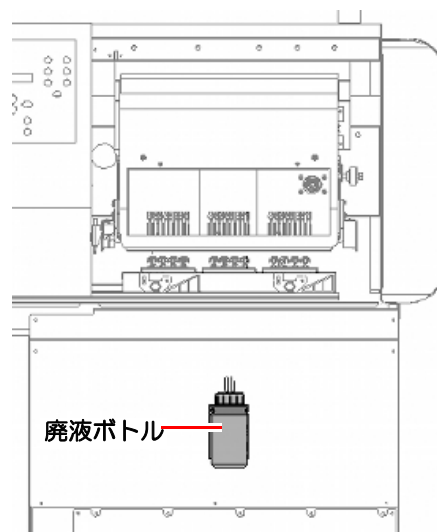


## 7 インクポート排出治具を取り付ける

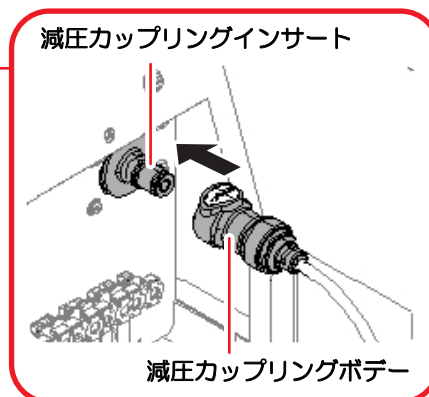
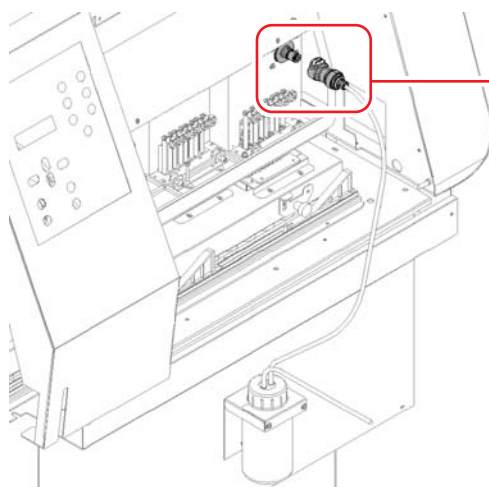
- Tx400 にインクポート排出治具を取り付けます。
- (1) インクポート排出治具の廃液ボトルを空にする
- (2) 廃液ボトルを右図の位置に貼り付ける
  - 廃液ボトルに付いているマグネットを使って、メンテナンスカバー R の下に廃液ボトルを貼り付けます。
  - 廃液ボトルを貼り付けるときは、地面に対して垂直になるようにしてください。



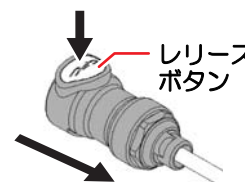
- 廃液ボトルが傾いた状態でインク交換を行うと、装置破損の原因となります。廃液ボトルは、必ず地面に対して垂直になるように貼り付けてください。



- (3) キャリッジ内部の右側にある減圧カップリングインサートに、インクポート排出治具の減圧カップリングボデーを差し込む
  - 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- 減圧カップリングボデーを差し込んだときに「カチッ」と音がしなかった場合は、リリースボタンを押してカップリングボデーを外し、再度音がするまで差し込んでください。
- 減圧カップリングボデーの接続が不完全なままインク排出作業を行うと、ヘッド内にエアが逆流して、ヘッドのインク充填不良が発生します。減圧カップリングボデーは「カチッ」音がするまで確実に接続してください。

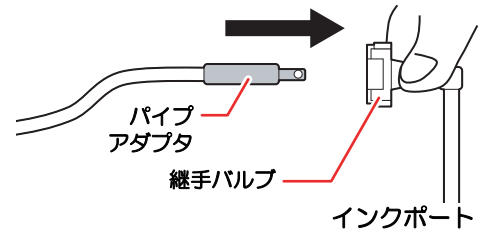


## 8 インクポート排出治具のパイプアダプタの汚れを落とす

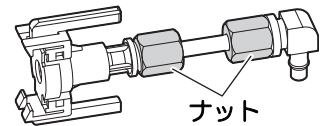
- 洗浄液で湿らせたウェスなどで、パイプアダプタの汚れを拭き取ってください。

9

インクポート排出治具のパイプアダプタを、インクポートの継ぎ手バルブに差し込む

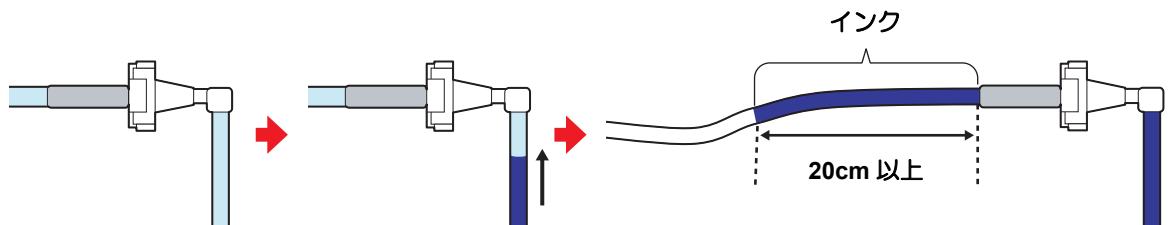


- パイプアダプタを抜き差しするときは、インクポートの継ぎ手バルブを指で押さえながら差し込んでください。インクポート継ぎ手バルブが破損し、インクが漏れ出す恐れがあります。
- 継ぎ手バルブのナットに緩みの無いことを確認してください。ナットが緩んでいるとインクポートに空気が混入し、正常に吐出できなくなります。



10

インク排出治具のチューブにインクが20cm以上出ていることを確認する



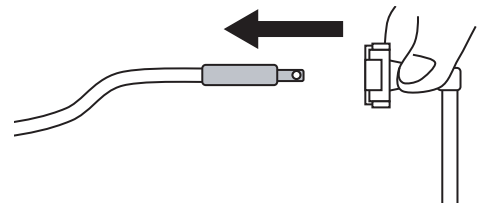
**重要!**

- パイプアダプタを差し込むと、インクポートからインクが流れ続けます。パイプアダプタを取り付けた状態で目を離したり、その場を離れたりしないでください。必要以上にインクを排出してしまいます。

11

パイプアダプタをインクポートの継ぎ手バルブから取り外す

- 取り外したパイプアダプタを洗浄液で湿らせたウェスなどで拭き、汚れを落とします。



**重要!**

- パイプアダプタを取り外したら、必ずメンテナンス洗浄液できれいに洗浄してください。アダプタにインクが付着したまま他のインクポートに取り付けると、インクの混色の原因となります。

12

洗浄液ボトルにパイプアダプタを入れ、インクポート排出治具のチューブを洗浄する

- 洗浄液ボトルにパイプアダプタを入れると、ボトル内の洗浄液が吸い上げられ、インクポート排出治具のチューブが洗浄されます。

**13** 廃液ボトルを確認する

・廃液がボトルに半分以上たまったら、次の手順でボトルを空にしてください。

**(1)** インクポート排出治具を取り外す

- ・減圧カップリングボデーのリリースボタンを押しながら、手前に引き抜きます。
- ・Tx400 に貼り付けている廃液ボトルを取り外してください。

**(2)** 廃液ボトルのキャップを取り外し、中の廃液を処分する**(3)** 廃液ボトルのキャップをする**(4)** Tx400 にインクポート排出治具を取り付ける

- ・手順 7 を参照して、インクポート排出治具を取り付けてください。



- ・廃液を処分するときは、必ずインクポート排出治具を本体から取り外してから作業を行ってください。
- ・廃液ボトルのキャップは、緩みがないようにしっかり締めてください。

**14** 選択した全てのインクポートに対して、手順 8 ~ 13 までを行う**15** インクポート排出治具を取り外す

- ・インクポート排出治具は必ず取り外してください。インクポート排出治具を取り付けたまま次の手順からの操作を行うと、装置破損の原因となります。

**16** ヘッドメンテカバーを取り付け、メンテナンスカバー R を閉める**17** **ENTER** キーを押す

- ・自動的にインク充填を開始します。
- ・インク充填が終わると、右の表示に戻ります。

シ`ユウテン チュウ 2 / 2  
00 : 00 : 00



メンテナンス  
インク シ`ユウテン <ENT>

**18** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## ● インク充填 “ハード”


### 1 メンテナンスメニューの[インクジュウテン]を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [インクジュウテン] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

### 2 **▲** **▼** **◀** **▶** を押して、インク充填をするヘッドを選ぶ

ヘッドの選択 : **◀** **▶** を押して選択  
 充填の実行 : **▲** **▼** を押して選択

・インク充填を行わない場合は、ディスプレイに “-” を表示します。

インク シュウテン  
 カラー : 12  -5678

### 3 **ENTER** キーを押す

インク シュウテン  
 タイプ° : ソフト

### 4 **▲** **▼** を押して、“ハード”を選ぶ

インク シュウテン  
 タイプ° : ハード°

### 5 **ENTER** キーを 2 回押す

- ・自動的にインク充填を開始します。
- ・インク充填が終わると、右の画面を表示します。

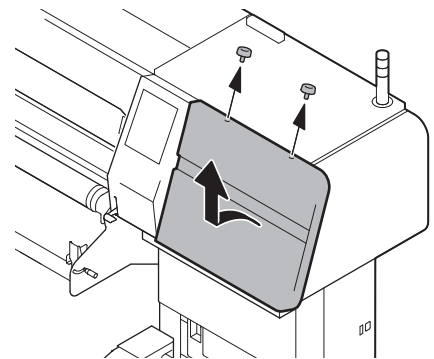
シュウテン チュウ 1/3  
 00:00:00



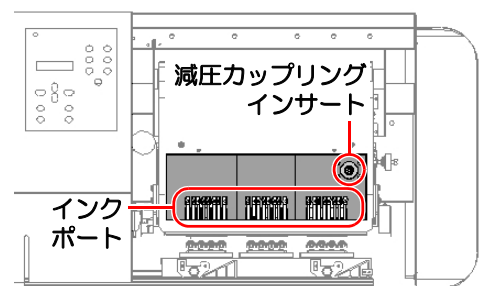
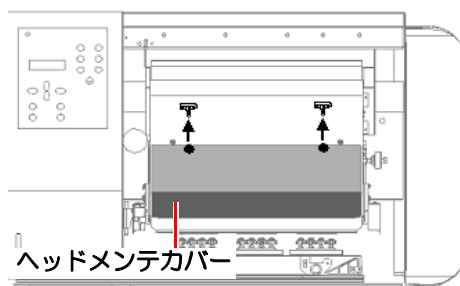
インクホ° ト シュウテン  
 シュウリョウ : ent

### 6 メンテナンスカバー R を開け、ヘッドメンテカバーを取り外す

- (1) メンテナンスカバー R を開ける



- (2) ヘッドメンテカバーを取り外す

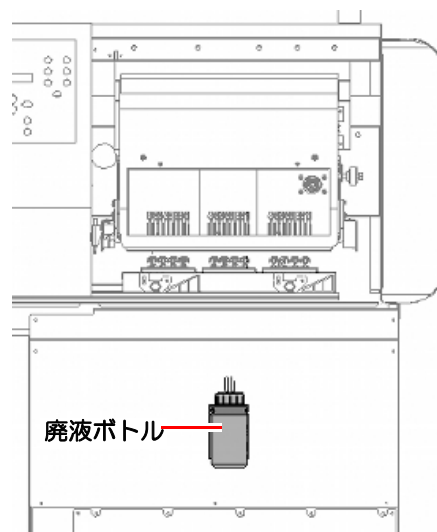


## 7 インクポート排出治具を取り付ける

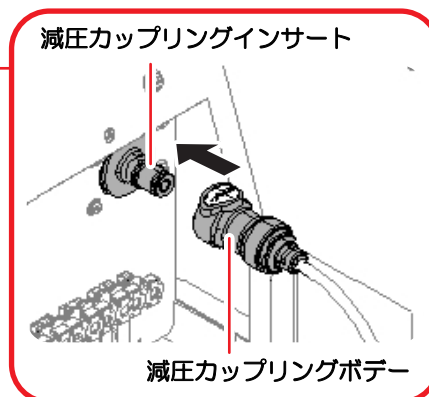
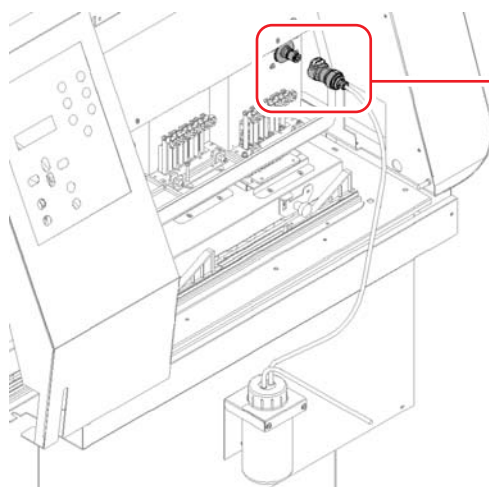
- Tx400 にインクポート排出治具を取り付けます。
- (1) インクポート排出治具の廃液ボトルを空にする
- (2) 廃液ボトルを右図の位置に貼り付ける
  - 廃液ボトルに付いているマグネットを使って、メンテナンスカバー R の下に廃液ボトルを貼り付けます。
  - 廃液ボトルを貼り付けるときは、地面に対して垂直になるようにしてください。



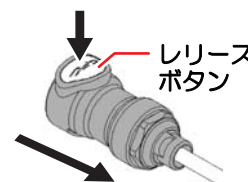
- 廃液ボトルが傾いた状態でインク交換を行うと、装置破損の原因となります。廃液ボトルは、必ず地面に対して垂直になるように貼り付けてください。



- (3) キャリッジ内部の右側にある減圧カップリングインサートに、インクポート排出治具の減圧カップリングボデーを差し込む
  - 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- 減圧カップリングボデーを差し込んだときに「カチッ」と音がしなかった場合は、リリースボタンを押してカップリングボデーを外し、再度音がするまで差し込んでください。
- 減圧カップリングボデーの接続が不完全なままでインク排出作業を行うと、ヘッド内にエアが逆流して、ヘッドのインク充填不良が発生します。減圧カップリングボデーは「カチッ」音がするまで確実に接続してください。

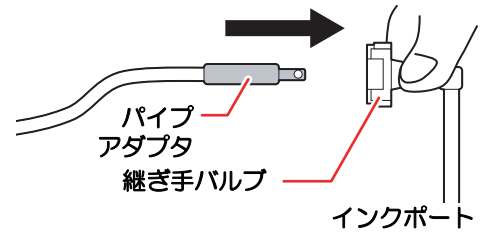


## 8 インクポート排出治具のパイプアダプタの汚れを落とす

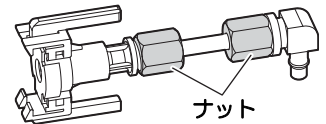
- 洗浄液で湿らせたウェスなどで、パイプアダプタの汚れを拭き取ってください。

9

インクポート排出治具のパイプアダプタを、インクポートの継ぎ手バルブに差し込む

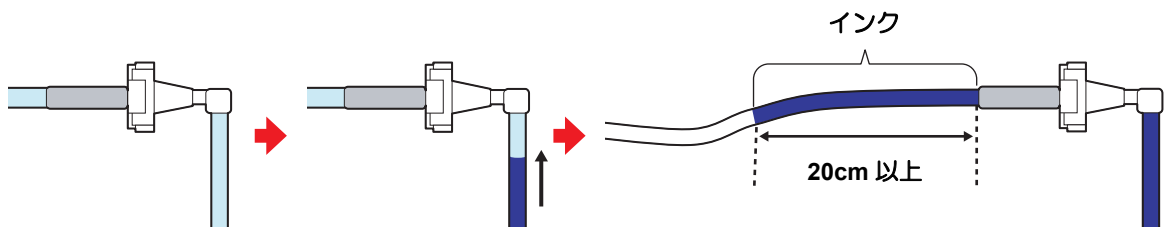


- パイプアダプタを抜き差しするときは、インクポートの継ぎ手バルブを指で押さえながら差し込んでください。インクポート継ぎ手バルブが破損し、インクが漏れ出す恐れがあります。
- 継ぎ手バルブのナットに緩みの無いことを確認してください。ナットが緩んでいるとインクポートに空気が混入し、正常に吐出できなくなります。



10

インク排出治具のチューブにインクが20cm以上出ていることを確認する



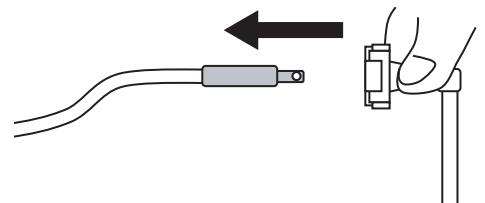
**重要!**

- パイプアダプタを差し込むと、インクポートからインクが流れ続けます。パイプアダプタを取り付けた状態で目を離したり、その場を離れたりしないでください。必要以上にインクを排出してしまいます。

11

パイプアダプタをインクポートの継ぎ手バルブから取り外す

- 取り外したパイプアダプタを洗浄液で湿らせたウェスなどで拭き、汚れを落とします。



**重要!**

- パイプアダプタを取り外したら、必ずメンテナンス洗浄液できれいに洗浄してください。アダプタにインクが付着したまま他のインクポートに取り付けると、インクの混色の原因となります。

12

洗浄液ボトルにパイプアダプタを入れ、インクポート排出治具のチューブを洗浄する

- 洗浄液ボトルにパイプアダプタを入れると、ボトル内の洗浄液が吸い上げられ、インクポート排出治具のチューブが洗浄されます。

**13** 廃液ボトルを確認する

・廃液がボトルに半分以上たまったら、次の手順でボトルを空にしてください。

**(1)** インクポート排出治具を取り外す

- ・減圧カップリングボデーのリリースボタンを押しながら、手前に引き抜きます。
- ・Tx400 に貼り付けている廃液ボトルを取り外してください。

**(2)** 廃液ボトルのキャップを取り外し、中の廃液を処分する**(3)** 廃液ボトルのキャップをする**(4)** Tx400 にインクポート排出治具を取り付ける

- ・手順 7 を参照して、インクポート排出治具を取り付けてください。



- ・廃液を処分するときは、必ずインクポート排出治具を本体から取り外してから作業を行ってください。
- ・廃液ボトルのキャップは、緩みがないようにしっかり締めてください。

**14** 選択した全てのインクポートに対して、手順 8 ～ 13 までを行う**15** インクポート排出治具を取り外す

- ・インクポート排出治具は必ず取り外してください。インクポート排出治具を取り付けたまま次の手順からの操作を行うと、装置破損の原因となります。

**16** ヘッドメンテカバーを取り付け、メンテナンスカバー R を閉める**17** **ENTER** キーを押す

- ・自動的にインク充填を開始します。
- ・インク充填が終わると、右の表示に戻ります。

シ`ユウテン チュウ 2 / 3  
00 : 00 : 00



インクホ`ート シ`ユウテン  
シユウリョウ : e n t

**18** 再度、手順 6 ～ 17 までの作業を行う**19** 終了するとき、**END** キーを数回押す

## 充填の状況を確認する (充填チェック)

インクが正常に充填されたかを確認するパターンをプリントします。

### 1

メンテナンスメニューの [ シュウテンチェック ] を選ぶ


- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [ メンテナンス ] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ シュウテンチェック ] を選ぶ
- (4) **ENTER** キーを押す

### 2

**▲** **▼** **◀** **▶** を押して、パターンをプリントするヘッドを選ぶ

ヘッドの選択: **◀** **▶** を押して選択  
 プリントの実行: **▲** **▼** を押して選択

・パターンプリントを行わない場合は、ディスプレイに “ - ” を表示します。

シュウテン チェック  
 カラー : 12  - 5678

### 3

**ENTER** キーを押す

シュウテン チェック  
 ケンテン セツテイ : ent

### 4

**▲** **▼** **◀** **▶** を押して、原点位置を設定する

### 5

**ENTER** キーを押す

シュウテン チェック  
 プリント : Y= \*\*\*\*mm

### 6

**▲** **▼** を押して、プリント幅を入力する

・プリント幅はできるだけ大きくしてください。プリント幅が小さいと十分に確認できない可能性があります。

シュウテン チェック  
 プリント : Y= 1000mm

### 7

**ENTER** キーを押す

・パターンプリントを行います。

- ・プリントが終わると、右の画面を表示します。
- ・パターン途中からノズル抜けがひどくなる場合には、インク充填の “ ノーマル ” または “ ハード ” を実行してください。  
 (☞ P.4-30、P.4-34)

\*\* シュウテン チェック \*\*  
 \*\* プリント チュウ \*\*



メンテナンス  
 シュウテン チェック <ENT>

### 8

終了するとき、**END** キーを数回押す





# 定期制御を設定する

電源オンの状態での定期的な各種動作を実施することで、インク詰まりなどのトラブルを防止します ( 定期制御 )。定期制御には、以下の項目があります。

設定項目	設定値	概要
フラッシング	ON	一定時間が経過すると、自動的にフラッシング動作を行いたいとき、“ON” に設定し、フラッシング動作を行う間隔を設定します。
	OFF	自動的にフラッシング動作は行いません。
クリーニング	ON	一定時間が経過すると、自動的にクリーニング動作を行いたいとき、“ON” に設定し、クリーニング動作を行う間隔を設定します。
	OFF	自動的にクリーニング動作は行いません。

## フラッシング動作を設定する

ノズル詰まりの防止のため、定期的にフラッシング動作を行うことができます。

### 1 メンテナンスメニューの [ テイキセイギョ ] を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [ メンテナンス ] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ テイキセイギョ ] を選ぶ

### 2 **ENTER** キーを 2 回押す

テイキ セイキ`ヨ  
フラッシング` : **ON**

### 3 **▲** **▼** を押して、“ON” を選ぶ

- ・“OFF” を選んだ場合は、手順 6 へ進んでください。

### 4 **ENTER** キーを押す

テイキ フラッシング`  
シ`ッコウ カンカク = 0h **1**m

### 5 フラッシング動作の実行間隔(0時間01分~24時間00分)を選ぶ

テイキ フラッシング`  
シ`ッコウ カンカク = 1h **0**m

- カーソルの移動 : **◀** **▶** を押して選択  
時分の設定 : **▲** **▼** を押して選択

### 6 **ENTER** キーを押す

テイキ セイキ`ヨ  
フラッシング` <ENT>

### 7 終了するとき、**END** キーを数回押す

## クリーニング動作を設定する

ノズル詰まりの防止のため、定期的にクリーニング動作を行うことができます。

### 1

メンテナンスメニューの[テイキセイギョ]を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [テイキセイギョ] を選ぶ

### 2

**ENTER** キーを押す

テイキ セイキ`ヨ  
フラッシング` <ENT>

### 3

**▲** **▼** を押して、[クリーニング] を選ぶ

テイキ セイキ`ヨ  
クリーニング` <ENT>

### 4

**ENTER** キーを押す

テイキ セイキ`ヨ  
クリーニング` : **OFF**

### 5

**▲** **▼** を押して、“ON” を選ぶ

・“OFF” を選んだ場合は、手順 8 へ進んでください。

### 6

**ENTER** キーを押す

テイキ クリーニング`  
シ`ツコウ カンカク = **0**h 1m

### 7

クリーニング動作の実行間隔(0時間01分~24時間00分)を選ぶ

カーソルの移動 : **◀** **▶** を押して選択  
時分の設定 : **▲** **▼** を押して選択

テイキ クリーニング`  
シ`ツコウ カンカク = 8h **0**m

### 8

**ENTER** キーを押す

テイキ セイキ`ヨ  
クリーニング` <ENT>

### 9

終了するとき、**END** キーを数回押す

# ノズル抜けが直らないとき

特定のノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルを代わりに使用（ノズルリカバリ）して作図することができます。

ノズルリカバリでは、次の各項目を設定できます。

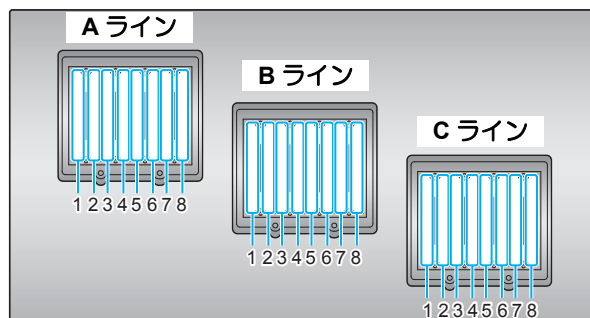
設定項目	概要
トウロク	リカバリするノズルを設定 / 削除できます。確認パターンをプリントして、ノズルリカバリを指定してください。
リカバリ	ノズルリカバリ機能を、ノズル列単位で有効 / 無効に設定できます。
カクニン	ノズルリカバリの有効 / 無効を解像度単位で確認することができます。確認結果は、ディスプレイに表示されます。
リスト	ノズルリカバリを設定したノズルと、リカバリが可能な条件を確認できます。

## ノズルリカバリ機能の設定 / 削除を登録をする

リカバリするノズルを設定 / 削除できます。確認パターンをプリントして、ノズルリカバリを指定してください。

### ノズルリカバリ機能の登録

本機のヘッドは右のように構成されています。ノズルリカバリ機能では、Aライン、Bライン、Cラインそれぞれのノズル列（1～8）を指定して、リカバリの設定をすることができます。



#### 1 メンテナンスメニューの【ノズルリカバリ】を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して【メンテナンス】を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して【ノズルリカバリ】を選ぶ

#### 2 **ENTER** キーを2回押す

ノズルリカバリ トウロク  
クリア< >フ°プリント

#### 3 **▶** を押して“プリント”を選ぶ

- ・プリントを選ぶと、自動的に原点設定画面に移行します。

ノズルリカバリ トウロク  
ケンテン セツテイ :ent

#### 4 **▲** **▼** **◀** **▶** を押して原点位置を選ぶ

#### 5 **ENTER** キーを押す

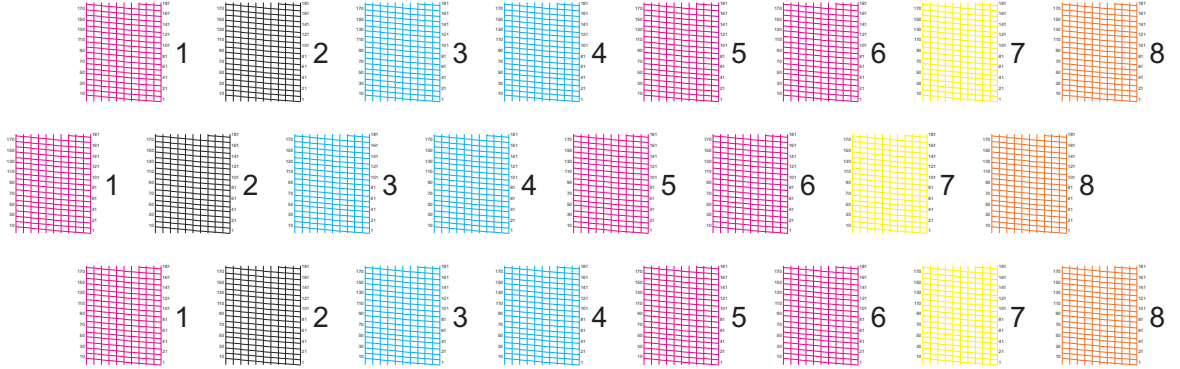
ノズルリカバリ トウロク  
プリント :ent

# 6

**ENTER** キーを押す

・プリントが始まります。

ノズルパターン



\*\* ノズル リカバリ \*\*  
\*\* プリント チュウ \*\*

# 7

**▲** **▼** を押してメディアをフィードする

・プリントしたパターンを確認できる位置まで、メディアをフィードしてください。

ノズルリカバリ トウロク  
パターン チェック [^]/[v]

# 8

**ENTER** キーを押す

・ノズル選択画面が表示されます。

ノズルリカバリ トウロク  
ノズル センタク :LineA-1

# 9

**▲** **▼** **◀** **▶** を押して、ノズルリカバリ機能を登録するノズル列を選ぶ

・**◀** **▶** : ヘッド (A ライン、B ライン、C ライン) を選択  
・**▲** **▼** : ノズル列 (1 ~ 8) を選択

ノズルリカバリ トウロク  
ノズル センタク :LineA-1

# 10

**ENTER** キーを押す

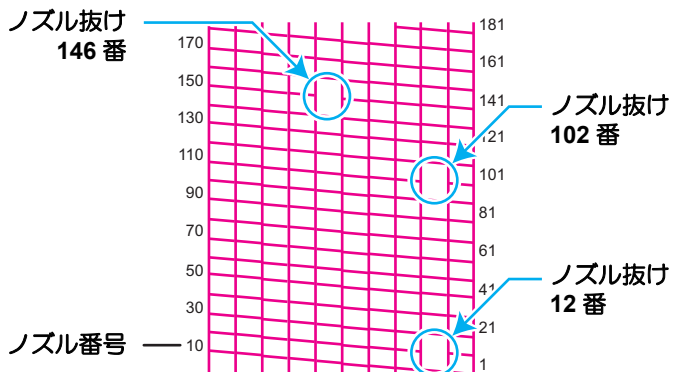
ノズルリカバリ トウロク  
LineA-1 NG1:OFF

# 11

**▲** **▼** を押して、ノズルリカバリ機能を有効にするノズル番号を選ぶ

リカバリノズル登録例

Example of recovery nozzle registration



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	12	ノズルリカバリする
2	102	ノズルリカバリする
3	146	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

12

〔ENTER〕キーを押す

- ・次のノズル番号登録画面が表示されます。

ノズルリカバリ トウロク
LineA-1 NG2:OFF

13

手順 11 ～ 12 の操作をして、NG5 まで登録する

- ・ノズルリカバリ機能を有効にするノズルがない場合は、“OFF”を選んでください。
- ・すべてのノズル番号の登録が終わると、手順 8 の画面が表示されます。手順 9 からの操作をして、他のノズル列の登録を行ってください。

14

終了するとき、〔END〕キーを数回押す

重要!

- ・1ノズル列あたり5個までノズルを登録できます。
- ・本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
- ・プリントモードの最低パス数では、ノズルリカバリ機能は無効になります。

## ノズルリカバリ機能の削除

1

メンテナンスメニューの〔ノズルリカバリ〕を選ぶ

- (1) 〔FUNCTION〕キーを押す
- (2) 〔▲〕〔▼〕を押して〔メンテナンス〕を選び、〔ENTER〕キーを押す
- (3) 〔▲〕〔▼〕を押して〔ノズルリカバリ〕を選ぶ

2

〔ENTER〕キーを2回押す

ノズルリカバリ トウロク
クリア< >プリント

3

〔◀〕を押して“クリア”を選ぶ

ノズルリカバリ トウロク
クリア : ALL

4

〔▲〕〔▼〕〔◀〕〔▶〕を押して、設定を削除するノズル列を選ぶ

ノズルリカバリ トウロク
クリア : LineA-1

- ・〔◀〕〔▶〕 : ヘッド (Aライン、Bライン、Cライン) を選択
- ・〔▲〕〔▼〕 : ノズル列 (1～8) を選択
- ・“ALL”を選択すると、すべてのラインのノズル列に設定した内容を削除します。

5

〔ENTER〕キーを押す

- ・次のノズル列の選択画面が表示されます。手順 6 の操作をして、設定を削除するノズル列を選択します。

6

終了するとき、〔END〕キーを数回押す

4

お  
手  
入  
れ

## ノズルリカバリ機能を列単位で設定する

ノズルリカバリ機能を列単位で設定することができます。

1

メンテナンスメニューの[ノズルリカバリ]を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して[ノズルリカバリ]を選ぶ

2

**ENTER** キーを押す

ノズル リカバリ  
: トウロク

3

**▲** **▼** を押して“リカバリ”を選ぶ

ノズル リカバリ  
: リカバリ

4

**ENTER** キーを押す

ノズル リカバリ  
リカバリ : 12-45-78

5

**▲** **▼** **◀** **▶** を押してノズル列ごとの設定を選び

ノズル リカバリ  
リカバリ : 1--45-78

- (1) **◀** **▶** を押してノズル列を選択する
- (2) **▲** **▼** を押して ON(ヘッド番号を表示)/OFF(“-”を表示)を選択する

6

**ENTER** キーを押す

7

終了するとき、**END** キーを数回押す

## ノズルリカバリ機能の有効 / 無効を確認する

ノズルリカバリ機能の設定内容をディスプレイで確認できます。ディスプレイには、ノズルリカバリの有効 / 無効が解像度毎で表示されます。

## 1 メンテナンスメニューの[ノズルリカバリ]を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ

2 **ENTER** キーを押す

ノズル リカバリ  
: トウロク

3 **▲** **▼** を押して “カクニン” を選ぶ

ノズル リカバリ  
: カクニン

4 **ENTER** キーを押す

ノズルリカバリ カクニン  
DPI : 1200x1200

5 **▲** **▼** を押して解像度を選ぶ

ノズルリカバリ カクニン  
DPI : 600x 600

6 **ENTER** キーを押す

リカバリ ユウコウ : X234\_67X  
16PHi フカ : 12\_\_6\_\_

7 **▲** **▼** を押してパスを選ぶ

ノズルリカバリ機能の登録で  
設定した内容を表示  
数字 : リカバリ有効  
X : リカバリ無効  
\_ : 設定ナシ

リカバリ ユウコウ : X234\_67X  
8pHi フカ : 12\_\_6\_\_

パス数によるリカバリの可 / 不可を表示  
数字 : リカバリ可能  
\_ : リカバリ無効  
設定ナシ

8 終了するとき、**END** キーを数回押す

## ノズルリカバリの設定リストをプリントする

ノズルリカバリを設定したノズルと、リカバリが可能な条件を確認できます。

- 1** メンテナンスメニューの[ノズルリカバリ]を選ぶ

(1) **FUNCTION** キーを押す  
 (2) **▲** **▼** を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER** キーを押す  
 (3) **▲** **▼** を押して[ノズルリカバリ]を選ぶ

---

- 2** **ENTER** キーを押す

ノズル リカバリ : トウロク

---

- 3** **▲** **▼** を押して“リスト”を選ぶ

ノズル リカバリ : リスト

---

- 4** **ENTER** キーを押す

ノズルリカバリ リスト  
 セッテイ > カクニン

---

- 5** **◀** **▶** を押してプリントするリストを選ぶ  
 ・リストを選ぶと、自動的に原点設定画面に移行します。

ノズルリカバリ リスト  
 ケンテン セッテイ : ent

---

- 6** **▲** **▼** **◀** **▶** を押して原点位置を選ぶ

---

- 7** **ENTER** キーを押す

ノズルリカバリ リスト  
 プリント : ent

---

- 8** **ENTER** キーを押す  
 ・プリントが始まります。

\*\* ノズル リカバリ \*\*  
 \*\* プリント チュウ \*\*



# 廃インクタンクがいっぱいになったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは廃インクタンクに溜まります。廃インクタンクがいっぱいになったら、廃インクタンク内の廃インクを処分してください。



- 予備の廃インクタンクをお求めの際は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- あらかじめ、廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。

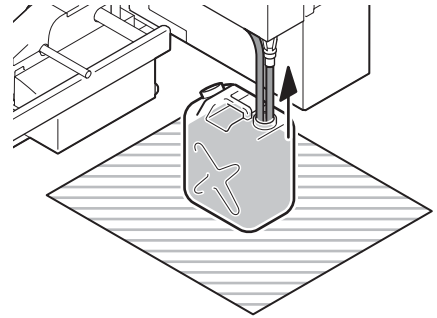


- 廃インクを処分するときは、必ず付属の手袋を着用して作業を行ってください。
- インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。
- インク排出中の場合は、排出が終了してから廃インクの処分をしてください。

1

## 廃インクタンクからホースを引き抜く

- ホースを引き出すときに廃インクが飛ばないように、ホースの口をウェスなどで押さえながらゆっくり引き出してください。
- 廃インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから作業を行うことをおすすめします。

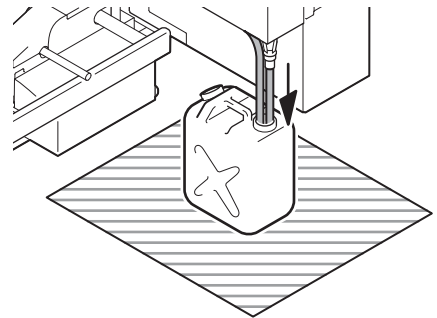


2

## 廃インクを別のポリエチレンタンクに移す

3

## 空にした廃インクタンクを本機にセットする



**重要!**

- ポリエチレンタンクに移した廃インクは、地域の条例に従って処分してください。

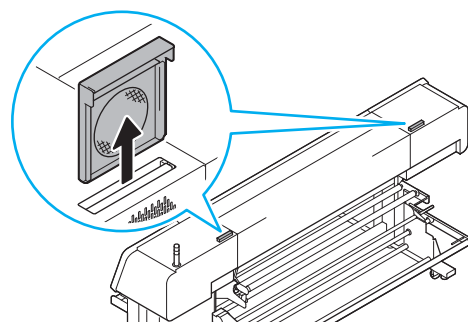
4

お  
手  
入  
れ

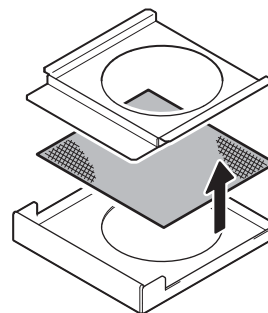
# ミストファンフィルタのクリーニング

ミストファンフィルタは毎日クリーニングしてください。

- 1** ミストファンフィルタユニットを引き抜く

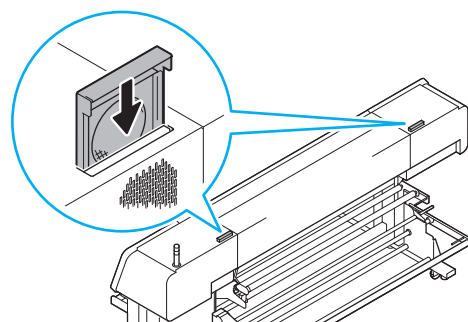


- 2** ミストファンフィルタを取り出す



- 3** ミストファンフィルタをクリーニングする  
•取り出したミストファンフィルタを水洗いし、乾燥させます。

- 4** ミストファンフィルタユニットを元の状態に戻す



- 5** ミストファンフィルタの使用カウンタをクリアする  
•「ミストファンフィルタの使用カウンタをクリアする」(☞ P.3-31)を参照して、使用カウンタをクリアしてください。

# 負圧異常が発生したら

使用環境や経年変化により、本機で管理している圧力が制御範囲を超えてしまう場合があります。圧力の異常によるエラーには、異常の程度により2種類の表示があります。

エラー表示		概要
(1)*1	!ファツ チョウセイ	圧力が制御範囲を超えそうなときに表示します。左の画面を表示中は、圧力が制御範囲内にあるため、印刷やクリーニングなどの動作は通常通り行えます。しかし、そのまま放置していると制御範囲を超えてしまい、(2)の画面が表示されます。
(2)	!ファツ イシ ヨウ (**)	圧力が制御範囲を超えました。印刷やクリーニングなどの動作はできなくなります。

\*1. ファームウェアのバージョン 1.40 以降で表示されます。

- 重要!**
- エラー表示 (1) を表示したら、速やかに次の手順で圧力を調整し、正常な値に戻してください。
  - 負圧調整はプリントの一時停止中でも調整できます。

## 1 メンテナンスメニューの【ファツチョウセイ】を選ぶ

- (1) **FUNCTION** キーを押す
- (2) **▲** **▼** を押して【メンテナンス】を選び、**ENTER** キーを押す
- (3) **▲** **▼** を押して【ファツチョウセイ】を選ぶ

## 2 **ENTER** キーを押す

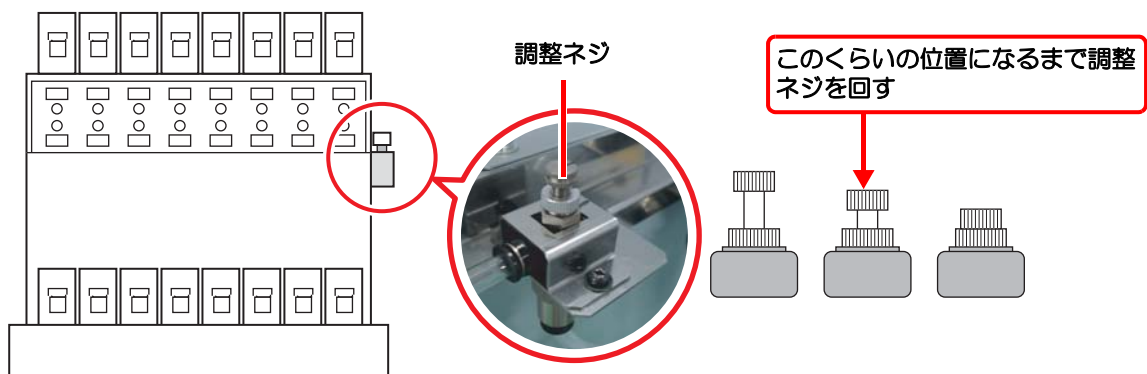
ファツ チョウセイ  
カシ : ent

## 3 **ENTER** キーを押す

スロトル ハルフ カイホウ  
シュウリョウ : ent

## 4 スロトルバルブの調整ネジを回し、空気が流れるように開放する

- スロトルバルブは、インク供給ユニットの右側にあります。スロトルバルブの調整ネジが中間地点に来るまで回してください。



## 5 **ENTER** キーを押す

- センサの調整が始まります。

\*\* センサ チョウセイ チュウ \*\*  
シハラクオマチクタサイ

# 6

スロットルバルブ調整ネジを回して、圧力が **-3.40kPa** になるように調整する

スロットル バルブ ヲ チョウセイ  
アツリヨク = -3.40kPa

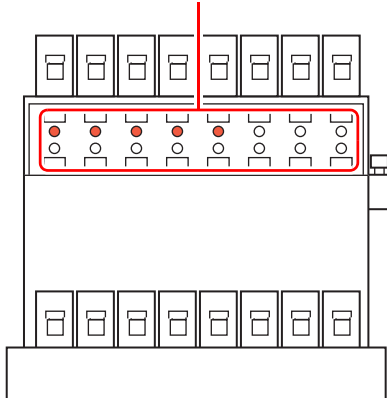
• ±0.1 ~ 0.2kPa の範囲で変動するため、中間値が目標の圧力になるように調整してください。



• 圧力はディスプレイ表示以外にも、ブザーとインクスロットルランプでお知らせします。

## インクスロットルランプ

負圧調整中は圧力値の目安を表示します。



各圧力値でのランプとブザーの状態

	圧力	インクスロットルランプ	ブザー
高い	~ -2.75	●○○○○○○○ ○○○○○○○○○	鳴動
	-2.76 ~ -2.85	●●○○○○○○○ ○○○○○○○○○	
	-2.86 ~ -2.95	●●●○○○○○○○ ○○○○○○○○○	
	-2.96 ~ -3.05	●●●●○○○○○○○ ○○○○○○○○○	
	-3.06 ~ -3.15	●●●●●○○○○○ ○○○○○○○○○	
	-3.16 ~ -3.25	●●●●●●○○○○○ ○○○○○○○○○	
	-3.26 ~ -3.35	●●●●●●●○○○ ○○○○○○○○○	停止
適正值	-3.36 ~ -3.45	●●●●●●●●●● ○○○○○○○○○	停止
低い	-3.46 ~ -3.55	●●●●●●●●●● ○○○○○○○○○	停止
	-3.56 ~ -3.65	●●●●●●●●●● ●●○○○○○○○	鳴動
	-3.66 ~ -3.75	●●●●●●●●●● ●●●○○○○○○○	
	-3.76 ~ -3.85	●●●●●●●●●● ●●●●○○○○○○○	
	-3.86 ~ -3.95	●●●●●●●●●● ●●●●●○○○○○	
	-3.96 ~ -4.05	●●●●●●●●●● ●●●●●●○○○○○	
	-4.06 ~ -4.15	●●●●●●●●●● ●●●●●●●○○○	
-4.16 ~	●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●		

# 7

**ENTER** キーを押す

• エラーが解除され、負圧制御が始まります。

# 第5章 困ったときは



## この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

故障?と思う前に.....	5-2
画質不良が発生したときは .....	5-3
2L インクパックやインク IC に異常が発生したら .....	5-4
メッセージを表示するトラブル .....	5-6
ワーニングメッセージ .....	5-6
エラーメッセージ .....	5-8

# 故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電源ケーブルを確実に接続していない	電源ケーブルを本装置と電源コンセントに確実に接続する。
	電源が入っていない	電源を入れる。
プリントできない	インターフェースケーブルを確実に接続していない	インターフェースケーブルを確実に接続する。
	ご使用のインターフェースケーブルが合っていない	USB2.0 Hi-Speed に対応したケーブルを使用する。
	ディスプレイにエラーメッセージを表示している	P.5-5 を参照し、エラーを取り除く。
	ホストコンピュータ側の設定で、機種名等の設定が違っている	ホストコンピュータ側の設定を確認する。
	USBドライバをインストールしていない	付属のUSBドライバをインストールする。
	リモートになっていない	ローカルで (REMOTE) を押して、リモートに切り替える。
布が斜行する 布にシワが発生する 布が汚れる	使用するインクにあった前処理済みの布を使用していない	インクに合った前処理済みの布を使用する。
	布にシワが入っていたり、左右端が折れ曲がっている	シワが入っている布や、左右端が折れ曲がっている布は使用しない。
	水分で伸縮しやすい布を使用している	濡れによる伸縮の激しい布やストレッチ素材の布は使用しない。
	ストレッチ素材の布を使用している	(伸縮しにくい前処理済みの布をお使いください)
	ロールメディア幅端面の巻ズレが大きい	巻ズレの大きなロールメディアは使用しない。
	使用するメディアに合ったメディア経路になっていない	メディアに合った経路にセットし直す。☞ P.2-17
	テンションバーのウェイトが使用するメディアに合っていない	テンションバーのウェイトを調整する。☞ P.2-23
ミストが大量に発生する	裏抜けしたインクが浮遊している	布押さえを使用してください。 ☞ P.2-21「ロールメディアをセットする」手順 21 メディア幅を超えてプリントする場合も、布押さえをできるだけメディアに近づけて使用してください。
		インク受けスパーサをお使いください。☞ P.2-8
	ヘッド高さが高い	ヘッド高さを 3mm 以内にしてください。☞ P.2-28
	ミストファンフィルタの吸引が悪い	ミストファンフィルタのクリーニングを行ってください。☞ P.4-48

## 画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現 象	対処方法
白スジ/カスレが発生する (ヘッド移動方向)	(1) ヘッドクリーニングを行ってください。☞ P.2-34 (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。☞ P.4-7 (3) 「メディア補正」機能を実行してください。☞ P.3-4 (4) RIP の作図モードを変更してください。☞ P.3-9
往復印字でズレが発生する	(1) 「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.4-26
色ごとにインクが重ならない	(1) 「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.4-26 (2) ヘッド高さが高すぎます。3mm 以内にして使用してください。 ☞ P.2-28
斜めの濃淡縞 (モアレ縞) が発生する	(1) 「メディア補正」機能を実行してください。☞ P.3-4 (2) 「モアレ軽減」機能を実行してください。☞ P.3-21

## 2L インクパックやインク IC に異常が発生したら

2L インクパックやインク IC に異常が発生したら、ワーニングメッセージを表示します。プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。速やかに新しいインクパックに交換してください。

- 重要!**
- ・異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。
  - ・インクスロットは、2L インクパックを抜いた状態で放置しないでください。コネクタに付着したインクが凝固し、インクを供給できなくなります。

## 2L インクパック / インク IC 異常の詳細を表示する

次の操作をして、カートリッジ異常の内容を確認できます。(P.5-5)

1

ローカルで、**ENTER** キーを押す

エラー ショウホウ  
エラー ヒョウシ [v] キー

2

**▼** キーを押して発生している異常を順番に表示させる

- ・**END** キーを押すと、ローカルに戻ります。

複数のワーニングがある場合、反転してお知らせ

インク パック  
1 2 3 4 5 6 7 8 ABCDEFGH

## インク漏れの確認方法

インクパックのコネクタ異常などの原因でインク漏れが発生すると、インク供給ユニット内部のトレイにインクが溜まります。(ディスプレイに ERROR142 インクモレを表示)  
ディスプレイに“インクモレ”が表示されたら、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。また、次のようにしてインクが漏れを確認してください。

1

インク供給ユニット左側面にある点検窓のフタを開く

- (1) ツマミネジを緩める
- (2) 点検窓のフタを回転させる

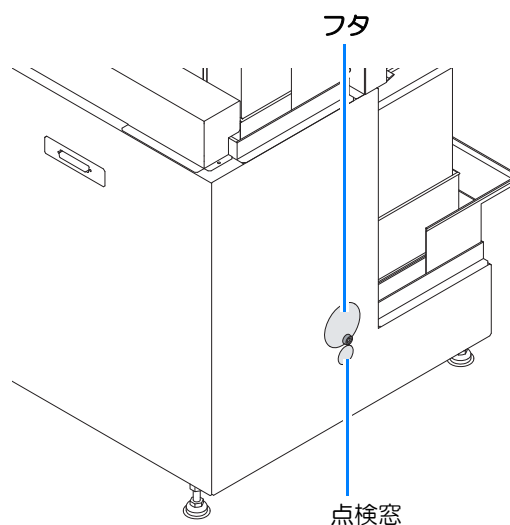
2

インク漏れを確認する

- ・インク供給ユニット内部にあるトレイを確認します。
- ・インクが漏れていると、トレイ上にインク溜まりが確認できます。
- ・インク供給ユニット内部が暗くて確認できない場合は、懐中電灯等の照明を使って確認してください。

3

セットしているインクを全て外し、サービスまたは販売店にサービスコールをする





## メッセージと対処方法

表示	原因	対処方法
!シ`ユウテン	インクが充填されていない。	弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
!インク エント` 1 2 3 4 5 6 7 8	インクがなくなった。	表示しているカラー番号に対応した 2L インクパックを交換してください。(P.1-19)
!インク ニア エント` 1 2 3 4 5 6 7 8	インクの残量が少なくなった。	
!インク ハ`ック 1 2 3 4 5 6 7 8 ABCDEFGH	2Lインクパックがセットされていない。	表示している番号の 2L インクパックをセットしてください。
!インク エント` (インク ハ`ック) 1 2 3 4 5 6 7 8 ABCDEFGH	2Lインクパック内のインクが無くなった。	表示している番号の 2L インクパックを交換してください。(P.1-19)
!インク カラー エラー 1 2 3 4 5 6 7 8 ABCDEFGH	セットしたインクの色が初期充填時と異なっている。	表示している番号のインクICが、2Lインクパックに付属していたものか確認してください。その後、表示している番号の 2L インクパックの色を確認してください。
!インク タイプ` エラー 1 2 3 4 5 6 7 8 ABCDEFGH	セットしたインクの種類が初期充填時と異なっている。	
!インク IC エラー 1 2 3 4 5 6 7 8 ABCDEFGH	インク IC が正常に読み取れない。	表示している番号のインク IC を再挿入してください。再度表示する場合は、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
!インク カウント エラー 1 2 3 4 5 6 7 8 ABCDEFGH	インク交換時にインクICを交換しなかったため、2Lインクパックのインク使用量が異常になっている。	インク IC を交換してください。
!インク IC ナン 1 2 3 4 5 6 7 8 ABCDEFGH	インク IC がセットされていない。	インク IC をセットしてください。
!インク キケ`ン 1 2 3 4 5 6 7 8 ABCDEFGH	インクの有効期限が切れている。	表示している番号のインクICが、2Lインクパックに付属していたものか確認してください。その後、表示している番号の 2L インクパックの有効期限を確認してください。
!インク ハ`ック コネクタ 1 2 3 4 5 6 7 8 ABCDEFGH	2Lインクパックのコネクタ部分の寿命。	そのまま使い続けるとインク漏れの原因になります。弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
!サブ`タンク サ`ンリョウ 1 2 3 4 5 6 7 8	サブタンク内のインク消費状態が異常。(吐出不良の可能性ある)	クリーニングを実行してください。(P.2-34)

# メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。メッセージの内容によって対処してください。




- 複数の異常が発生している場合、ディスプレイの [!] が反転してお知らせします。◀キーを押して異常の内容を確認してください。

■インク パック  
1 2 3 4 5 6 7 8 A B C D E F G H

## ワーニングメッセージ

表示	原因	対処方法
!ファツ チョウセイ	インクタンク内の圧力調整が適正範囲を超えそうになっている。	負圧調整を行ってください。(P.4-49)
!ファツ イシ`ヨウ (**)	インクタンク内の圧力が適正範囲外になっている。	負圧調整を行ってください。(P.4-49)
!キュウイン 1 2 3 4 5 6 7 8	ヘッドの周辺やインクキャップ周辺が汚れているため、インクを吸引できなかった。	キャッピングステーション及びノズル面の清掃をおこなってください。(P.4-16)
!ワイハ` ワイハ` クリーニング`	ワイパのクリーニング時期	ワイパをクリーニングしてください。(P.4-9)
!ワイハ` ワイハ`ヲ コウカンシテクタ`サイ	ワイパ交換時期	ワイパを交換してください。(P.4-10)
!メンテ カハ`ー カハ`ー ラシメテクタ`サイ	メンテナンスカバーが開いている。	メンテナンスカバーを閉めてください。
!ヘット` タカサ タカサ ヲカクニンシテクタ`サイ	ヘッドの高さが適切ではない、または、布が浮き上がっている(ヘッド保護センサーが異常を検出)	ヘッド高さ、またはセットした布の状態を確認してください。
!オント` カンキョウ オント` ヒクイ	環境温度がプリント可能温度範囲から外れている 温度範囲 : 15°C ~ 30°C 59°F ~ 86°F	設置環境の温度が15°C (59°F)から30°C (86°F)の間になるよう調整してください。
!オント` カンキョウ オント` タカイ		
!テイオン ヒト`ウサ オント`	環境温度が動作可能温度 (4°C (39°F)) 以下になっている。	設置環境の温度が4°C (39°F)以上になるよう調整してください。
!ハ` ッテリ コウカン	電池が切れている。	弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
!サンリョウ フソク 1 2 3 4 5 6 7 8	クリーニングやインクを初期充填するためのインクが足りない。	表示しているカラー番号に対応したインクパックを交換してください。
!オヘ` レーション モータ OFF	モータ励磁が切られている。	(1) カバーを閉め、クランプレバーを下げる (2) [ENTER] キーを押し、初期動作を実行する
!オヘ` レーション メテ`イア ミケンシュツ	メディア幅が不明	メディア検出を実行してください。
!オヘ` レーション フ`プリント エリア フソク	プリントするデータよりも小さいメディアをセットしている。	プリントをするのに十分な大きさのメディアをセットしてください。

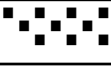
表示	原因	対処方法
!X モータ X モータ ヲ コウカン シテクタ`サイ	X モータの交換時期。	弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
!Y モータ Y モータ ヲ コウカン シテクタ`サイ	Y モータの交換時期。	弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
!ミスト ファン フィルタ クリーニング`	ミストファンフィルタの交換時期。	P.4-48を参照してミストファンフィルタを交換してください。
!メテ`ニア エント` センタク : [シ]ユウリョウ	繰出テンションバーからメディアが外れた	 <ul style="list-style-type: none"> <li>“シユウリョウ”を選択すると“メディアマキトリ [▼]”が表示されます。[▼]キーを押すと、テンションをかけたままメディアを巻き取ることができます。</li> </ul>
!メテ`ニア エント` センタク : [ケ]イソク		
!メテ`ニア エント` メテ`ニア マキトリ [v]		
!レハ`ー レハ`ー ヲカクニンシテクタ`サイ	クランプレバーが上がっている	クランプレバーを下ろしてください。
!メテ`ニア メテ`ニア カ` アリマセン	リーフ紙が正しくセットされていない。	リーフ紙を正しくセットしてください。
!マキトリ マキトリ カハ`ー OPEN	巻取カバーが開いている。	巻取カバーを閉めてください。
!マキトリ マキトリ LIMIT ケンシュツ	巻取リミットになった。	巻取テンションバーを下げてください。 巻取方向を確認してください。
!マキトリ マキトリ イシ`ョウ	プリントした布が正常に巻き取られていない。	巻取装置にセットした紙管がゆるんでいる可能性があります。紙管の状態を確認してください。
!マキトリ マキトリ ホウコウ SW	巻取方向スイッチが逆になっている。	巻取方向スイッチを確認してください。
!マキトリ マキトリ ケンテン	巻取原点を正常に検出できなかった。	巻取テンションバーが、退避位置にいる可能性があります。 巻取テンションバーを確認してください。
		紙管がゆるんでいる可能性があります。紙管の状態を確認してください。
!クリタ`シ クリタ`シ カハ`ーOPEN	繰出カバーが開いている	繰出カバーを閉めてください。
!クリタ`シ クリタ`シ LIMIT ケンシュツ	繰出リミットになった	繰出テンションバーを下げてください。 繰出方向または布を確認してください。
!クリタ`シ クリタ`シ イシ`ョウ	布を正常に繰り出さない	繰出装置にセットした紙管がゆるんでいる可能性があります。紙管の状態を確認してください。
!クリタ`シ クリタ`シ ホウコウ SW	繰出方向スイッチが逆になっている。	繰出方向スイッチを確認してください。
!クリタ`シ クリタ`シ ケンテン	繰出原点を正常に検出できなかった。	繰出テンションバーが、退避位置にある可能性があります。繰出テンションバーを確認してください。
!ノズル リカバリ 1_3 _____ シユウリョウ< >ケイソク	ノズルリカバリの動作制限 ON がかつ、現在のプリントモードがノズルリカバリ不可の場合	プリントを中止する場合は、“シユウリョウ”そのままプリントする場合は“ケイソク”を選択してください。

## エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。  
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 01 MAIN ROM	制御 ROM に異常が発生した。 (F-ROM)	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 02 MAIN RAM	制御 RAM に異常が発生した。 (S-RAM)	
ERROR 03 POWER +5V	電源電圧に異常が発生した。 (電源電圧 +5V)	
ERROR 03 POWER +35V	電源電圧に異常が発生した。 (電源電圧 +35V)	
ERROR 04 F-ROM ss	制御 ROM に異常が発生した。 (各種パラメーター)	
ERROR 05 FPGA nn	FPGAのコンフィグレーション に異常が発生した。	
ERROR 06 UHC ss nnnn	UHC に異常が発生した。	
ERROR 07 DFC ss	DFC に異常が発生した。	
ERROR 07 ヘッドテンアツ (nnn)	ヘッドの電圧異常を検出した。 (nnn: ヘッドライン)	
ERROR 07 オント nnnnnn	ヘッドの温度異常を検出した。 (nnn: エラー発生ノズル)	
ERROR 08 リニア エンコーダ	リニアエンコーダーの検出で 異常が発生した。	
ERROR 10 コマント エラー	コマンドデータ以外のデータ を受信した。	インターフェイルケーブルを確実に接続してください。
ERROR 11 パラメータ エラー	数値範囲外のパラメーターを 受信した。	ホストコンピュータの出力設定を確認してください。
ERROR 12 オフスケール	プリント有効範囲外のデータ を受け取った。	プリント範囲を確認してください。
ERROR 14 カラー コマント	未対応の色指定データを受け 取った。	ホストコンピュータの出力設定を確認してください。
ERROR 16 MRL コマント	受信データが、装置で設定した コマンド体系と異なる。	本装置に対応したアプリケーションを使用しコマンド体系のデータを送信してください。
ERROR 20 I/F ホート	I/F ボードとメイン基板の通信 で異常が発生した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 21 I/F ナシ	I/F ボードが装着されていない。	

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 21 I/F ナシ	I/Fボードが装着されていない。	
ERROR 23 ホスト I/F	ホストコンピュータとの通信でタイムアウトエラーが発生した。	インターフェイルケーブルを確実に接続してください。 ホストコンピュータでエラーが発生していないか確認してください。
ERROR 24 I/F イニシャル	I/F ボードの初期化で異常が発生した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 25 FULL-SPEED	USB2.0 接続でホストコンピュータと本機との通信にエラーが発生した。(Full-Speed モード接続)	ホストコンピュータが USB2.0 インタフェイスに対応しているか確認してください。 (そのまま使用できますが、Hi-Speed モード接続を推奨します。)
ERROR 25 パケットサイズ オーバー	USB2.0 接続でホストコンピュータと本機との通信にエラーが発生した。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
ERROR 25 USB プロトコル		
ERROR 25 USB キャンキョウ		
ERROR 25 USB データ		
ERROR 34 プリント データ アリ	プリント未完了のデータがあるのに、ファンクション機能の設定変更や、動作できない機能を実施した。	受信済みのデータを全てプリントするか、データクリアを実行してから、再度、実施してください。
ERROR 41 モーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 43 Y オーバーカレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 44 スキャン ハンイ	スキャン範囲外にスキャンをしようとした。	
ERROR 45 CAPPING	キャッピング制御に異常が発生した。	
ERROR 46 WIPING	ワイパー制御に異常が発生した。	
ERROR 47 STATION	ステーション制御に異常が発生した。	
ERROR 50 メディア ケンシュツ	メディア幅を検出できなかった。	

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 51 ケンテン ケンシュツ Y	Y 原点を検出ができなかった。	一度、電源を OFF にしてしばらくたってから電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 60 FLUSHING nnnn	フラッシング実行タイムアウトエラーが発生した。	
ERROR 90 F/W ss	ファームウェアに異常が発生した。	
ERROR 140 タンク センサ nnnnnnnn	サブタンクセンサの異常を検出した。	
ERROR 140 インク オーバ`フロー	インクがオーバーフローした。	
ERROR 142 インク モレ	インク漏れを検出した。	全ての2Lエコケースをスロットから取り外したあと、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 143 インク スロット ソレノイド`	インクスロットのバルブソレノイド電圧異常を検出した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 147 インク キョウキュウ (n)	2L インクパックからインクの供給ができなかった。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 148 キュウイン nnnnnnnn	インクを吸引できなかった。	P.4-8「インクキャップの清掃」の作業をしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 200  ヘッド`メモリ nnn	ヘッド内蔵のEEPROMで異常を検出した。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 204 シリアライザ`	ヘッドー UHC 基板間のデータ通信エラーが発生した。	再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 40 モーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 42 X オーバ`カレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 67 クリタ`シ ユニット ナシ	繰出ユニットが接続されていない。	電源を OFF にしてから、繰出ユニットのケーブルを確認してください。 ケーブル接続に異常がないのに、再度エラーを表示する場合は、弊社サービスまたは、販売店にサービスコールしてください。
ERROR 67 マکتリ ユニット ナシ	巻取ユニットが接続されていない。	電源を OFF にしてから、巻取ユニットのケーブルを確認してください。 ケーブル接続に異常がないのに、再度エラーを表示する場合は、弊社サービスまたは、販売店にサービスコールしてください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 67 クリタシ センサ	繰出ユニットのセンサ状態が異常。	一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 67 マキトリ センサ	巻取ユニットのセンサ状態が異常。	





# 第6章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

本体仕様 .....	6-2
インク仕様.....	6-4
お問い合わせシート .....	6-5
機能フローチャート .....	6-6

# 本体仕様

項目		Tx400-1800D
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	12ヘッド(4×3列スタガ配列)
プリント分解能		300, 450, 600, 900, 1200 dpi
プリントモード	8色モード	300 x 300 dpi : 2 / 4 / 8 pass, 双方向 / 単方向 300 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 300 x 600 dpi : 4 / 8 / 16 pass, 双方向 / 単方向 450 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 450 x 600 dpi : 4 / 8 / 16 pass, 双方向 / 単方向 600 x 300 dpi : 2 / 4 / 8 pass, 双方向 / 単方向 600 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 600 x 600 dpi : 4 / 8 / 16 pass, 双方向 / 単方向 600 x 900 dpi : 6 / 12 / 24 pass, 双方向 / 単方向 900 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 900 x 900 dpi : 6 / 12 / 24 pass, 双方向 / 単方向 1200 x 600 dpi : 4 / 8 / 16 pass, 双方向 / 単方向 1200 x 900 dpi : 6 / 12 / 24 pass, 双方向 / 単方向 1200 x 1200 dpi : 8 / 16 / 32 pass, 双方向 / 単方向
	4色モード	300 x 300 dpi : 1 / 2 / 4 pass, 双方向 / 単方向 300 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 300 x 600 dpi : 2 / 4 / 8 pass, 双方向 / 単方向 450 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 450 x 600 dpi : 2 / 4 / 8 pass, 双方向 / 単方向 600 x 300 dpi : 1 / 2 / 4 pass, 双方向 / 単方向 600 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 600 x 600 dpi : 2 / 4 / 8 pass, 双方向 / 単方向 600 x 900 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 900 x 450 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 900 x 900 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 1200 x 600 dpi : 2 / 4 / 8 pass, 双方向 / 単方向 1200 x 900 dpi : 3 / 6 / 12 pass, 双方向 / 単方向 1200 x 1200 dpi : 4 / 8 / 16 pass, 双方向 / 単方向
使用可能インク	酸性染料インク	後日発売
	反応染料インク	K,C,M,Y,Lc,Lm,Lk,BI,R,Or
	昇華染料インク	K,C,M,Y,Lc,Lm,BI,Lbl
	分散染料インク	後日発売
	捺染顔料インク	K,C,M,Y,Lc,Lm,BI,Or
インクセット	8色モード	1色あたり2インクパック
	4色モード	1色あたり4インクパック
インク供給		2インクパックセットによるトグル切替供給 インクパック交換方式
インク容量		8色インクセット(捺染顔料インクを除く) 2Lインクパック各色2本 4L/色 4色インクセット 2Lインクパック各色4本 8L/色
使用可能メディア		ポリエステル、綿、絹、転写紙など
最大プリント幅		1850mm
ロールメディアサイズ	最大幅	1860mm
	最小幅	210mm
	厚さ	7.0mm 以下
	ロール外径	Φ270mm 以下
	ロール重量	38kg 以下
	紙管内径	1.5～3インチ
	プリント面	内巻き / 外巻き不問
巻終わり処理	紙管ヘテープ止めまたは弱接着	
プリントマージン		巻取装置セットまでの前端 : 2.3m 繰出装置紙管外れ後端 : 1.6m

項目		Tx400-1800D
距離精度	絶対精度	± 0.5 mm または指定距離の ± 0.3 % の大きい方
	再現性	ただし、繰出、巻取装置に依存する
直角精度		± 0.5 mm / 1000 mm
メディアスキュー		5 mm 以下 / 10 m( 布セットに曲がりの無い場合 )
ヘッド高さ調整		メディア下面より 1.3mm ~ 7mm 可変
廃インクタンク		ボトル式 10 リットル
インターフェイス		USB 2.0
コマンド		MRL- III (ミマキオリジナルコマンド)
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, UL 60950-1, CE マーキング (EMC 指令、低電圧指令) , CB レポート, RoHS 対応, 中国 RoHS
電源仕様		単相 AC200 ~ 240±10% 7.5A 以下 50/60Hz±1Hz
消費電力		1500 VA 以下
設置環境	使用可能温度	15 °C ~ 30 °C (59°F ~ 86°F)
	相対湿度	35 ~ 65% Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 °C ~ 25 °C (68°F ~ 77°F)
	温度勾配	±10 °C (18°F) / h 以下
	粉塵	オフィス相当
重量		500kg 以下
外形寸法		4300mm(W) x 1550mm(D) x 1600mm(H) (インクステーション・突起部を含む)

# インク仕様

項目		
形態		専用インクパック
色	酸性染料インク	後日発売
	反応染料インク	ブラック/シアン/マゼンタ/イエロー/ライトシアン/ライトマゼンタ/ライトブラック/ブルー/レッド/オレンジ
	昇華染料インク	ブラック/シアン/マゼンタ/イエロー/ライトシアン/ライトマゼンタ/ブルー/ライトブルー
	分散染料インク	後日発売
	捺染顔料インク	ブラック/シアン/マゼンタ/イエロー/ライトシアン/ライトマゼンタ/ブルー/オレンジ
インク容量		2リットル
有効期限		インクパックに記載 開封から6ヶ月以内または、インクパック記載の有効期間内
保存温度	保存時	0～40°C (32°F～104°F) (40°C (104°F) の場合は1ヶ月以内)
	輸送時	0～60°C (32°F～140°F) (60°C (140°F) の場合は120時間以内 40°C (104°F) の場合は1ヶ月以内)

**重要!**

- ・インクパックを分解したり、インクを詰め替えないでください。
- ・インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
- ・万一インクが凍結したときは、室温 (25 °C (77°F)) で1日以上かけて解凍してから使用してください。

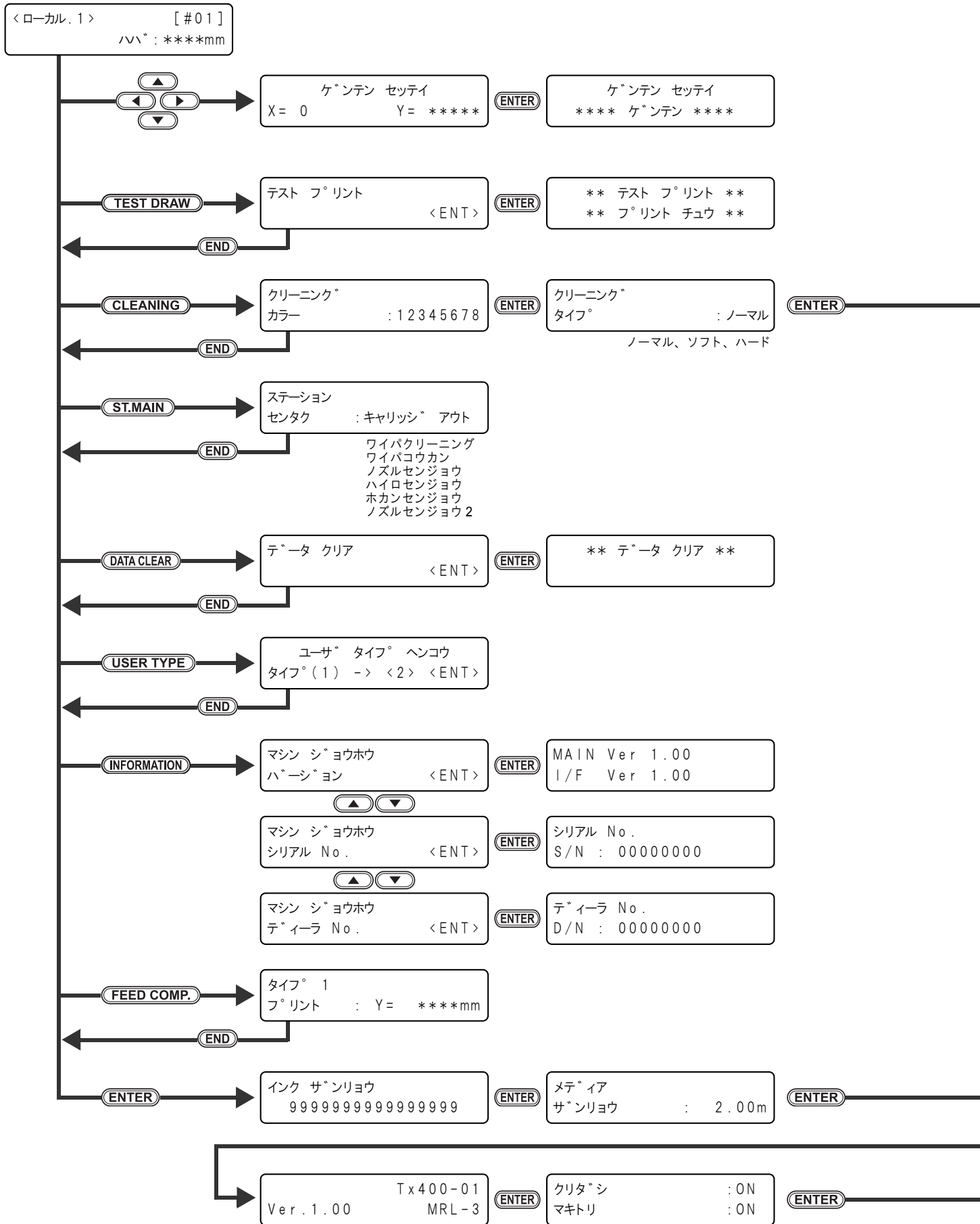
# お問い合わせシート

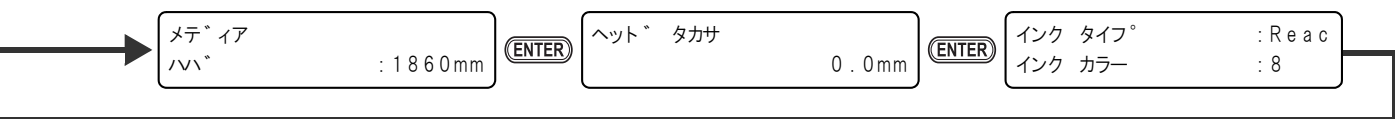
プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。  
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

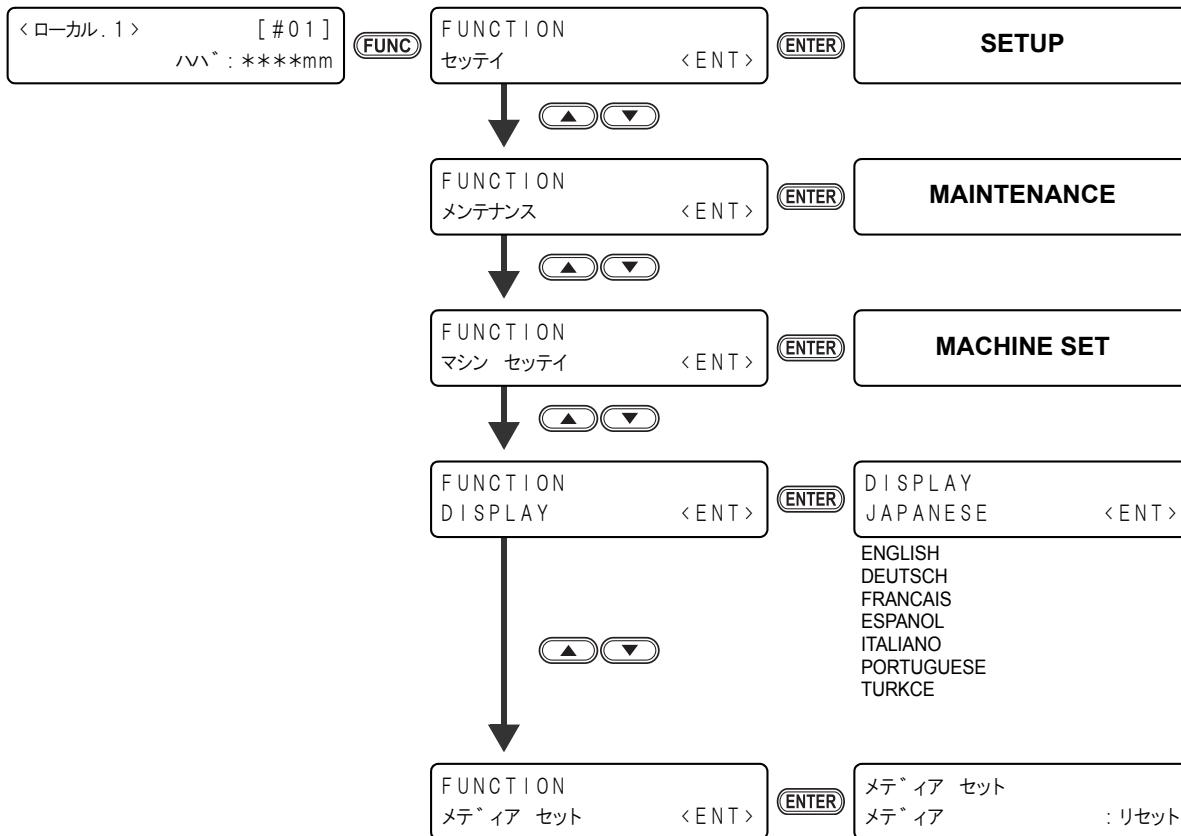
御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報 <sup>*1</sup>	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

\*1. 第 3 章 応用機能の「装置情報を確認する」(P.3-40) をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。

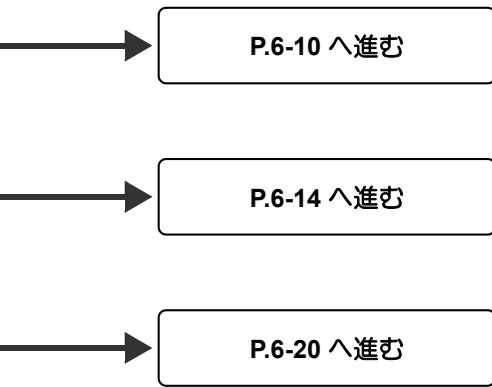
# 機能フローチャート

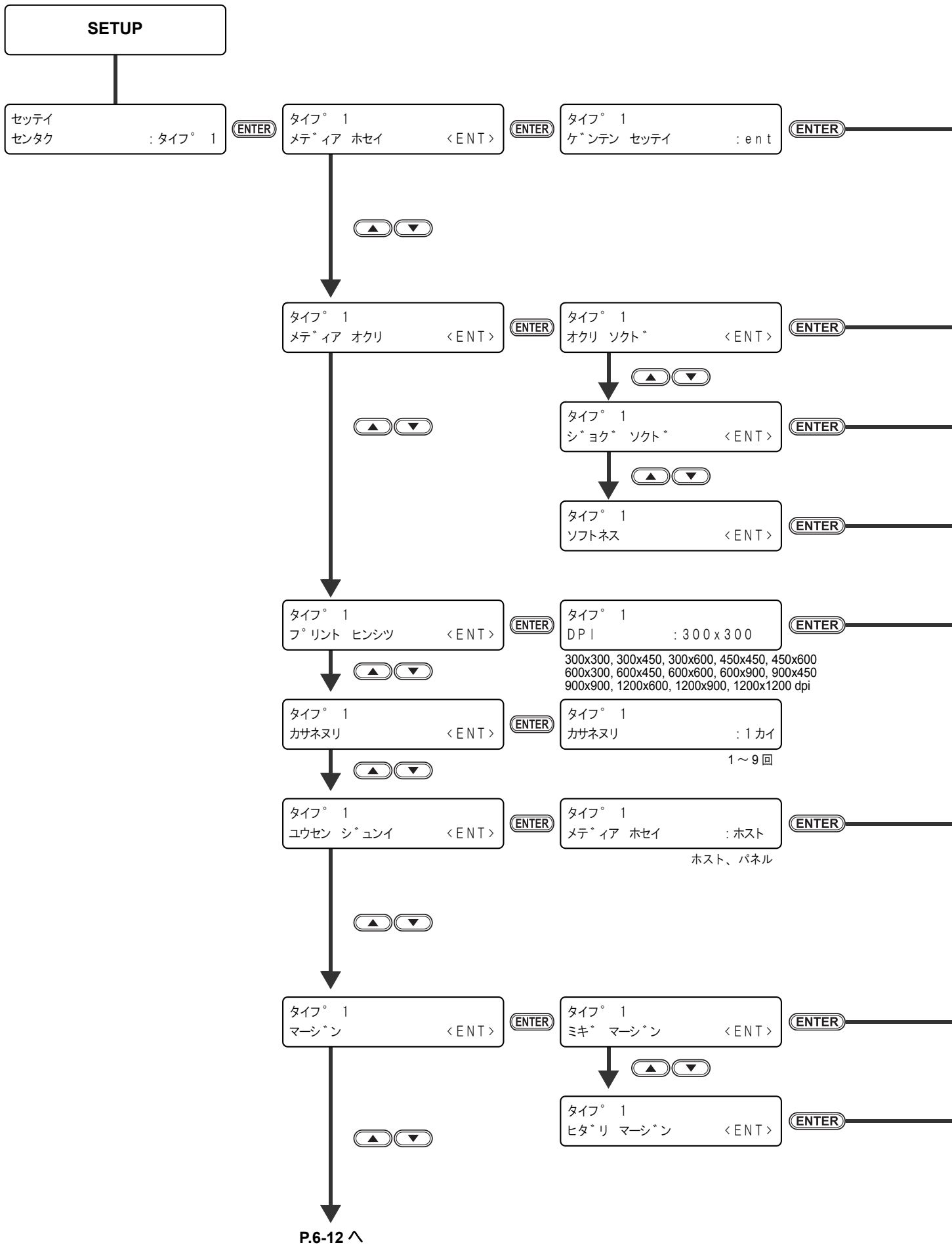






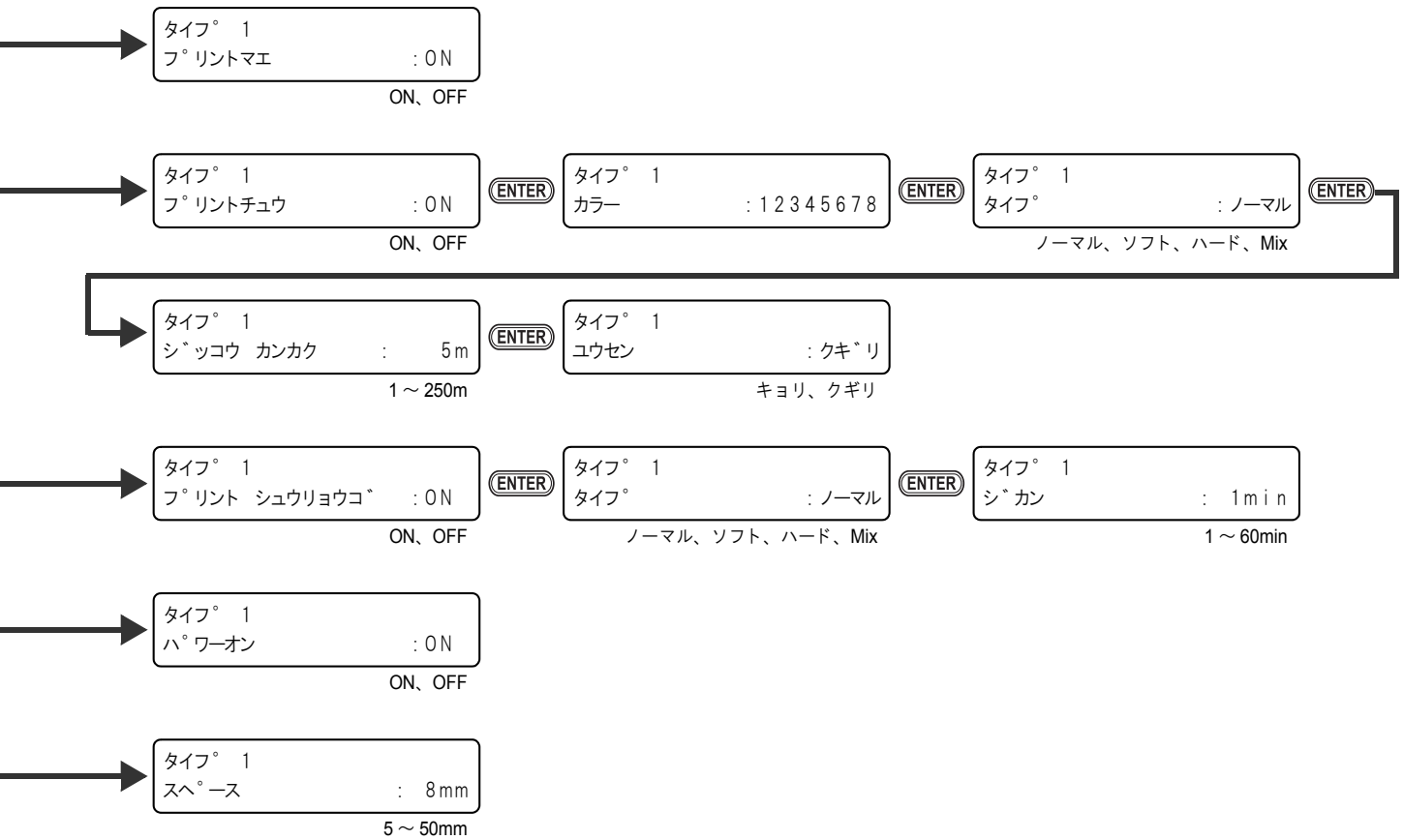












**MAINTENANCE**

メンテナンス  
ステーション <ENT>

ENTER

ステーション  
センタク : キャリッジ<sup>®</sup> アウト

ENTER

キャリッジ移動



ステーション  
センタク : ワイパ<sup>®</sup> クリーニング<sup>®</sup>

ENTER

キャリッジ移動



ステーション  
センタク : ワイパ<sup>®</sup> コウカン

ENTER

キャリッジ移動



ステーション  
センタク : ノスル センシ<sup>®</sup> ヨウ

ENTER

キャリッジ移動



ステーション  
センタク : ノスル センシ<sup>®</sup> ヨウ2

ENTER

キャリッジ移動



ステーション  
センタク : ハイロ センシ<sup>®</sup> ヨウ

ENTER

廃インクタンクを確認

ENTER



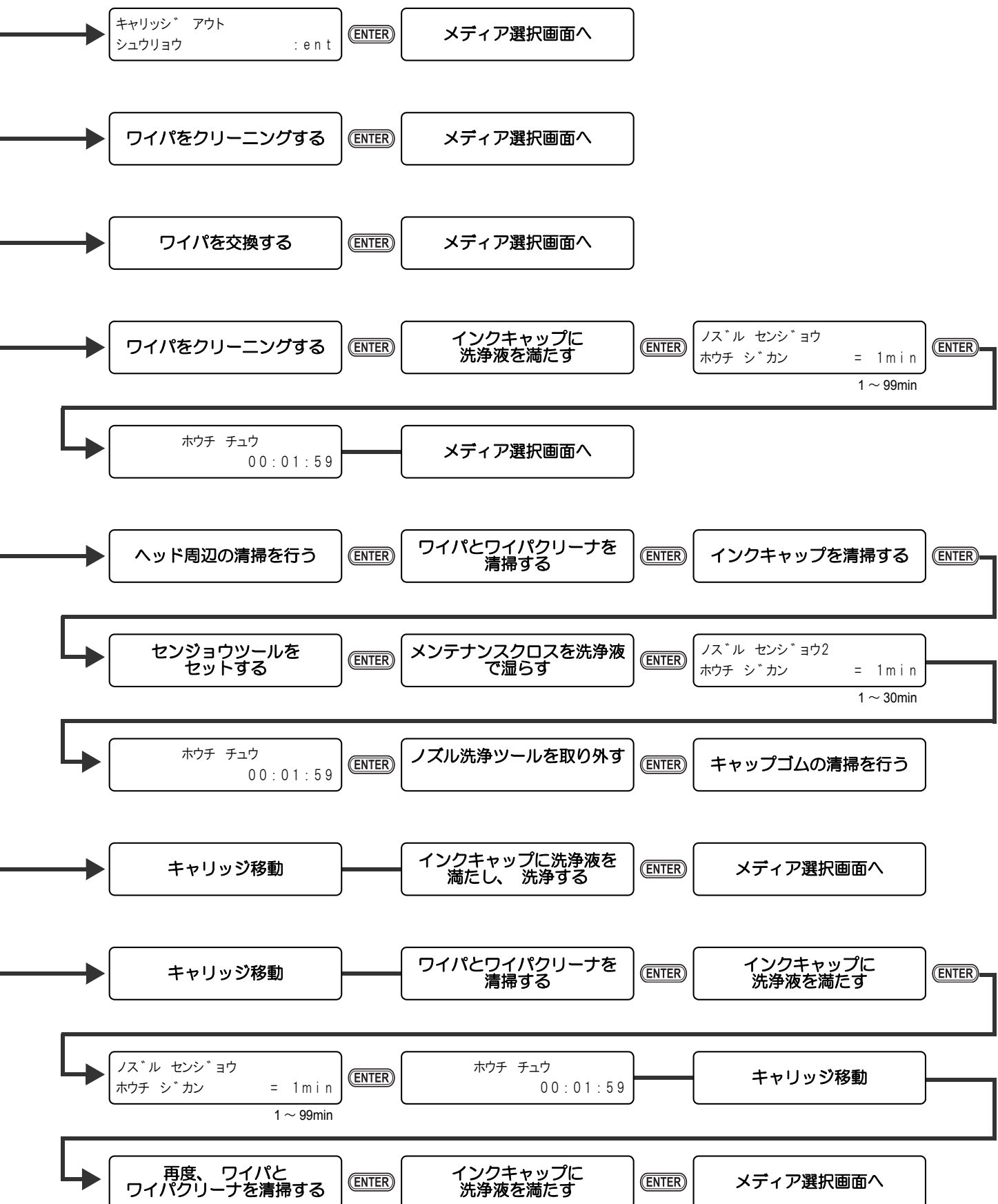
ステーション  
センタク : ホカン センシ<sup>®</sup> ヨウ

ENTER

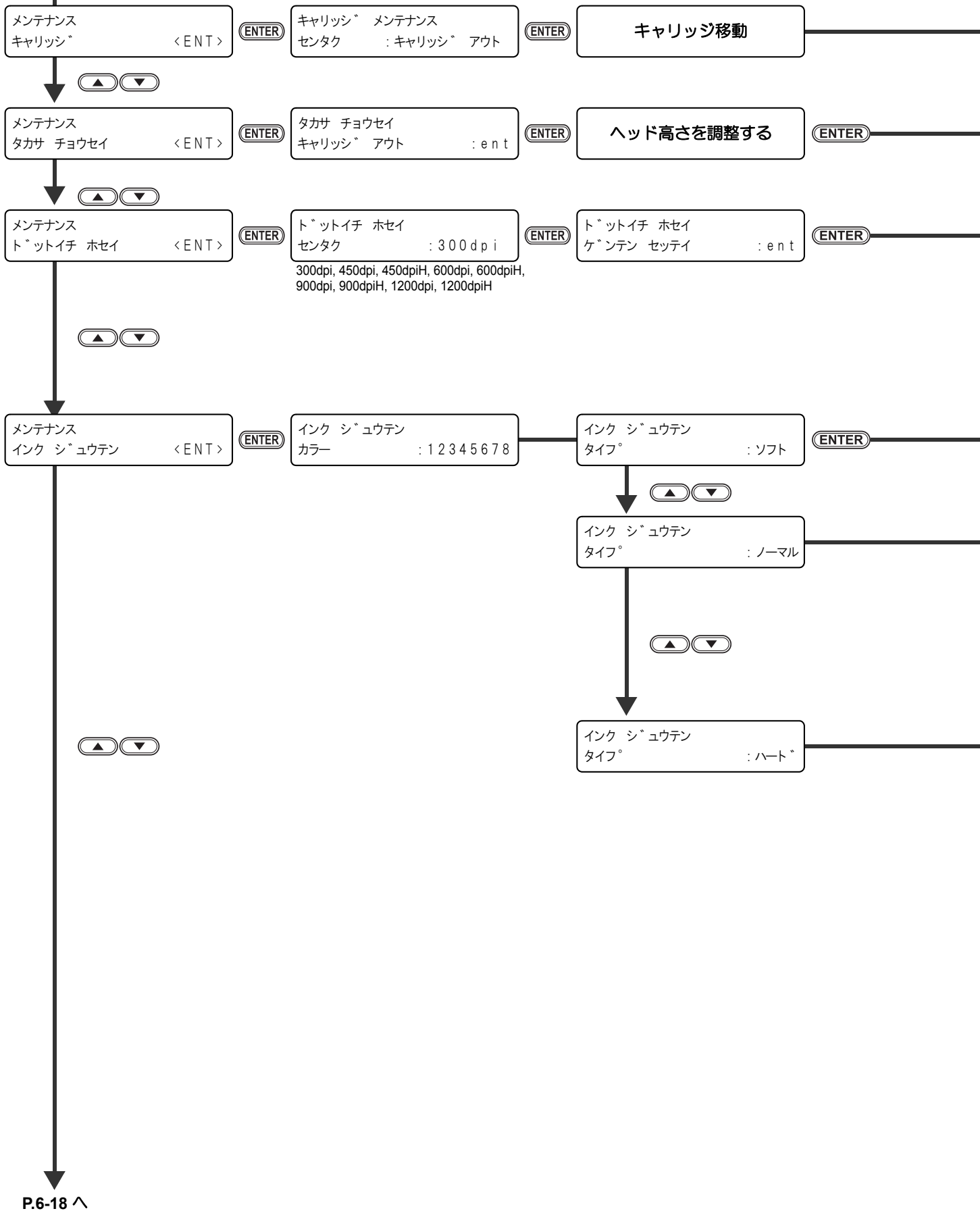
廃インクタンクを確認

ENTER

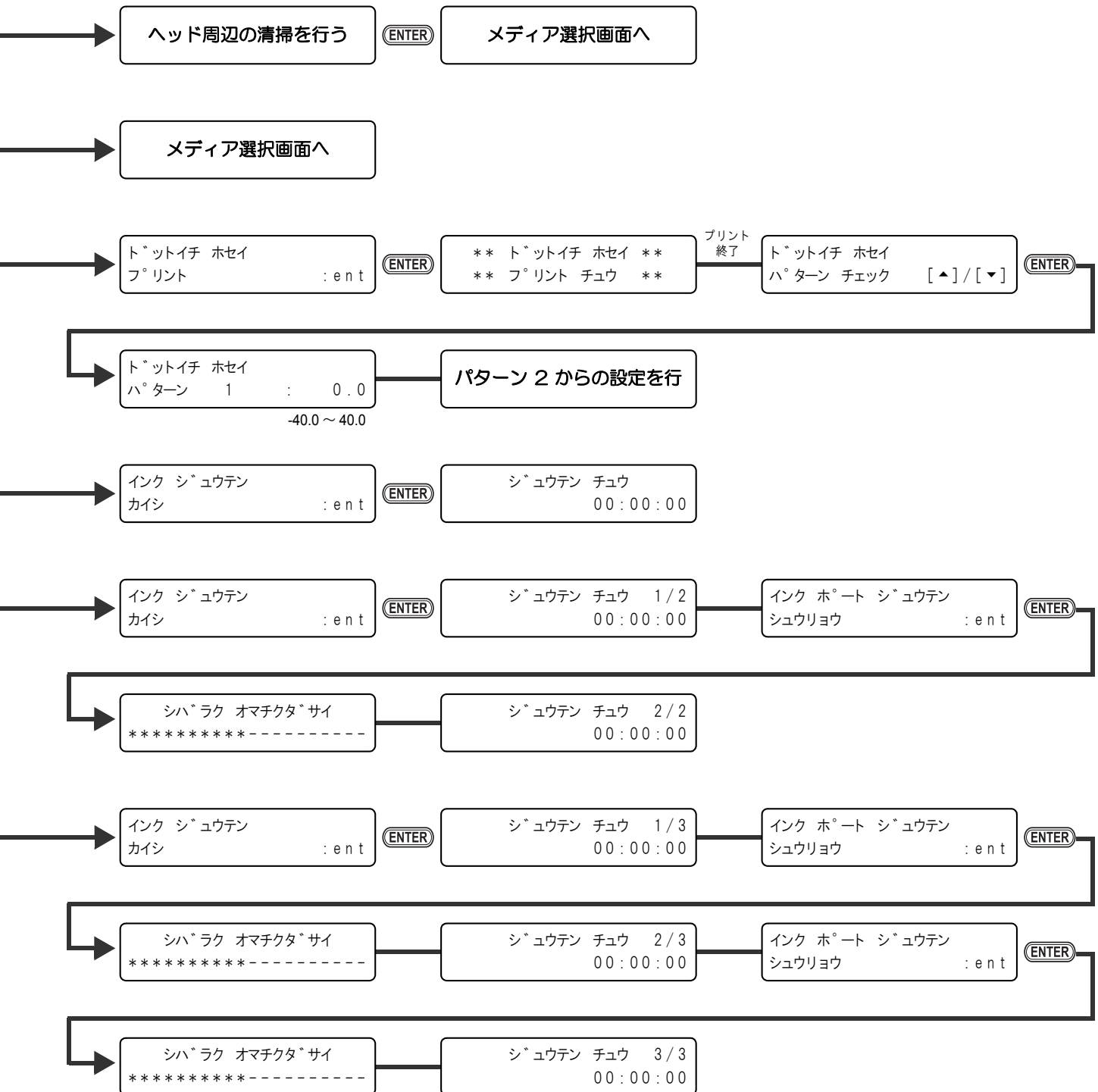
P.6-16 へ



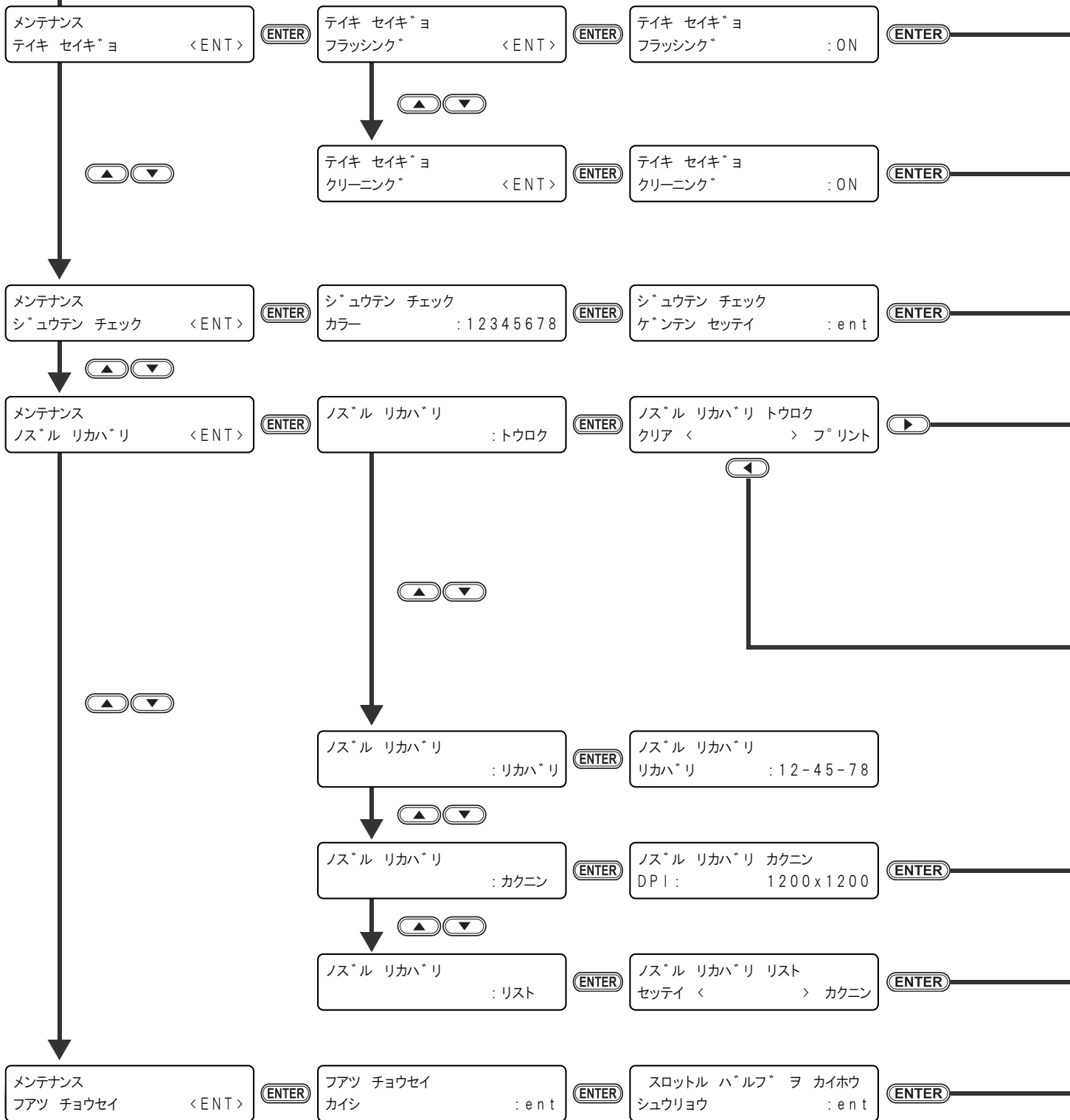
P.6-14 から

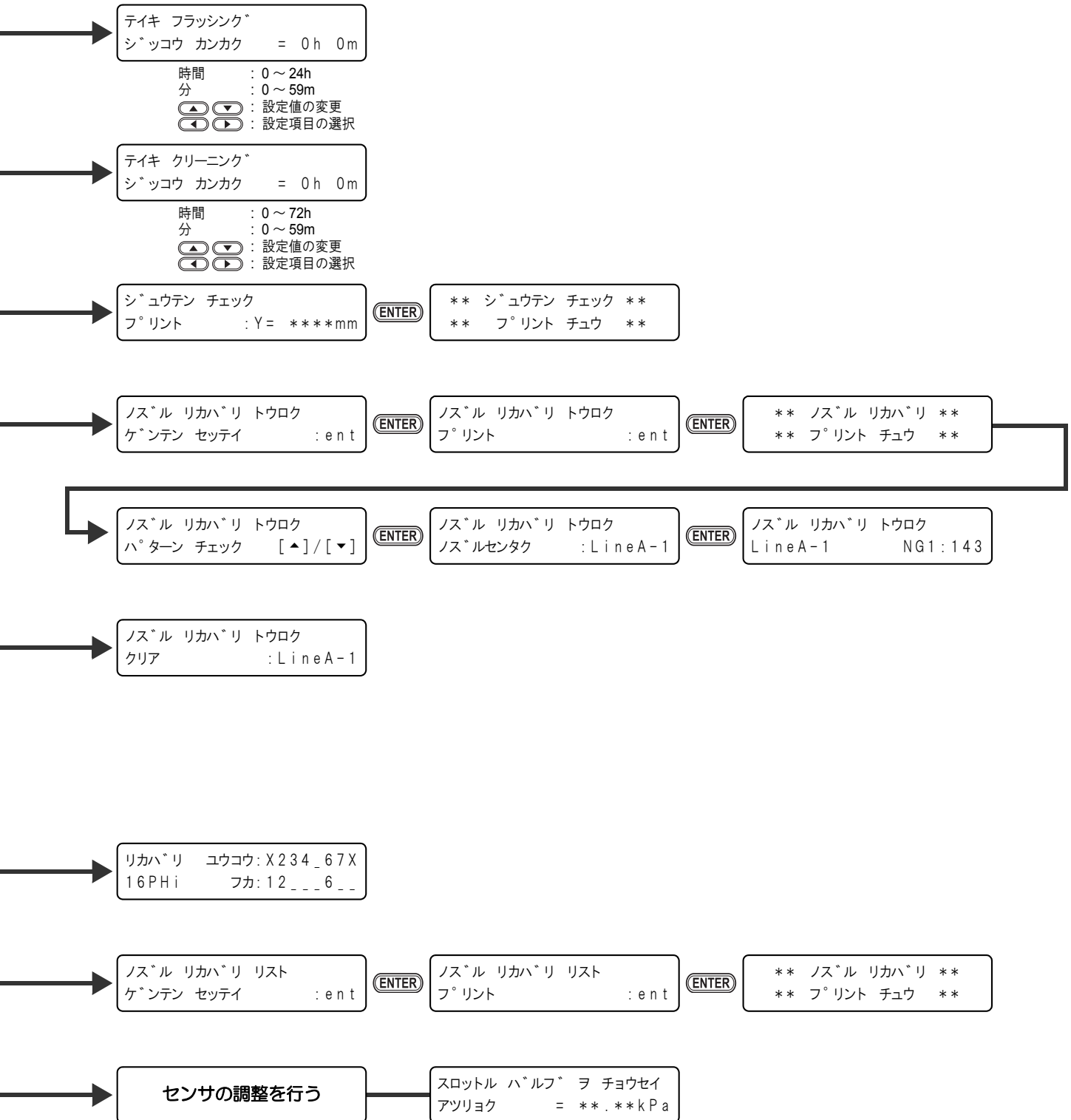


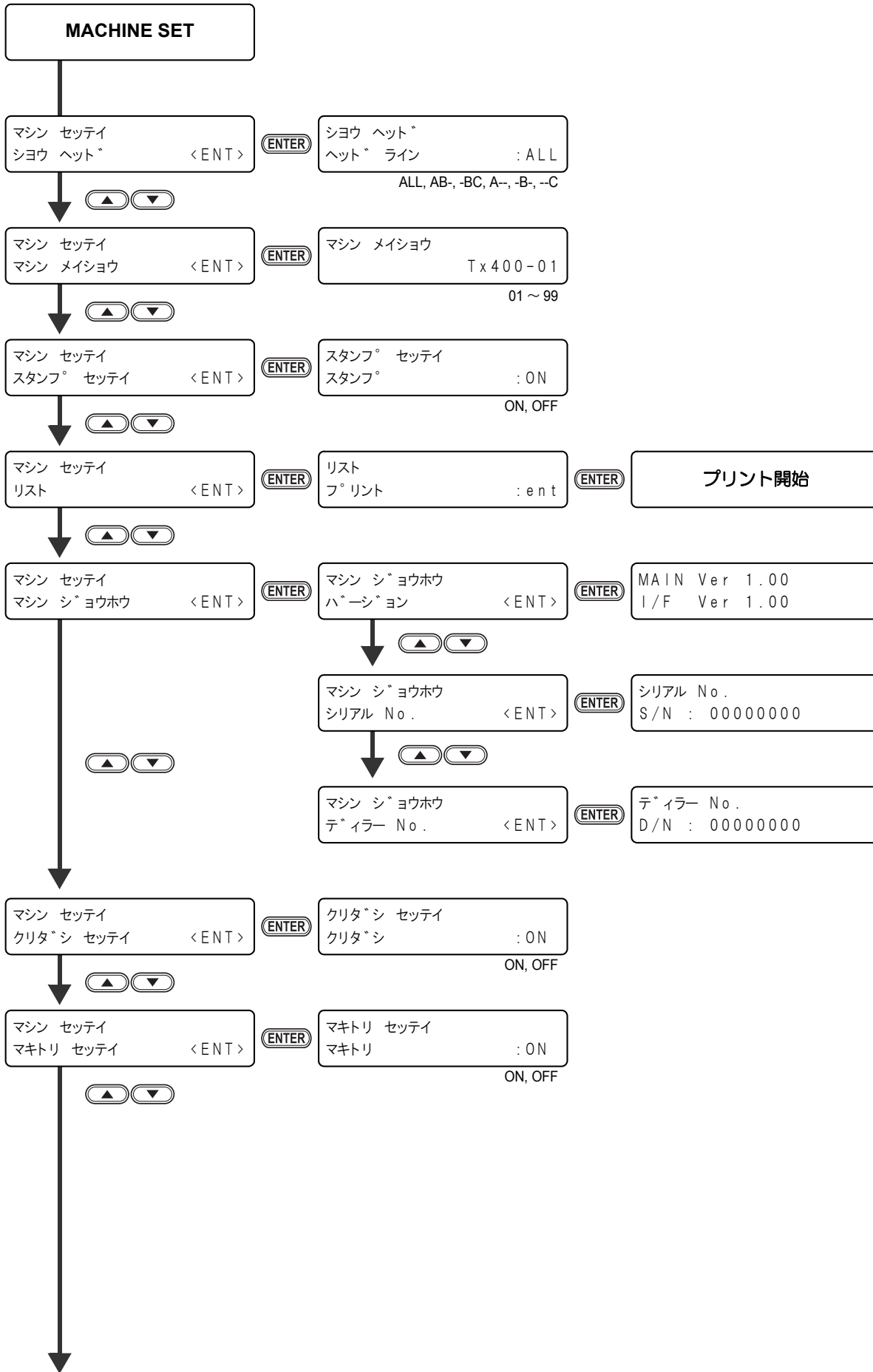




P.6-16 から







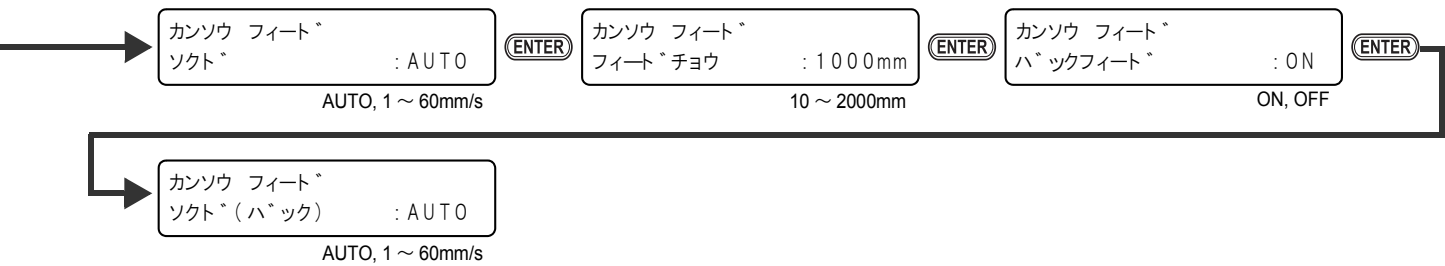
P.6-22 へ





ミスト ファン  
リミット セット = 0m  
0 ~ 30000m

ミスト ファン  
リセット : ent



# 索引

## 数字

2L インクパックやインク IC に異常が発生したら .....	5-4
2L エコケース .....	1-6

## A

AC インレット .....	1-3
----------------	-----

## U

USB 出カドライバ .....	1-11
------------------	------

## あ

安全にお使いいただくために .....	vii
ご注意とお願い .....	ix
使用上の警告と注意 .....	viii
設置上のご注意 .....	ix
マーク表示について .....	vii

## い

インク IC .....	1-18
インク IC スロット .....	1-6
インクキャップの清掃 .....	4-8
インク供給ユニット .....	1-3, 1-17
インク充填 .....	4-28
インク充填“ソフト” .....	4-29
インク充填“ノーマル” .....	4-30
インク充填“ハード” .....	4-34
インク仕様 .....	6-4
インクスロットランプ .....	1-6
インクについて .....	1-16
インクの種類 .....	1-16
インクの取り扱い .....	1-16
インク排出路の洗浄 .....	4-21
インクパックスロット .....	1-6
インクパックを交換する .....	1-19
インクヘッド周辺の清掃 .....	4-25
インクポート排出治具 .....	4-28
インクをセットする .....	1-18

## え

英字側スロット .....	1-17
エラーメッセージ .....	5-8

## お

オートクリーニング .....	3-13
奥行き .....	1-2
お問い合わせシート .....	6-5
おねがい .....	v
折り返しバー .....	1-3, 1-4

折り返しバー 1 .....	2-18
折り返しバー 2 .....	2-18

## か

カウンターウェイト .....	1-3, 2-24
各部の名称とはたらき .....	1-3
インク供給ユニット .....	1-6
操作パネル .....	1-5
装置前面 / 側面 .....	1-3
背面 .....	1-4
画質不良が発生したとき .....	5-3
カバー内部の名称とはたらき .....	1-7
キャッピングステーション .....	1-8
キャリッジ .....	1-7
カバーの開閉について .....	1-12
プリント中 .....	1-12
カラーパターン .....	3-19
乾燥時間 .....	3-20, 3-21

## き

ギア .....	2-15
脚 .....	1-3
キャッピングステーションのメンテナンス .....	4-7

## く

クランプレバー .....	1-3, 1-4
繰出装置の設定 .....	3-27
繰出テンションバー .....	1-4
繰出ユニット .....	1-4, 2-17

## け

警告ラベル .....	x
減圧カップリング インサート .....	4-30
原点を変更する .....	2-32

## こ

故障?と思う前に .....	5-2
ご注意 .....	v

## さ

最大プリントエリア .....	2-6
作業の流れ .....	2-3

## し

紙管 .....	2-15
充填チェック .....	4-38
従動ローラ .....	2-11
受信したデータを消去する .....	2-36
受信障害 .....	v



使用するヘッドを切り替える ..... 3-24

## す

数字側スロット ..... 1-17  
 スタンプ ..... 3-26  
 ステンレス板 ..... 2-16  
 スペーサ ..... 2-9  
 スペーサの設定 ..... 3-33

## せ

設置する ..... 1-2  
 設置場所 ..... 1-2  
 設定リスト ..... 3-39  
 センサー ..... 1-9  
   メディアセンサー ..... 1-9  
   メディア幅検出センサー ..... 1-9  
 全体重量 ..... 1-2

## そ

操作パネル ..... 1-3  
 装置情報 ..... 3-40  
   シリアル No. .... 3-40  
   ディーラー No. .... 3-40  
   バージョン ..... 3-40  
 装置の状態を確認する ..... 3-41  
 ソケット工事 ..... 1-13

## た

高さ ..... 1-2  
 高さ調整ネジ ..... 1-8, 2-29

## ち

長期間使用しない場合 ..... 4-23

## つ

継ぎ手バルブ ..... 4-32

## て

データクリア ..... 2-36  
 データをプリントする ..... 2-35  
 定期制御 ..... 4-39  
   クリーニング動作 ..... 4-40  
   フラッシング動作 ..... 4-39  
 ディスプレイの言語表示 ..... 1-20  
 テストプリント ..... 2-33  
   異常なパターン ..... 2-33  
   正常なパターン ..... 2-33  
   テストプリントを行う ..... 2-33  
 電源ケーブル ..... 1-13

電源を入れる ..... 2-4  
 電源を切る ..... 2-5  
 テンションバー ..... 2-17  
 テンションバーのウェイト調整 ..... 2-23  
 電波障害自主規制 ..... v

## と

ドットの位置がずれたら ..... 4-26  
   パターンプリント例 ..... 4-26  
 取扱説明書について ..... vi  
 ドロップサイズ ..... 3-9

## に

日常のお手入れ ..... 4-2  
   お手入れ上のご注意 ..... 4-2  
   外装のお手入れ ..... 4-2  
   センサーの清掃 ..... 4-3  
   布押さえのお手入れ ..... 4-3  
   布押さえフレームのお手入れ ..... 4-4  
   メンテナンス洗浄液について ..... 4-2

## ぬ

布押さえ ..... 1-10  
 布押さえの調節方法 ..... 2-16  
 布押さえフレーム ..... 1-3, 1-10  
 布のシワ ..... 2-22  
 布巻きローラ ..... 2-12

## の

ノズルセンジョウツール ..... 4-15  
 ノズルセンジョウツールの取り扱い ..... 4-20  
 ノズル詰まりが復旧しない場合 ..... 4-28

## は

廃インクタンク ..... 1-3, 1-11, 4-47  
 廃インクホース ..... 1-3, 1-11  
 廃液ボトル ..... 4-31  
 パイプアダプタ ..... 4-32  
 ハイロセンジョウ ..... 4-21

## ひ

ピンチローラー ..... 1-9

## ふ

負圧異常 ..... 4-41, 4-49  
 ファンクション ..... 1-21  
 プリント  
   開始する ..... 2-35  
   中断 ..... 2-36

プリント終了後クリーニング	3-16, 3-18
プリント中クリーニング	3-14
プリント中に布の送り量を補正する	2-36
プリント品質	3-9
高速スキャン	3-9
スキャン方向	3-9
設定可能な要素	3-10
ドロップサイズ	3-9
パス数	3-9
プリント前クリーニング	3-13
フロントカバー	1-3

---

## へ

---

ヘッドクリーニング	2-34
ヘッド高さ調整棒	1-8, 2-29
ヘッド高さを調整する	2-28
ヘッドノズルの洗浄	4-12
ヘッドノズル面のメンテナンス	4-14

---

## ほ

---

ホカンセンジョウ	4-23
本書の読み方	xi
本装置の移動	1-2
本体仕様	6-2

---

## ま

---

マージン	3-12
巻取装置の設定	3-28
巻取テンションバー	1-3
巻取ユニット	1-3, 2-14
マシン名称	3-25

---

## み

---

未使用エッジとのローテーション	4-11
ミストファンフィルタのクリーニング	4-48
ミストファンフィルタユニット	4-48

---

## め

---

メッセージを表示するトラブル	5-6
メディア送りの設定	3-6
メディア経路	2-17
メディア検出方法	2-30
メディアセットの概要	2-7
メディア選択画面	1-21
メディアについて	1-14
使用可能メディア	1-14
使用制限のあるメディア	1-14
プリント布の取り扱い	1-14
メディア補正	3-4
メディアをセットする	2-6
メンテナンスカバー L	1-3
メンテナンスカバー R	1-3

メンテナンス洗浄液	4-2
-----------	-----

---

## ゆ

---

ユーザタイプ	2-2, 3-2
タイプ登録	3-2
タイプ登録の例	3-2
登録したユーザタイプを使用する	2-2
登録できる設定内容	2-2
優先順位	3-11
パネル	3-11
ホスト	3-11
優先順位の設定をする	3-11

---

## よ

---

横幅	1-2
----	-----

---

## り

---

リーフメディアをセットする	2-27
リモート	1-21

---

## ろ

---

ローカル	1-21
ロールシャフト	1-3, 2-14
ロールホルダ	1-3, 2-14
ロールメディアをセットする	2-17

---

## わ

---

ワーニングメッセージ	5-6
ワーニングレベル	3-29
ワイパカバー	4-11
ワイパクリーナ	4-12
ワイパコウカン	4-10
ワイパゴム	4-11
ワイパの清掃	4-9
ワイパを交換する	4-10

## **Tx400-1800D 取扱説明書**

---

---

2011 年 12 月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング  
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング  
〒 389-0512  
長野県東御市滋野乙 2182-3

---

---

